

げんてん

(日本医科大学第一内科学教室・同窓会年報)

第十四号

(2002年度)

付 日本医科大学第一内科学教室業績集

(2002年4月～2003年3月)

付 日本医科大学第一内科同窓会名簿

日本医科大学第一内科学教室・同窓会発行

目 次

留学について思うこと	高野 照 夫	1
「げんてん」発行に寄せて	山崎登志雄	2
I. 就任あいさつ		
多摩永山病院内科・循環器内科助教授を拝命して	草 間 芳 樹	3
II. 海外留学者の帰国報告		
帰朝報告	宮 内 靖 史	4
留学を終えて	宮 内 瑞 穂	6
III. 第一内科学教室、同窓会（げんてん会）記録		8
IV. 第20回日本心電学会学術集会を開催して	岸 田 浩	10
V. 医局員勤務表		13
VI. CC・CPC		15
VII. 学位取得者		16
VIII. 2002年度研究業績		17
IX. 同窓会会員名簿		51
現役医局員名簿		65
X. 編集後記		72

留学について思うこと

高野 照夫

現在第一内科にはチェコ、中国、シリアからの計3人の留学生がいる。また、毎年12月から3月にかけて中国医科大学から賈大林助教授が安武講師と共同研究のため来日する。留学生はそれぞれ出身国の特徴、お国柄をもっている。

1997年からのチェコ出身のイゴル・ストフスキー君は、加藤貴雄教授の指導により2001年4月「脳性利尿ペプチドと心室性不整脈重症度の関連」を「不整脈」に英文にて発表した。極めて短期間で学位取得である。彼はこの論文を世界心電学会に発表し、Best Poster Awardを受賞した。すばらしいことである。現在、外来の小さな診療室で身体を小さくして、加藤外来を手伝っているが、来年帰国すると聞いている。帰国後の仕事振りが期待される。

一方、張雪君医師は1994年9月からの留学生で、今日（平成15年11月26日）第二次論文審査が「低酸素血症を呈する慢性胆管結紮モデルにおける肺内血管拡張とNO」のタイトルで行われた。このテーマは奥村名誉教授時代からの課題であり、荒牧教授と勝田助教授の指導で行われている。本論文はJournal of Hepatologyに掲載され、しっかりした実験計画とその成果が各審査員に賞賛された。今後、慢性肝疾患治療への展開が期待される。

ジハード・ズライガット君は、シリア出身で国王（眼科医）と同級生と聞く。この国ではcoronary interventionを行う医師が少なく、帰国すると8番目の循環器医師であるという。大学院4年生で冠疾患と血小板との関係について高山守正講師の指導のもと学位論文に取り組んでいる。

医局内における外国人留学生の近況は以上のごとくだが、全員そろそろ帰国するだろう。帰国後どんな活躍をするか楽しみである。来年春からは笹川財団推薦による中国留学生を新たに迎える予定である。

ところで、医局員の海外留学についてみると、小島直彦先生（昭和34年卒）、原文男先生（昭和35年卒）の両先生はドイツ・ミュンスター大学に学び、医局に電氣的除細動器もたらしたと思う。また、故牛山清司教授（25年卒）は米国ハーネマン大学へ留学し、我が国にはじめてシネアンジオグラフィーを紹介した。そのシネを見たときの感動は格別であった。早川弘一教授（昭和35年卒）は、米国シーダース・サイナイ・メディカルセンターで勉強してきた電氣的生理学的手法を我が国に紹介した。その後、約20名の医局員が引き続きシーダース・サイナイ・メディカルセンターに留学し、現在も指導をいただいている。すでに約50名の医局員が留学へ、海外へと目を外に向け、米国、英国、オーストラリア、フランス、ドイツ、ニュージーランド、カナダへと海を渡っている。循環器疾患と肝疾患研究を目的とした留学で、多くの成果を我が国にもたらした。

多くの若手医師に留学をすすめたい。しかし、学位論文を書き終え、自主自律が可能になってから海外へ行くほうがよい。それは情報を得たり、文化を学んだりする重要性がより理解できるため、収穫が多いからだ。残念なことは、この2～3年我が国の医療行政の著しい変革の時期に海外留学を縮小せざるをえなかった、ことである。それで本当に良かったか、反省の時期でもある。

平成14年度の新入医局員は15人、平成15年度は13人であった。彼ら全員に海外留学を勧めたい。

「げんてん」発行に寄せて

げんてん会会長 山崎 登志雄

このたび「げんてん」第14号を刊行することとなりました。

前げんてん会会長高野守人先生の後任として本年から会長になりました。
16年余のあいだ会長を勤められました高野前会長には全げんてん会会員を代表して心から御礼を申し上げます。とともに、今後も会のため御指導御鞭撻を賜りますよう御願いたします。

さて、現在約200名の第一内科教室所属の会員を含め総計460名を超える大きな会に成長して参りました。教室の主要行事に参加したり、教室の先生方が主催する学会に賛助したりと活動も徐々に幅広くなってきております。今後も診療・研究・教育を中心に各種の情報伝達の推進や親睦につとめ、会員各位の発展向上に寄与したいと考えております。

ここ数年来、第一内科の研究業績は目覚しく、国内、海外ともに充実した研究成果が認められており、日本医大にとどまらない世界の医学界をリードする存在と言えるほどになっています。教室出身者として心強く嬉しく思っております。本誌には最近の発表論文が記載されています。

明年（平成16年）の2月7日（土）には、故木村栄一先生の23回忌が行われます。先生が御逝去なされてから満22年の歳月が過ぎました。しかし、恩師の面影と印象は深く刻みつけられています。直接薫陶を受けた者も、その伝説的な語りつぎを聞いた人も一同に集まり、先生の思い出を偲びたいと考えています。家族とともに御参加してください。

永山病院内科・循環器内科助教授を拝命して

草間 芳樹

今年10月より、付属多摩永山病院の助教授を拝命し、その責任の重さを感じております。

多摩永山病院内科・循環器内科の外来、病棟は、高血圧を含む循環器疾患のほか、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病、気管支喘息などの呼吸器疾患、甲状腺疾患、感染症はじめ内科一般の診療を担当しています。近隣の医療機関からの紹介も多く、内科学の重要性、専門領域にとらわれず原点にかえり内科全般に関する知識をアップデートする姿勢の重要性を再認識しています。

院内では、前任の鈴木 健先生の後任として、中央検査室長、院内感染対策小委員会長などを担当しています。先頃は、“真空採血管を用いた採血に関連した感染の可能性”がテレビ、新聞にて報道され、対応の検討が必要でした。また、院内感染対策小委員会長としての初仕事は、今冬にむけて、SARSに係る医療連携と感染防御の院内指針をまとめた“重症急性呼吸器症候群（SARS）対応の院内マニュアル”の作成でした。いずれもこれまで担当したことのない業務で、学問以外の研修も必要であり、病院管理の一面を学べ、良い経験をさせていただきました。

来春から、新しい卒後臨床研修制度が導入され、病院毎に特徴、独自性ある研修内容、指導が必要です。内科医に必要な広い知識、診断能力を養い、患者さん、家族と良好なコミュニケーションを築ける姿勢を大切にする指導をしていきたいと考えています。また、研究に関しても永山病院の特徴が生きる領域の研究活動を進めてゆく所存です。

来年1月には、部長の新 博次先生が教授に昇進され、多摩永山病院内科・循環器内科の体制もより整います。しかし、東京都CCUネットワークへの参加、診療体制の充実には多くのマンパワーの注入が必要です。今後とも、げんてん会諸先生、医局諸先生のご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

帰朝報告

宮内靖史(平成2年入局)

2000年7月～2003年3月の2年9ヶ月の間、米国 Cedars-Sinai Medical Center に留学し、Karagueuzian 教授の下で心臓基礎電気生理の勉強をしてきました。

Cedars-Sinai Medical Center は Los Angeles 市の北部、Beverly Hills の高級住宅地区と商業地区の間に位置し、約 800 床の病院と研究施設などから成るカリフォルニア屈指のメディカルセンターです。ご存じのように、早川名誉教授、高野教授、加藤教授を初めとして、第一内科の多くの諸先輩方が留学された施設であります。私は基礎研究のみで臨床の仕事に関わることはありませんでしたが、自分自身が胃を悪くして内視鏡検査を受けたり、家内が出産、子供が新生児黄疸で入院したりと、患者として病院に関わる事が数多くありました。医療レベルは高くスタッフも親切で、とても良い病院と思われました。その一方でアメリカの中でも費用のかかる病院であり、具体的には内視鏡で 70 万円、出産で 120 万円、新生児黄疸で NICU に 2 泊して 150 万円かかりました（幸い医療保険でほぼ全額カバーされましたが）。

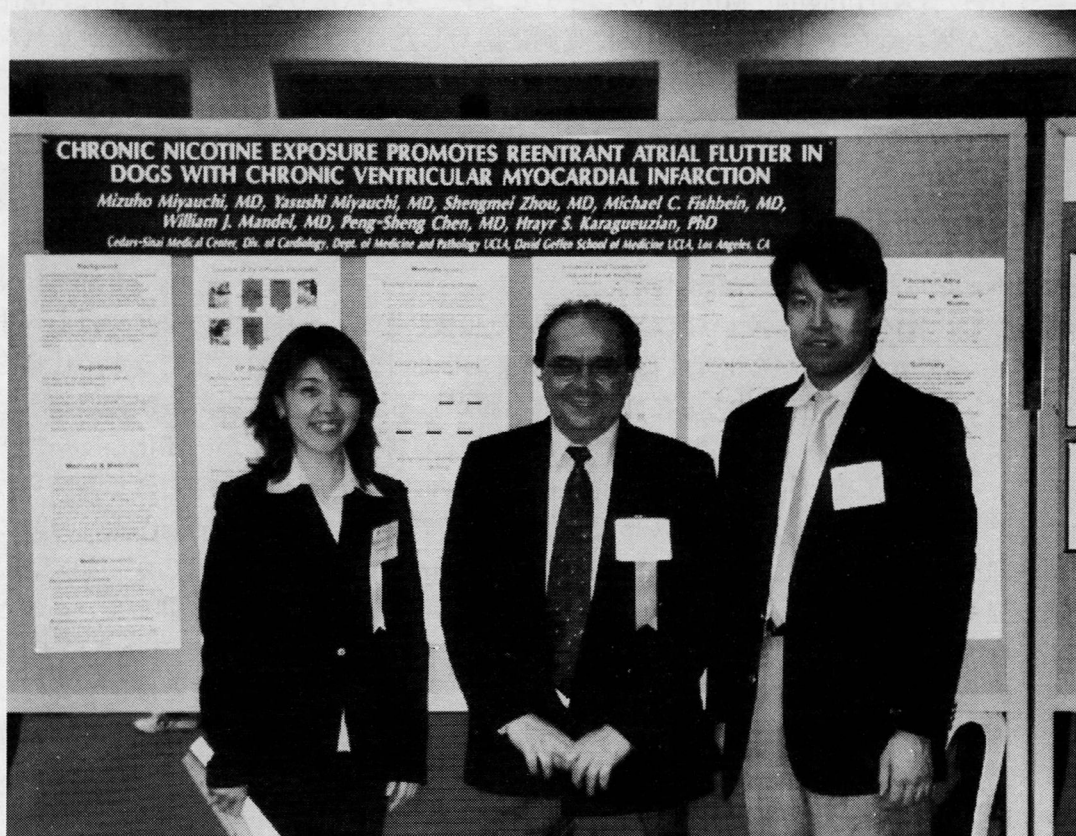
私が所属していた Basic Electrophysiology Lab は、ここ数年で人数・設備ともに急激に拡張し現在総勢 20 人の大所帯となっております、設備も充実し In vivo 実験を行う部屋、In vitro 実験の部屋が別々にあり、それぞれ 2 系統の実験を同時進行できます。1792 チャンネル同時記録できるマッピングシステム、光学的マッピングシステム、細胞内電位記録装置など充実した機器を有し、最近では molecular biology も取り入れる方向で進んでいます。

Electrophysiology Lab には、私の Boss である Karagueuzian 教授の他に、Peng-Sheng Chen 教授というもう一人の Boss がおり、それぞれが直属の fellow を持ちながら共同運営するという、少し特殊な形式をとっておりました。2 人は全く違ったタイプの指導者でした。Chen 教授は豊富な資金をもとに高額資金を調べ、多くの fellow に次々と仕事をさせるいわばブルドーザーの様な人で、最近の Lab の発展は彼の力によるもののがかなり大きいと思います。一方 Karagueuzian 教授はどちらかというと学者タイプの指導者で、多くの研究費を集めて多くのプロジェクトを同時に進めるというタイプではありません。一つのことに集中して深く突き詰めるタイプであり、自らも、面倒を見る Fellow は 2 人が限界だと言っておりました。研究費が多くないから苦労するかということそうでもなく、教授の購入した高額設備を用いて研究をできます。ではその反対はというと、Chen 教授は Karagueuzian 教授の知識・考え方をとても尊重しており、そういう面でお互いもちつもたれつといった関係になっております。Chen 教授は、いわば高性能コンピューターのような頭脳を持っておりますが、彼の fellow は仮説通りに結果を出すようにルールが敷かれていて、独自のアイディアを出す余地がありませんように見えました。一方、Karagueuzian 教授の場合は、なかなか仮説通りに結果がでないのですが（それが本当なのではないかと思いますが）、なぜそのようになるのかを考え、discussion してプロトコルを換えながら研究を進めましたのでした。良く言えば結果に正直、悪く言えばいきあたりばったりだったという事です。研究の完成に長い時間を要しましたが、その過程でいろいろ勉強になりました。結果的に論文数は少なかったのですが、私は Karagueuzian 教授の Fellow でよかったと思っています。

Lab は NIH の突然死に関する指定研究施設であるため心室細動に関する研究が主ですが、最近に興味の対象を心房細動に移行しつつあり、私は心房細動に関する研究を行いました。まず、犬の心筋梗塞モデルを用いて心房細動の研究を行いました。慢性心筋梗塞の患者は心不全・高血圧などの risk factor がなくても心房細動を発症しやすいという疫学的データがありますが、なぜなのかがよく分かっておりませんでした。上記のマッピングシステム等を用い実験を進めました。次に、ラットの肺静脈の活動電位を記録し、その電気生理学的特徴を研究しました。肺静脈の ectopy が心房細動のトリガーとなることが知られていますがそのメカニズムは明らかではなく、それを解明すべく実験を進めました。紙面の都合上詳細は省略します。

ロサンゼルスは一年を通して温暖で雨も少なく過ごしやすい気候で、また、日系の店も多く日本人にとって生活しやすい都市の一つだと思います。車で少し足を延ばせば観光スポットが多くあり、数日の休みをとればグランドキャニオン、ヨセミテなどの国立公園も行けます。毎日実験やデータ解析をしていると気分がブルーになりがちで、そういう時には、ちょっと外に出てロスの強い日差しにあたったり、休日に近場の観光地に行ったり、時には数日休みをとって遠くに行ったりしてリフレッシュできました。このような生活環境は、Lab 自体の善し悪し以上に留学生活上重要なのではないかと思います。

最後に、今回留学する機会を与えていただいた高野教授および医局の先生方、またアレンジしていただいた加藤教授、小林講師、また、留学初期に生活面のサポートと実験の指導をして下さった小原先生に深く感謝申し上げます。



中：Karagueuzian 教授 2003 年 NASPE にて

留学を終えて

宮内瑞穂

2001年2月より、米国 California 州 Los Angeles にあります Cedars-Sinai Medical Center への留学の機会を頂きまして、2003年3月まで勉強させて頂いて参りました。このような機会をお与え頂きまして、高野教授をはじめ、小林講師、平山医局長、そして諸先生方に心より感謝申し上げます。

主人であります宮内靖史との結婚と同時に LA に渡りまして、到着して早々から研究所に行かせて頂き、当初は、新婚生活と初めての外国生活、そしてやはり初めての研究所での勉強と、慣れない事ばかりでかなり緊張していた覚えがございます。

私達のラボには、Cedars の Cardiac Electrophysiology の chair である、Dr. Peng-Cheng Chen MD., そして私と主人の直接の上司である Dr. Karagueuzian PhD. がいらっしゃいました。Dr. Chen はいつも穏やかで、優しく気を使ってくださって、私が米国に来たばかりの頃は、生活に慣れたか、東京が恋しくないかいつも尋ねて下さいました。仕事の上では大変鋭く、色々ご質問頂き、答えられずにドキドキすることもしばしばございました。Dr. Karagueuzian は、博学でユーモアが大好きで、やはり仕事では厳しく、仕事以外の場ではとても楽しく接して下さい、私もリラックスしてラボに通えるようになりました。

英語に関しては、それ程不安を感じずに渡米したのですが、いざ生活するとなると勝手が違い、マーケットで身近な日用品一つ買うのにも苦労致しました。お風呂のカビ取りって、何て言うのだろう・・・と悩んで、店員さんに、「お風呂に黒や灰色の fungus が出てきた」と言ってみたら、「fungus?! Mildew のことでしょ」と笑われたり致しました。また、電話にもなかなか慣れないで、イタズラ電話に真剣に対応したり、セールスがなかなか断れなかったりも致しました。その頃は、電話のベルが鳴る度にドキドキしていたように記憶しております。

英語で話すということだけで苦労するという状態でしたのに、その上仕事の現場ではボスとのやり取りを含めて当然ずっと英語で表現せねばならず、また、毎週開かれる Lab. Meeting や抄読会ではスライドを使っただけの発表が頻繁に回ってきて、自分の勉強不足、英語力の不足を毎回痛感させられました。

渡米して比較的すぐに、幸いなことに妊娠いたしまして、1ヶ月ほどの早産ではありましたが Cedars で元気な長女を出産することが出来ました。出産の10日前までラボで仕事をしておりましたが、ラボをお休みしてから急にお腹が張るようになり、ある朝突然破水してそのまま Cedars に入院となりました。Cedars では、陣痛室と分娩室が一体化して一つの個室となっており、一面ガラス張りで、Beverly Hills の美しい山々が一望できる素晴らしいお部屋でした。私の主治医は背の高い黒人の女医さんで、いつも”OK! Perfect!”とニコニコしながら仰っておられる楽しい先生でした。「出産は happy なもの」というのが口癖で、私の陣痛が強くなると、「痛みを我慢しては happy な気持ちになれないわ」と仰って、あっという間に麻酔科医を呼んでくださり、無痛分娩の処置（硬膜外麻酔）を取って下さいました。産みの痛み、苦しみを我慢してこそ一人前の女性、という日本の考え方とは全く異なった米国の出産に対する考え方を感じる事が出来ました。出産当日の夕方から母子同室の個室に移されましたが、2日後にはあっという間に退院になりました。ちょっと不安にもなりましたが、産まれたての赤ちゃん和家人に帰った時の喜びもひとしおでした。

米国の医療制度上、赤ん坊の定期健診には、産科の先生からご紹介頂いた小児科主治医のクリニックに通うことになりました。こちらの先生も、パフォーマンス好き(?)の陽気な黒人の女医さんで、ハロウィンやクリスマスの時期は、カボチャ模様の服やトナカイのような衣装を着て現れたり、診療を楽しみながらやっていたりする姿勢は大変勉強にもなりました。先生自体は日本という国に馴染みが無かったようで、東京と京都の区別もつかないようでしたが、私達の説明する日本の風土、気候や食生活等について熱心に耳を傾けて下さいました。慣れない異国での育児について、大変細かくサポートしてくださり、離乳食のメニューからお尻の拭き方まで様々なご助言を頂き、また、こちらからのつたない英語での質問にも詳しくお答え頂き、心より感謝致しました。

長女が8ヶ月になった頃からラボに復帰しまして、また実験を始めさせて頂きました。同時に、長女を Santa Monica の Day Care Center(保育所)に預けることになりました。

その Center は知り合いの方に紹介して頂いた所だったのですが、No Discrimination を掲げた所で、白人は勿論、黒人、Hispanic、Indian と、様々な人種の子供達が居りましたが、アジア人は長女だけで、珍しいと、先生方にも随分可愛がって頂きました。子供達が並んで座っている所を見ると、プロポーションの差が歴然としていて、長女だけ頭が一回り大きくて、何だか可笑しくなったりもしました。ある時、長女のお弁当の、お米のおかゆに海苔を振り掛けていったところ、「今日のお弁当に何か黒いものがついているのですが!」と保母さんから連絡を受けて、海苔の説明をしたり、今から思い出すと笑ってしまうような思い出が多いです。長女のお弁当の中身が、healthy で良い物ばかりだと、保母さん達には、日本食は絶賛されました。長女も通いだして一週間もしないうちに Center に馴染んで、楽しく過ごしていたようでした。いまだに時々、長女がふと英語で話したりするのは、その頃の先生方の真似なのかな・・・と思ったり致します。

研究の方では、出産前は、イヌの pulmonary vein の restitution curve の research、出産後からは、やはりイヌを使って EPS を行ない、心筋梗塞を作ったイヌに慢性的にニコチンを投与することで、IVC-TV Isthmus dependent の心房粗動が起き易くなるという興味深い結果を得ることが出来ました。帰国直前には院内の RIP にて研究発表させて頂きましたことが、大変良い経験にもなりましたし、また良い思い出にもなりました。大変未熟な私を手取り足取り指導してくださった Dr. Karaguruzian、温かい笑顔でいつもご助言くださった Dr. P.S.Chen にはお礼の言葉さえ見つからないほど感謝致しております。

また、ラボの留学生の皆様、実験をいつも手伝って下さった Avile、Lei Lin (Dr. Marc Lin の奥様) にも、公私共々、また家族ぐるみで大変お世話になり、かけがえのない友人を得ることが出来ました。

そして、LA 在住の田中孝志さんには、何度もお食事をご馳走になったり、帰国直前にはご自宅に泊めていただいたりもし、私達の米国生活を支えて頂き、本当に感謝しております。Thanksgiving の日に、とてつもなく大きな七面鳥を焼いて田中さんとパーティーしたことが、大変に良い思い出です。

そして何よりも、至らない私を常に支え、助け、そしていつも幸せな気持ちにし続けてくれた主人に、大変感謝しております。皆様に感謝しつつ、終わりの言葉にさせて頂きたいと思います。

第一内科学教室、げんてん会報告

今年度も様々な行事がありましたが、いずれも盛会のうちに無事終了することができました。これも、ひとえに第一内科同窓会の先生方のお陰様でございます。皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

1) 平成15年げんてん会総会

平成15年5月10日(土)橘桜会館において、げんてん会総会が開催され62人(現役35名、OB27名)の出席をいただきました。総会では山崎登志雄会長、大林完二副会長、高野照夫教授による開会挨拶、活動報告がなされた後、長年、げんてん会々長をお務めいただき、現在も御指導いただいている高野守人名誉会長へ感謝状と記念品の贈呈が行われました。

その後、三浦洋司先生、櫛方美文先生、富田喜文先生、藤本俊文先生、宮本正章先生による医学講演が行われ熱心な討議がなされました。また会計報告も全会一致で承認されました。主催予定の学会については第20回日本心電学会(会長:岸田 浩教授、2003.9.8)、第17回日本冠疾患学会(会長:水野杏一教授、2003.12.12)が紹介され、それぞれの先生より準備状況等の報告がなされました。

総会に引き続いて大講堂で新入生歓迎会が行われました。今年も15名という多数の入局者(千駄木11、丸子4)があり、高野教授、山崎会長はじめ多くの先生方の御祝辞の後、医局長より新入医局員が紹介されました。恒例の新入医局員による出し物が始まる頃には、さらに多勢の医局員、看護師、パラメディカルの方たちがかけつけ、歓迎会也大いに盛り上がりお開きとなりました。

2) 故木村栄一教授23回忌のご案内

日時:平成16年2月7日(土)午後6時

会場:東京會館 11階ゴールドルーム

当日げんてん会報告もあわせて行わせていただく予定です。

2) 平成16年は、げんてん会総会は予定しておりません。また新研修医制度がスタートすると第一内科への正式入局は3年後となりますので、それまでの期間、新入生歓迎会は行いませんのでご承知おきください。

4) 日本循環器学会においてもさまざまなご協力、誠にありがとうございます。

5) 平成16年度げんてん会々費はこれまで通り、5,000円とさせていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成15年5月10日(土)

3:30 PM 開会挨拶

会 長	山崎登志雄先生
	高野照夫教授
副会長	大林完二先生

9

第 20 回日本心電学会学術集会を開催して

第 20 回日本心電学会学術集会は、平成 15 年 9 月 8 日、9 日の 2 日間にわたって東京国際フォーラムで開催致しました。本学会の会長を拝命し、光栄でありますとともにその責任の重大さを痛感いたしました。2 年前から学会開催のための準備委員会を設立し、準備を始めて参りました。とくに、今年の本学会は、第 51 回日本心臓病学会と同時期、同会場で開催する運びとなりました。そのため両学会に参加される会員のために、学術企画を充実することに力を注ぎました。また、本学会には多くの参加者が見込まれることから、会場の設営や運営に多額の費用を必要することになりました。本学会を成功に導くためまことに恐縮とは存じましたが、第一内科原点会（同窓会）の会長山崎登志雄先生や同会員の先生方に趣旨をご理解いただき、本学会への助成金として格別のご支援を賜りました。本学会が成功裏に終わることができましたのも諸先輩や医局の先生方のお陰とこの紙面をお借りして、心から感謝申し上げます。

今回開催されました第 20 回日本心電学会学術集会のハイライトについてご紹介したいと思います。

本学術集会は、循環器診療に従事する臨床医学者および生理学、薬理学、臨床薬理学などの研究者が一堂に会して、お互いの研究成果の発表によって、意見交換と専門知識の交流を行う場であり、本学会の果たす役割は極めて大きいと思われます。また、検査としての心電図は循環器専門医から一般臨床家まで広く用いられ、最近では臨床検査技師、看護師や薬剤師における教育の場としても極めて有意義な学会と再認識されております。循環器疾患が注目されている昨今、本学会の社会的貢献度も大きいと確信しており、本学会の主題を「Electrocardiology Renaissance—心電学における再発見と新たな展開—」と位置づけました。

上田英雄記念講演には、Arthur J. Moss 教授にお願い致しました。先天性 QT 延長症候群（LQTS）の臨床研究を行うために世界中の症例の登録センターを設立され、長年にわたるデータの解析から、LQTS の遺伝子異常の解明に寄与されました。今回 “The Long QT Syndrome: Genotype, Therapy, and the Electrocardiogram” と題して講演されました。また、山田和生招聘講演に Arthur A.M. Wilde 教授 (University of Amsterdam) をお招きして “Familial arrhythmias; molecular, genetic and clinical aspects” というテーマで家族性不整脈の基礎的研究を中心に発表されました。また、本年、特別講演として 2 つ企画し、一つには現在トピックスである心房細動とカテーテルアブレーションの今後の展開について、台湾から Shin-Ann Chen 教授をお招きして “Catheter Ablation for Thoracic Vein Arrhythmias: Fact and Controversy” と題して講演されました。この司会には、第一内科の OB である山口 巖教授（筑波大学）にお願いしました。もう一つには教育講演として、有田 眞先生に「虚血耐性と抗不整脈薬」というテーマで基礎と臨床の関わりを分かりや

すく解説していただきました。この海外からの 3 名の先生方や有田先生は、第一内科の先生方にとってこれまでとくにお世話になった先生方であり、この学会にふさわしい世界的に有名な先生方に心よく特別講演をお引き受けいただき最高の喜びでした。

今回のシンポジウムの一つには、「交互脈：心電図から細胞内分子へー新たなる旅立ちー」を企画しました。交互脈が注目されてから一世紀が経過しましたが、心電図 T 波の交代現象は重症不整脈出現の前兆となることが注目されています。このシンポジウムの司会者が木村先生と吉田興一先生が 1963 年に発表された T 波の *alternans* の症例を紹介しました。シンポジストとして日本医大から平山悦之先生が実験的成果を発表しました。基礎から臨床まで交互脈について充実した発表と討論がありました。

他の 2 つのシンポジウムは、日本心電学会学術諮問委員会からの提言シンポジウムとして「ベータ遮断薬による心不全・不整脈治療の基礎と臨床—カルベジロールを中心として」と指定トピックスシンポジウムとして「後天性 QT 延長症候群—機序と病態」でした。ベータ遮断薬が慢性心不全の治療薬として登場し、そのエビデンスが確立しつつありますが、その成果を発表していただきました。また、近年、薬剤の開発には、QT 間隔測定的重要性が指摘されており、とくに性差も QT 延長の要因のひとつであります。この点も含めた新しい局面について討論されました。パネルディスカッションは、ここ数年の間に飛躍的に進歩した心房細動に関する基礎および臨床研究における様々な問題点と今後の心房細動治療の在り方を討論していただきました。

日本心電学会学術集会と日本心臓病学会学術集会による合同企画をとして、合同シンポジウムでは、「突然死の基礎と臨床」というテーマで企画致しました。司会の一人として日本医大から新 博次先生が参加しました。招聘された Arthur J. Moss 教授(University of Rochester)、Robert J. Myerburg 教授(University of Miami School of Medicine)と日本を代表する著明な 3 人の先生方からこの突然死を未然に防ぐ予防戦略に関して活発な討論がなされました。Moss 先生からは、植え込み型除細動器に関する大規模臨床試験などをふまえ、突然死の一次予防に関する講演をされました。

また、特別企画として、現在不整脈治療のトピックスであるカテーテル・アブレーション・ビデオセッションを 2 時間にわたって行いました。日本医大からは、小林義典講師が司会者として活躍されました。とくに、この発表形式は新しい試みでもあり、日本医大で事前に収録されたビデオの症例を提示してコメンテーターがそれぞれの治療方針の違いやアブレーションのコツなどを討論しました。この準備には第一内科の電気生理学グループの大変な協力があつたことを付け加えさせていただきます。このようなすばらしい企画が完成できたのも全員の並々ならぬ情熱があつたからと思います。

公開講座として、臨床検査技師、看護師を対象とした心電図の判読を基礎と臨床の面から、2 日間にわたって行いました。1000 名以上の参加者が受講され、連日とも会場は満席であり、臨床検査技師や看護師の心電図および不整脈に対する意識の高さが印象的でした。

さらに、今回はファイアサイドカンファレンスを 2 日間にわたって 5 題企画しました。

少し欲張った感も致しますが、各セッションの座長の先生方には興味のある企画をしていただきました。「急性冠症候群の心電図を読む」の演者として、日本医大から清野精彦助教授が発表し、「低心機能例における不整脈とその治療戦略」の司会に加藤貴雄教授、演者として小林義典講師、さらに「虚血・再還流傷害と心筋保護」の司会に草間芳樹助教授、演者として安武正弘講師が参加した。

一般演題につきましては、約 260 題と例年以上の応募があり、口述の発表はほとんどが PC による発表でした。日本医大からも多くの先生方に座長や発表をしていただきました。さらに今回から MO や PC などのメディアのみでの受付けもできるようにしたことは大きな進歩であったと思います。

本学術集会を開催するに当たり、ご協力、ご支援いただきました日本医大第一内科高野照夫教授ならびに医局の先生方や同門の諸先生に心から感謝申し上げます。

第 20 回日本心電学会学術集会

大会長 岸田 浩

(日本医科大学第一内科)



2002 年 4 月

移動 研修医 大学院生

付属病院

外来(5)

八島、塚田、川口、福本、清水一

(安武ひ、馬場、横島、福間祐、柏木、西垣、高橋保、太良)

A6(11)

古明地、藤岡、松本、馬淵、木村、堀江、館岡、福島、村上、
小林宣、山下

C6(13)

福間、大村、浅井、清水治、大野忠、山根、及川、森田、土田、
小川紅、山本英、宗像、岡崎、

E5(11)

中込、小原啓、青木、高野仁、田中古、長戸、阿部、淀川、
美浦、上野、細川

CCU(6)

山本、藤田進、坪、林、亀山、高木啓、

生理機能

本間、

研修

奥田(永山麻酔科)、

丸子(17)

寺田、岩原、内田、飴澤、西垣朝、小野、高橋直、山口、網谷、
竹永、宜保、伊佐治、酒井行、原田、岩本、石渡、神谷、

健康管理科

山中

北総内科(11)

佐野、野村、富村、清宮、高野雅、掃部、岡松、稲見、小川友、
鈴木、村井、

CCU(10)

今泉、星野、小原俊、大場、横山真、品田、三松、牛島、本郷、
伊藤、

永山(13)

田寺、遠藤康、小谷、宮本、緒方、笠神、丸山、大塚、石井、
吉田博、徳山、金澤、吉川真

北村山

金村、佐伯、池田、平澤、愛須

鹿島

関戸、椎葉、石川昌

駒込

説田、荒尾

波崎

笠井、長野、石川正、田近、

登戸

洪、佐藤越、三浦、谷口、加藤浩、

大倉山

長江、後藤

博慈会

小川剛、田中邦、加藤良、吉川、

東京都リハビリ石川貴

東京白十字

川嶋、

国立東静

横山広、上村、高山英、小川晃、田邊潤、山科、時田、

鶴見歯科

磯田

同愛記念

櫛方、

基礎大学院

第2生化：高橋啓、田辺浩、微免：高久

留学生

呉、張、イゴール、ジハード、石橋(北総内科)、

留学(8)

奥村、酒井俊、宮内&瑞、高木元&郁、大野則(3ヶ月間)、
岩崎(国内留学)、

2003 年 3 月

異動 研修医 大学院生

付属病院

外来(5)

八島、塚田、福本、田中古、清水一、
(安武ひ、柏木、馬場、福間祐、高木郁、西垣、横島、岡松、
小野い、木村、太良)

A6(13)

中込、小原俊、清水治、山根、土田、堀江、加藤良、谷口、館岡、
山下、稲見、加藤活、蜂須賀(皮膚科より研修)

C6(12)

古明地、大村、浅井、大野忠、馬淵、小川晃、川嶋、愛須、
牛島、佐々木、東、渋井、

E5(12)

福間、青木、高野仁、長戸、岩崎、阿部、淀川、平澤、美浦、
細川、小鹿野、宮地、

CCU(6)

小野、山本、藤田進、坪、高木啓、森田、

生理機能

本間、

研修

徳泉(麻酔科)、大野大(神経科)、岩本(放射線科)、小林宣(北総 CCM)、

丸子(14)

寺田、岩原、内田、星野、鯨澤、西垣朝、高橋直、山口、網谷、
竹永、伊佐治、酒井行、石渡、板倉、

健康管理科

山中、

北総内科(11)

佐野、野村、酒井俊、高木元、大場、清宮、掃部、稲見、小川友、
本郷、富田、

CCU(10)

今泉、横山真、吉田博、三浦、品田、徳山、三船、神谷、
青木亜、藤本、

永山(17)

田寺、遠藤康、小谷、宮本、緒方、松本、佐藤越、笠神、
丸山、大塚、石井、亀山、山科、伊藤、岡崎、吉川真、岡田、

北村山

金村、佐伯、福島、吉川、上野、

鹿島

関戸、石川正、村上、

駒込

説田、荒尾

波崎

笠井、長野、石川昌、田近、

登戸

洪、林、加藤浩、椎葉、村井、

大倉山

長江、後藤、川口、

博慈会

小川剛、田中邦、高橋保、鈴木、

東京都リハビリ

石川貴

東京白十字

小川紅、

国立東静

横山広、上村、高山英、田邊潤、時田、山本英、金澤、

鶴見歯科

磯田

同愛記念

櫛方、小原啓、原田、

八丈島

宗像、

基礎大学院

第2 生化：高橋啓、田辺浩、微免：高久

留学生

張、イゴール、ジハード、石橋(北総内科)、尹

留学(5)

奥村、宮内&瑞、大野則、高野雅、

CC・CPC

CCとCPCは、下記の時間に行われます。是非ご参加ください。

CC: 毎週火曜日午後5時30分～

場所: 第一講堂

CPC: 金曜日午後12時30分～(不定期)

場所: 病理学資料室

CC

年 月 日	症 例	病歴番号	担 当 医	司 会	診 断 名
平成14年5月21日	54歳、男性	287346	美浦	高野(仁)	Common variable immunodeficiency
5月28日	26歳、男性	290224	山本(剛)(木村)	古明地	Erythropoietic protoporphyria
6月18日	67歳、男性	285146	村上(宗像亮)	清水(治)	Allagil l e syndrome
10月15日	68歳、女性	284626	美浦	高野(仁)	Tuberculous lymphadenitis
11月19日	79歳、女性	294053	神谷	馬淵	Anterior spinal artery syndrome
11月26日	49歳、女性	296321	稲見	清水(治)	Portopulmonary hypertension
平成15年1月14日	56歳、男性	297231	徳泉	青木(聡)	Cholesterol crystal embolism
1月28日	42歳、男性	293537	小鹿野	高野(仁)	Adult-onset type II citullinemia
2月18日	66歳、女性	297168	川嶋	馬淵	Heparin-induced thrombocytopenia
2月25日	54歳、男性	301837	宮地	岩崎	Mitochondrial myopathy (MELAS type)

CPC

年 月 日	症 例	病歴番号	担 当 医	司 会	臨 床 診 断 病 理 診 断
平成14年6月10日	64歳、女性	262917	坪	小林講師	CHF due to myxoedema heart? Acute and old myocardial infarction
6月24日	67歳、女性	4科合同			SLE, RA, Sepsis RA, Secondary amyloidosis
7月8日	83歳、女性		高木(啓)	福間(長)	Cardiogenic shock due to AMI Acute and old myocardial infarction
10月28日	49歳、男性	4科合同	三富(3内)	坂本講師 (2内)	Cryptococcal meningitis Cryptococcal meningitis
11月11日	63歳、女性		岡崎	小林講師	AIH, ARDS LC, Invasive pulmonary aspergillosis
12月2日	74歳、男性		高山(英)	福間(長)	TTP, AMI Thrombotic microangiopathy

* 内科4科合同CPCが1, 4, 7, 10月の年4回開催される予定です。

病理医と各科専門医を中心に討論が行われます。

一部のCPCは雑誌「内科」に掲載されます。

学位取得者

氏 名	取得年月日 (学位記番号)	論 文 名	雑誌名、巻、 頁、発行年
森田 典成	平成14年 5月10日 甲1064号	Pronounced effect of procainamide on clockwise right atrial ischmus conduction compared with counterclockwise conduction: Possible mechanis of the greater incidence of common atrial flutter during antiarrhythmic therapy	J Cardiovasc Electrophysiol 13(3); 212-22; 2002.3
富村 正登	平成14年 5月10日 乙1657号	冠痙縮性狭心症における流血中マクロファージコロニー刺激因子の臨床的意義	J Cardiol 39(1); 19-27; 2002.1.
関戸 司久	平成14年 6月14日 乙1660号	ドブタミン負荷時における左室収縮最高血圧・左室収縮末期容積比変動を用いた心収縮予備能の評価: 左室収縮末期圧-容積関係勾配(E _{max})との比較検討	J Cardiol 39(2); 75-84, 2002.2
高野 雅充	平成14年 7月15日 乙1666号	Mechanican and structural characteristics of vulnerable plaques: Analysis by coronary angioscopy and intravascular ultrasound	J Am Coll Cardiol 38(1);99-104; 2001.7
小谷 英太郎	平成14年 9月13日 乙1670号	Cyclooxygenase-2 does not mediate late preconditioning induced by activation of adenosine A1 or As receptors	Am J Physiol Heart Cir Physiol 282(2);H959-68, 2001.8
大村 和子	平成14年11月15日 乙1672号	Electrocardiographic and elctrophsiological characteristics of atrial fibrillation arganized into atrial flutter by oral administration of class I antiarrhythmic agents	PACE 26(3) 692-702, 2003,3
大野 則彦	平成14年11月15日 乙1674号	QT間隔の時間的変動と心室性不整脈—QT variability indexと周波数解析による検討—	心電図 22(4); 274-284, 2002.7
遠藤 康美	平成14年11月15日 乙1675号	Clinical significance of wide QRS complexes at the termination of paroxysmal supraventricular tachycardias	J Nippon Med Sch 69(6);525-33; 2002.12
三浦 洋司	平成15年 1月15日 乙1689号	Limitation of infarct size and ventricular remodeling in patients with completely reperfused acute anterior myocardial infarction. -The potential role of ischemia time-	Clin Cardiol 25(12);566-71; 2002.12
塚田 弥生	平成15年 2月20日 乙1699号	Real-time measurement of nitric oxide by luminol-hydrogen peroxide reaction in crystalloid perfused rat heart	Life Sci 72(9);989-1000; 2003.1
高久 俊	平成15年 3月 7日 甲1082号	Induction of hepatic injury by hepatitis C virus-specific CD8+ murine cytotoxic T lymphocytes in transgenic mice expressing the viral structural genes	Biochem Biophys Res Commun 301(2);330-7, 2003.3
岩崎 雄樹	平成15年 3月 7日 甲1086号	心内電位を用いた洞調律および心房ペーシング時の房室電動時間変動の周波数解析—房室結節に及ぼす自律神経活動の評価—	心電図 23(2); 190-9; 2003.3
高橋 啓	平成15年 3月 7日 甲1089号	Long-term systemic therapy of Fabry disease in a knock-out mouse by adeno-associated virus-mediated muscle-directed gene therapy	Proc Natl Acad Sci USA 99(21),13777-82,2002.11

VIII. 2002年度研究業績

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
【原著】					
Atarashi H, Inoue H, Fukunami M, Sugi K, Hamada C, Origasa H	Double-Blind Placebo-Controlled Trial of Aprindine and Digoxin for the Prevention of Symptomatic Atrial Fibrillation	Circ J	66(6)	553	556 2002
Endoh Y, Atarashi H, Hayakawa H, Nagasawa K, Kishida H, Takano T	Clinical Significance of Wide QRS Complexes at the Termination of Paroxysmal Supraventricular Tachycardias	J Nippon Med Sch	69(6)	525	533 2002
Hata N, Kunimi T, Takano M, Kishida H, Takano T	Adhesion Molecules as Markers of Clinical Severity of Stable Angina	Intl J Angiol	11(4)	115	119 2002
Horie T, Seino Y, Miyauchi Y, Saitoh T1), Takano T, Ohashi A1), Yamada N1), Tamura K1), Yamanaka N1) (1)Department of Pathology	Unusual Petal-like Fibromuscular Dysplasia as a Cause of Acute Abdomen and Circulatory Shock	Jpn Heart J	43	301	305 2002
Kim Song-J1), Kim Young-K1), Takagi G, Huang Cheng-H1), Geng Yong-J1), Vatner Stephan F1) (1)UMDNJ-New Jersey Medical School	Enhanced iNOS Function in Myocytes One Day after Brief Ischemic Episode	Am J Physiol	282	423	428 2002
Shinmura K, Xuan Y-T, Tang X-L, Kodani E, Han H, Zhu Y, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Inducible nitric oxide synthase modulates cyclooxygenase-2 activity in the heart of conscious rabbits during the late phase of ischemic preconditioning	Circ Res	90(5)	602	608 2002
Kodani E, Xuan Y-T, Takano H, Shinmura K, Tang X-L, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Role of cyclic guanosine monophosphate in late preconditioning in conscious rabbits	Circulation	105(25)	3046	3052 2002
Bolli R, Shinmura K, Tang X-L, Kodani E, Xuan Y-T, Guo Y, Dawn B (Division of Cardiology, University of Louisville)	Discovery of a new function of cyclooxygenase (COX)-2: COX-2 is a cardioprotective protein that alleviates ischemia/reperfusion injury and mediates the late phase of preconditioning	Cardiovasc Res	55(3)	506	519 2002
Dawn B, Takano H, Tang X-L, Kodani E, Banerjee S, Rezazadeh A, Qiu Y, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Role of Src protein tyrosine kinases in late preconditioning against myocardial infarction	Am J Physiol Heart Circ Physiol	283(2)	H549	H556 2002
Kodani E, Xuan Y-T, Shinmura K, Takano H, Tang X-L, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Opioid receptor-induced late preconditioning against preconditioning is mediated by cyclooxygenase-2 in conscious rabbits	Am J Physiol Heart Circ Physiol	283(5)	H194	H1957 2002
Shinmura K, Bolli R, Liu S-Q, Tang X-L, Kodani E, Xuan Y-T, Srivastava S, Bhatnagar A (Division of Cardiology, University of Louisville)	Aldose reductase is an obligatory mediator of the late phase of ischemic preconditioning	Circ Res	91(3)	240	246 2002
Tang X-L, Kodani E, Takano H, Hill M, Shinmura K, Vondriska TM, Ping P, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Protein tyrosine kinase signaling is necessary for nitric oxide donor-induced late preconditioning against myocardial stunning	Am J Physiol Heart Circ Physiol	284(4)	H144	H1448 2003
Shinmura K, Kodani E, Xuan YT, Dawn B, Tang XL, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Effect of aspirin on late preconditioning against myocardial stunning in conscious rabbits	J Am Coll Cardiol	41(7)	1183	1194 2003
Kumita S1), Seino Y, Cho K1), Nakajo H1), Toba M1), Fukushima Y1), Okamoto N2), Takano T, Kumazaki T1) (1)Department of Radiology, 2)Medical Imaging, Bristol-Myers Squibb K.K., Tokyo, Japan	Assessment of myocardial washout of Tc-99m-sestamibi in patients with chronic heart failure: Comparison with normal control	Ann Nucl Med	16(4)	237	242 2002

論文(原著、綜説)

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
Maruyama M, Atarashi H, Ino T, Kishida H	Osborn Waves Associated with Ventricular Fibrillation in a Patient with Vasospastic Angina	J Cardiovasc Electrophysiol	13(5)	486	489 2002
Miura H, Kiuchi K, Nejima J, Takano T	Limitation of infarct size and ventricular remodeling in patients with completely reperfused anterior acute myocardial infarction-the potential role of ischemia time	Clin Cardiol	25(12)	566	571 2002
Miura K, Seino Y, Honma H	Interception of aortic regurgitation by vegetation plug in a patient with infective endocarditis	Heart	87(4)	362	362 2002
Morita N, Kobayashi Y, Iwasaki Y, Hayashi M, Atarashi H, Kato T, Takano T	Pronounced effect of procainamide on clockwise right atrial isthmus conduction compared with counterclockwise conduction:possible mechanism of the greater incidence of common atrial flutter during antiarrhythmic therapy	J Cardiovasc Electrophysiol	13(3)	212	222 2002
Sakai S, Mizuno K, Tomimura M, Tanabe J, Seimiya K, Takano M, Yokoyama S, Ohba T, Uemura R	Visualized Plaque Debris as a Cause of Distal Embolization After Percutaneous Coronary Intervention in Patient With Unstable Angina	Catheter Cardiovasc Interv	55	113	117 2002
Satomura K, Shimizu S, Nagato T, Komeichi H, Osuga M, Katsuta Y, Aramaki T, Omoto Y, [1]Biologic Research Institute, Otsuka Pharmaceutical Co. Ltd]	Establishment of an assay method for human mast cell chymase	Hepatol Res	24(4)	361	367 2002
Setsuta K, Seino Y, Ogawa T, Arao M, Miyatake Y, Takano T, [1]The Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital]	Use of Cytosolic and Myofibril Markers in the Detection of Ongoing Myocardial Damage in Patients with Chronic Heart Failure	Am J Med	113	717	722 2002
Shimokawa H, Hiramori K, Iinuma H, Hosoda S, Kishida H, et al	Anti-anginal Effect of Fasudil, a Rho-Kinase Inhibitor, in Patients With Stable Effort Angina: A Multicenter	J Cardiovasc Pharmacol	40(5)	751	761 2002
Tajima H, Kumazaki T, Murata S, Abe Y, Komada Y, Nakazawa K, Yamamoto T, Takayama M, Tanaka K, Takano T, [1]放射線医学]	Acute pulmonary thromboembolism: clinical assessment of newly developed interventional radiology technique	J Nippon Med Sch	69(5)	463	467 2002
Takahashi H, Hirai Y, Migita M, Seino Y, et al, [1]Department of Biochemistry and Molecular Biology, 2)Division of Gene Therapy Research, Center for Advanced Medical Technology)	Long-term systemic therapy of Fabry disease in a knockout mouse by adeno-associated virus-mediated muscle-directed gene transfer	PNAS	99(21)	13777	13782 2002
Takayama H, Takeda S, Saitoh S, K, Hayashi H, Takano T, Tanaka K, [1]The Division of Intensive Care and Coronary Care Unit, 2)The Division of Radiology]	Spontaneous Isolated Dissection of the Superior Mesenteric Artery	Internal Medicine	41(9)	713	716 2002
Takeda S, Nakanishi K, Ikezaki H, Kim C, Sakamoto A, Tanaka K, Ogawa R, [1]Department of Anesthesia]	Cardiac marker responses to coronary artery bypass grafting with cardiopulmonary bypass and aortic cross-clamping	J Cardiothorac Vasc Anesth	16	421	425 2002
Tanaka K, Sato N, Yasutake M, Takeda S, Takano T, Tanaka S, [1]Division of Intensive and Coronary Care Unit]	Clinical course, timing of rupture and relationship with coronary recanalization therapy in 77 patients with ventricular free wall rupture following acute myocardial infarction	J Nippon Med Sch	69(5)	481	488 2002

論文(原著、綜説)

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
Tsukada Y, Yasutake M, Jia D1), Kusama Y, Kishida H, Takano T, Tsukada S2) {1)Department of Cardiovascular Medicine, China Medical University, 2)The First Department of Physiology, National Defense Medical College }	Real-time measurement of nitric oxide by luminol-hydrogen peroxide reaction in cystalloid perfused rat heart	Life Sci	72(9)	989	1000 2003
Tanaka K1), Sato N1), Yasutake M1), Takeda S1), Takano T, Ochi M2), Tanaka S2), Tamura K3) {1)Division of Intensive and Coronary Care Unit, 2)Department of Cardiovascular Surgery, 3)Division of Surgical Pathology}	Clinicopathological Characteristics of 10 Patients with Rupture of Both Ventricular Free Wall and Septum(Double Rupture)After Acute Myocardial Infarction	J Nippon Med Sch	70(1)	21	27 2003
Takaku S, Nakagawa Y1), Shimizu M1), Norose Y1), Maruyama I, Wakita T, Takano T, Kohara M, Takahashi H1) {1)Department of Microbiology and Immunology}	Induction of hepatic injury by hepatitis C virus-specific CD ⁴⁸ murine cytotoxic T lymphocytes in transgenic mice expressing the viral structural genes	Biochem Biophysical Res Com	301(2)	330	337 2003
Sutovsky I, Katoh T, Takayama H, Ono T, Takano T	Therapeutic Monitoring of Class I Antiarrhythmic Agents Using High-Resolution Electrocardiography Instead of Blood Samples	Circ J	67(3)	195	198 2003
Ohmura K, Kobayashi Y, Miyauchi Y, Endoh Y, Atarashi H, Katoh T, Takano T	Electrocardiographic and electrophysiological characteristics of atrial fibrillation organized into atrial flutter by oral administration of class I antiarrhythmic agents	PACE	26(3)	692	702 2003
Katoh T, Saitoh H, Ohno N, Tateno M, Nakamura T, Dendo I, Kobayashi S, Nagasawa K	Drug interaction between mosapride and erythromycin without electrocardiographic changes	Jpn Heart J	44(2)	225	234 2003
Takeda S, Kim C, Ikezaki H1), Nakanishi K1), Sakamoto A1), Miyashita M2), Sasajima K2), Tajiri T2), Tanaka K, Ogawa R1) {1)Department of Anesthesia, 2)First Department of Surgery}	Preoperative administration of methylprednisolone attenuates cytokine-induced respiratory failure after esophageal resection	J Nippon Med Sch	70(1)	16	20 2003
Atarashi H, Ogawa S1) {1)Department of Medicine, Keio University School of Medicine}	New ECG Criteria for High-Risk Brugada Syndrome	Circ J	67(1)	8	10 2003
Maruyama M, Ino T, Miyamoto S, Tadera T, Atarashi H, Kishida H	Characteristics of the Electrical Activity Within the Persistent Left Superior Vena Cava:Comparative View With Reference to the Ligament of Marshall	J Electrocardiol	36(1)	53	57 2003
Fujita M1), Mizuno K, Ho M, Tsukahara R, Miyamoto A, Miki O, Ishii K, Miwa K {1)College of Medical Technology, Kyoto University}	Sarpogrelate treatment reduces restenosis after coronary stenting	Am Heart J	145(3)	E16	19 2003
Takano M, Seimiya K, Yokoyama S1), Okamatsu K, Ishibashi F, Uemura R, Hata N1), Mizuno K {1)Hokusho Emergency}	Unique Single Coronary Artery with Acute Myocardial Infarction	Jpn Heart J	44(2)	271	276 2003
大野則彦1), 斎藤寛和, 大坂元久, 新博次1), 高野照夫 {1)多摩永山病院内科}	QT間隔の時間的変動と心室性不整脈:variability index と周波数解析による検討	心電図	22(4)	274	284 2002
森田典成, 小林義典, 館岡克彦, 谷口宏史, 阿部純子, 岩崎雄樹, 林明聡, 高山英男, 松本真, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫, 新博次1), 新田隆2) {1)多摩永山病院内科, 2)外科第二}	Ic群抗不整脈投与後にT wave alternanceが認められたBrugada症候群の1例	臨床心臓電気生理	25(5)	315	322 2002

論文(原著、綜説)

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
大野忠明, 本間博, 吉川雅智, 時田祐吉, 宗像亮, 草間芳樹, 岸田浩, 高野照夫, 松崎つや子1) {1)生理機能センター}	ドブダミン負荷心エコー法による冠動脈疾患の診断: 経静脈心筋コントラストエコー法と経胸壁心エコー・ドプラ法による冠血流評価法との併用	心臓	34(特別2号)	4	5 2002
磯田麻理, 木内要1), 子島潤2), 高野照夫 {1)集中治療室, 2)鶴見大学歯学部 内科}	冠動脈疾患患者におけるレプチンおよびインスリン抵抗性の役割: グルコースクランプ法を用いた検討	J Cardiol	40(2)	51	57 2002
山本剛, 笠神康平, 坪宏一, 佐藤直樹, 安武正弘1), 田中啓治 {1)内科第1}	IABPカテーテル抜去時における経皮的血管縫合デバイス (Proster) の有用性に	循環器科	51	463	464 2002
山本剛, 長戸孝道1), 清水秀治1), 古明地弘和1), 大須賀勝1), 里村克章1), 勝田悌実1), 荒牧琢己1), 横山宗伯2), 松本光司2), 内藤善哉2), 浅野ありさ3), 渡辺淳4), 島田隆4) {1)内科学第1, 2)病理学第2, 3)小児科学, 4)生化学第2}	高度胆汁うっ滞を伴った骨髄性プロトポルフィリン症の1例	薬理と治療	30(supp 1.2)	S385	S391 2002
藤田宏子, 竹田晋浩, 池崎弘之1), 四維東州1), 二神生爾1), 小川龍1) {1)麻酔科学}	Still病による多臓器不全に血球貧食症候群を併発した1症例	日本集中治療医学会雑誌	9	415	416 2002
磯田麻理1), 木内要, 子島潤1), 高野照夫1) {1)内科学第1}	冠動脈疾患患者におけるレプチンおよびインスリン抵抗性の役割: グルコースクランプ法を用いた検討	J Cardiol	40(2)	51	57 2002
田島廣之1), 隈崎達夫1), 村田智1), 阿部豊1), 駒田康成1), 中沢賢1), 山本剛, 高山守正2), 田中啓治, 高野照夫2) {1)放射線医学, 2)内科学第1}	急性肺血栓塞栓症に対する新しい治療法の開発と臨床評価	J Nippon Med Sch	69(5)	463	467 2002
大野則彦, 齋藤寛和1), 大坂元久1), 新博次, 高野照夫1) {1)内科第1}	QT間隔の時間的変動と心室性不整脈: vaariability indexと周波数解析による	心電図	22(4)	274	284 2002
藤中祐美子1), 伊藤淳雄1), 村田和也1), 遠藤康実, 新博次, 長澤弘一 {1)薬剤科}	心房細動におけるwarfarin療法の現状	Ther Res	23(5)	895	897 2002
森田典成1), 小林義典1), 館岡克彦1), 谷口宏史1), 阿部純子1), 岩崎雄樹1), 林明聡1), 高山英男1), 松本真1), 大村和子1), 平山悦之1), 加藤貴雄1), 高野照夫, 新博次, 新田隆2) {1)内科第1, 2)外科第2}	IC群抗不整脈薬投与後にT wave alternance が認められたBrugada症候群の1例	臨床心臓電気生理	25(5)	315	322 2002
清宮康嗣, 品田卓郎1), 岡松健太郎, 石橋史行, 掃部弘行, 大場崇芳1), 横山真也1), 富村正登, 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	肺血栓塞栓に伴う重症肺高血圧に対するPGI2製剤の効果	日本冠疾患学会雑誌	8(2)	65	68 2002
掃部弘行, 岡松健太郎, 水野杏一	冠動脈内視鏡にて複数のクレーター状のプラーク崩壊を認めた急性心筋梗塞例	日本冠疾患学会雑誌	8(3)	111	112 2002
犀川哲典1), 新博次, 北島顕2), 久賀圭祐3), 井上博4), 他, 不整脈薬物療法研究会 {1)大分医科大学第一内科, 2)北海道大学医学部循環器内科, 3)筑波大学医学部内科, 4)富山医科薬科大学第二内科}	心筋梗塞と不整脈: 多施設共同調査1,098例での検討	心電図	23(1)	75	89 2003
水野杏一	不安定プラーク診断の最前線	Heart View	2(2)	9	12 2003
水野杏一, 中村治雄1) {1)財団法人三越厚生事業団}	介入試験の企画と実際-CAG東日本Just Study	The Lipid	14(1)	38	44 2003
【綜説】					
小林義典	心不全薬物治療と不整脈 (特集: 心不全と不整脈)	循環器科	52(1)	23	30 2002
清野精彦, 緒方憲一, 説田浩一1) {1)東京都立駒込病院循環器内科}	心筋壊死の新しい生化学診断	治療学	36(4)	67	71 2002
加藤貴雄	塩酸ニフェカラン: nifekalant (シンビット注®)	CARDIAC PRACTICE	13(4)	104	105 2002
清野精彦, 緒方憲一, 福島正人, 高野照夫	急性冠症候群における全血迅速診断法 (特集: ここまでできるベッドサイド検査)	救急・集中治療	14(7)	699	704 2002
高野仁司, 高野照夫	慢性腎不全患者のジギタリス中毒	内科	89(5)	975	978 2002
高山守正	東京都CCUネットワーク23年のあゆみ	IHD	3(1)	86	90 2002
清野精彦, 富田喜文, 福島正人, 緒方憲一, 田中邦夫1) {1)博慈会記念病院循環器}	心筋マーカー測定による急性心筋梗塞早期診断の有用性	IHD	3(1)	47	53 2002
小林義典	心房細動治療におけるカテーテル・アブレーションの役割	Frontier J Nippon Med Sch	69(3)	290	293 2002

論文(原著、綜説)

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
高山守正	経皮的冠動脈インターベンションに関する米国心臓学会 (ACC) / 米国心臓協会 (AHA) ガイドライン: 経皮的冠動脈形成術ガイドライン1993の改訂: 主要要旨 - (特集: 血栓症のガイドライン)	血栓と循環	10(2)	85	94 2002
小林義典	心房細動/心房粗動 (特集: 不整脈)	日本臨牀	60(7)	1373	1381 2002
小林義典	治療が必要な不整脈, 不要な不整脈	medicina	39(7)	1126	1128 2002
志村俊郎1), 寺本明1), 荒牧琢己 {1} 脳神経外科学}	卒前医学教育の新しい流れ	J Nippon Med Sch	69(4)	403	403 2002
清野精彦	1枚の心電図から: 何が考えられるか	日本医事新報	4085	53	56 2002
小林義典	心原性失神の診断 (特集: 失神の診か	Heart View	6(8)	24	30 2002
大須賀勝, 大村和子, 勝田悌実, 荒牧琢己, 高野照夫	集学的治療により救命し得た劇症肝不全の1例	J Nippon Med Sch	69	390	394 2002
清野精彦, 山下照代	生化学検査と診断意義	救急医学	26(10)	1363	1368 2002
森田典成	突然死の予防: Brugada症候群に対する薬物, 非薬物療法	PTM	1(9)		2002
里村克章, 荒牧琢己	III. 消化器疾患 肝硬変症	日本医師会雑誌特別号	128(8)		2002
山本剛, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 横山朱伯1), 松本光司, 内藤善哉1), 浅野ありさ2), 渡辺惇3), 島田隆3) {1} 病理学第2, 2) 小児科学, 3) 生化学第	高度胆汁うっ滞を伴った骨髄性プロトポルフィリン症の1例	薬理と治療	30 s385		391 2002
高野照夫, 山本剛	深部静脈血栓症と肺塞栓症 診断と治療 特に関節リウマチ患者の人工関節置換術との関係について	関節の外科	29(4)	111	116 2002
小原啓子1), 櫛方美文1), 原田英博1), 直塚康史1), 宗像一雄2), 太田眞夫, 高野照夫 {1} 同愛記念病院 内科, 2) 日本医科大学付属第二病院内科}	当院における糖尿病治療について	同愛医学雑誌	22	18	21 2002
櫛方美文1), 小原啓子1), 原田英博1), 直塚康史1), 宗像一雄2), 太田眞夫, 高野照夫 {1} 同愛記念病院内科, 2) 日本医科大学付属第二病院内科}	短報: 当科における糖尿病治療の現状について	同愛医学雑誌	22	22	23 2002
高山守正, 安藤岳史1), 川本雅司2), 中村隆3), 五十嶋一成4), 五十嶋博文5) {1} 日本医科大学学友会山岳部, 2) 日本医科大学病理第1, 3) 中村病院, 4) 自衛隊仙台病院内科, 5) 北アルプス太郎平小屋}	北アルプス中高年登山者における登山中の健康障害イベント発症の予測: 山小屋でのSpO ₂ 測定の意義	登山医学	22	91	100 2002
清野精彦	心血管疾患非薬物療法の現状と展望	進歩する心臓研究	XXII(1)	3	3 2002
高山守正	病態による検査の進め方 (非観血的検査からどこまでわかるか?)	medicina	40(1)	25	28 2003
安武正弘, 高野照夫	急性冠症候群 診断・治療の新しい strategy	心臓	35(2)	83	90 2003
清野精彦, 小川晃生, 山下照代, 福島正人	生化学マーカー (心筋虚血の評価 1)	治療学	37(2)	35	40 2003
小林義典	冠静脈洞の巨大憩室を伴ったWPW症候群の1例	Cardiovascular Med-Surg	5(1)	87	91 2003
岸田浩	急性冠症候群の病態と治療	循環制御	24(1)	27	28 2003
金徹, 田中啓治	肺動脈カテーテル	救急医学	26(10)	1284	1287 2002
高野照夫1), 山本剛 {1} 内科学第1}	深部静脈血栓症と肺塞栓症: 診療と治療: 特に関節リウマチ患者の人工関節置換術との関係について	関節の外科	29	111	116 2002
竹田晋浩, 高野照夫1) {1} 内科学第1}	事故防止のための注射と輸液の知識. 集中治療室 (ICU/CCU) での輸液と注意	臨床看護	28(6)	870	872 2002
田中啓治, 仁科大	ラフサポートとしての補助循環~IABP	救急・集中治療	14(10)	1015	1023 2002
田中啓治	ドパミン	Pharma Medica	20(10)	163	167 2002
新博次	心室頻拍に対するカルシウム拮抗薬の使用可否	日本医事新報	4074	86	87 2002
新博次	不整脈と脳血管障害	東京都医師会雑誌	55(5)	735	743 2002
新博次	治療すべき不整脈	臨床医	28(6)	676	678 2002
新博次	Brugada症候群とは (特集: 不整脈への対応, 専門医に学ぶ治療の実践)	今月の治療 (別冊)	10(7)	806	809 2002

論文(原著、綜説)

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
新博次	新しい抗不整脈薬	医薬ジャーナル	38(7)	1984	1987 2002
新博次	「薬物療法」停止と予防	循環器科	10(7)	564	565 2002
新博次	慢性心房細動	Medicina	39(7)	1166	1167 2002
新博次	発作性心房細動には電氣的除細動?	成人病と生活習慣病	32(7)	865	866 2002
鈴木健, 岸田浩	内科医が使う薬の副作用・相互作用: 循環器薬 硝酸薬(ニトロロールR, アイトロール, ニトロベン, ミオコールスプレー, ニトロダームTTS, ミリスロール)	Medicina	39(11増刊号)	15	19 2002
鈴木健, 岸田浩	内科医が使う薬の副作用・相互作用: 循環器薬 その他の冠拡張薬(シグマート, コロルナール, ベルサンチェ)	Medicina	39(11)	20	23 2002
新博次	Disopyramide の発作性心房細動における臨床効果	心臓	34(11)	858	859 2002
岡松健太郎, 水野杏一	急性冠症候群再灌流療法	救急医学; ERにおける循環器疾患の	26(10)	1353	1363 2002
張静1), 水野杏一 {1}留学生}	高脂血症管理 心疾患	今月の治療	10(11)	52	54 2002
新博次	除細動の薬物療法	CARDIAC PRACTICE	14(1)	51	54 2003
遠藤康実, 新博次	エキスパートに学ぶ治療戦略: 徐脈性不整脈	今月の治療	10(臨時増刊号)	59	62 2003
雪吹周生, 小谷英太郎, 笠神康平, 岸田浩	心筋梗塞(特集 動脈硬化と疾患)	医学と薬学	49(2)	188	199 2003
新博次	心房細動の治療	日本医事新報	4115	106	107 2003
水野杏一	生活習慣病と冠動脈疾患	Progress in Medicine	23(1)	63	67 2003
【研究報告書】					
山口徹1), 石川欽司2), 一色高明, 井野隆史, 上松瀬勝男, 北村惣一郎, 住吉徹哉, 高野照夫, 茅野眞男, 野々木宏, 延吉正清, 平山治雄, 堀江俊伸, 幕内晴朗, 光藤和明, 本宮武司 {1}虎の門病院, 2)近畿大荒牧琢己	急性冠症候群の診療に関するガイドライン	J Cardiol	41(Appendix)	149	159 2003
	肝硬変における静脈瘤に対する薬物療法の研究	特殊疾病(難病)に関する研究報告書		29	30 2003
齋藤宗靖1), 谷口興一2), 神原啓文, 片桐敬, 後藤葉一, 野原隆司, 伊東春樹, 前原和平, 上嶋健治, 中谷武嗣, 川久保清, 岸田浩, 武者春樹, 長嶋正実, 山田純生 {1}自治医科大学大宮医療センター循環器科, 2)群馬県立心臓血管センター}	心疾患における運動療法に関するガイドライン	Circulation Journal	66(Suppl)	1177	1247 2002
【1996年度追加分原著】					
Sato S1), Adachi A1), Satomura K {1}Central Institute for Electron Microscopic Researches}	The Ultrastructure of Spiralled Collagen in Liver Fibrosis	Med. Electron Microsc	29(3-4)	153	158 1996
【1997年度追加分綜説】					
大須賀勝, 荒牧琢己	門脈圧亢進症・食道静脈瘤	治療 (増刊号)		639	641 1998
【2000年度追加分原著】					
Satomura K, Yin M1), Sekiyama T, Fujisaki S, Aramaki T, Okumura H2), Ohmoto Y3) {1}Department of Infectious Diseases, Yan bian Medical School, China, 2)Professor Emeritus of Nippon Medical School, 3)First Institute of New Drug Research, Otsuka Pharmaceutical Co.	Effects of SSM(Specific Substance Maruyama)on HBe Antigen-Positive Chronic Hepatitis B	日医大誌	67(4)	261	266 2000
Sato S1), Adachi A1), Wakamatsu K2), Sasaki Y1), Satomura K, Asano G1) {1}Central Institute for Electron Microscopic Research, 2)First	Abnormal elastic system fibers in fibrotic human liver	Med Electron Microsc	33(3)	135	142 2000
【2001年度追加分原著】					

論文(原著、綜説)

著者名	論文名	雑誌名	巻号	ページ	年
Maruyama M, Tadera T, Miyamoto S, Ino T	Demonstration of the Reentrant Circuit of Verapamil-Sensitive Idiopathic Left Ventricular Tachycardia: Direct Evidence for Macroreentry as the Underlying	J Cardiovasc Electrophysiol	12(8)	968-972	2001

著 書

著 者	論 文 名	図 書 名	出 版 社	年 ページ
Tomita Y, Kishida H	〔分担〕 Acidic FGF in Left Ventricular Idiopathic	Fibroblast Groeth Factor in the Cardiovascular System (P.Cuevas)	Holzapfel Publishers,Munche n	2002 261-72
勝田悌実, 大須 賀勝, 荒牧琢己	〔分担〕 III 肝硬変 3 合併症 食道静脈瘤	図説消化器病シリーズ 10 ウィルス肝炎, 肝硬変 (三田 村圭二)	メジカルビュー社	2001 179-89
安武正弘	〔分担〕 急性期パラメー ターによるリスク評価 (第 3章 心筋梗塞 (急性期))	新しい診断と治療のABC4/循 環器1 心筋梗塞 (高野照夫)	最新医学社	2002 114-21
清野精彦	〔分担〕 病態・重症度に応 じた治療選択	実地診療に則した心不全診 断・治療マニュアル (高野照 夫, 清野精彦)	医薬ジャーナル社	2002 53-66
高山守正	〔分担〕 4.弁膜症における 心不全 (II. 病因別の心不 全治療)	実地診療に則した心不全診 断・治療マニュアル (高野照 夫, 清野精彦)	医薬ジャーナル社	2002 128-37
安武正弘, 石井 健輔	〔分担〕 血管拡張薬 (III. 薬物療法)	実地診療に則した心不全診 断・治療マニュアル (高野照 夫, 清野精彦)	医薬ジャーナル社	2002 219-24
草間芳樹	〔分担〕 カテコラミンによ る治療 (III. 薬物治療)	実地診療に則した心不全治 療・治療マニュアル (高野照 夫, 清野精彦)	医薬ジャーナル社	2002 225-8
子島潤, 宮武佳 子	〔分担〕 心房性ナトリウム 利尿ペプチド	実地診療に則した心不全治 療・治療マニュアル (高野照 夫, 清野精彦)	医薬ジャーナル社	2002 242-8
高橋直人1), 宗 像一雄 {1}第二 病院内科}	〔分担〕 ジギリタス	実地診療に則した心不全治 療・治療マニュアル (高野照 夫, 清野精彦)	医薬ジャーナル社	2002 212-8
高野照夫	〔分担〕 虚血性心疾患	新臨床内科学 (高久史磨, 尾 形悦郎, 黒川 清, 矢崎義 雄)	医学書院	2002 485-7
高野照夫	〔分担〕 ショック	新臨床内科学 (高久史磨, 尾 形悦郎, 黒川 清, 矢崎義 雄)	医学書院	2002 506-9
高野照夫	〔分担〕 ショック	内科学書 (島田 馨)	中山書店	2002 1222-7
勝田悌実, 荒牧 琢己	〔分担〕 門脈圧亢進性胃症	今日の消化器疾患治療指針 (多賀須幸男, 三田村圭二, 幕内雅敏)	医学書院	2002 355-7
荒牧琢己	〔分担〕 肝肺症候群 (HPS)診断のコツ-肝硬 変では手のひら (掌) だけ でなく指も診よ	肝疾患診療のコツと落とし穴 (井廻道夫)	中山書店	2002 96-97
荒牧琢己	〔分担〕 食道静脈瘤出血予 防に対する薬物療法	肝疾患診療のコツと落とし穴 (井廻道夫)	中山書店	2002 182-3
大須賀勝, 荒牧 琢己	〔分担〕 肝血行異常	内科学書 改訂第6版 (島田 馨)	中山書店	2002 1903- 10
加藤貴雄	〔分担〕 徐脈性不整脈	今日の診断指針 (第5版) (亀 山正邦, 高久史磨)	医学書院	2002 302-3
村瀬恒男1), 酒 井行直1), 清野 精彦 {1}第二病 院内科}	〔分担〕 心不全	腎疾患治療薬マニュアル2002 -2003 (二瓶 宏)	東京医学社	2002 452-7
木内要, 高野照 夫	〔分担〕 心原性ショック	急性心筋梗塞の呼吸 循環管 理	メディカ出版	2002 139-45
磯田麻里, 木内 要, 高野照夫	〔分担〕 高齢者の急性心不 全: 病態と治療の進歩	循環器New Trends シリーズ4 高齢社会と循環器治療 (土居 義典)	メジカルビュー社	2003 140-51
加藤貴雄	〔分担〕 心室頻拍	抗不整脈薬のすべて (小川 聡, 大江 透, 井上 博)	先端医学社	2003 173-83
高野照夫, 木内 要	〔分担〕 ショック (3.治療 薬)	内科学第八版 (杉本恒明, 小 俣政男, 水野美邦)	朝倉書店	2003 312-5
佐藤直樹, 高野 照夫	〔分担〕 カテコラミン薬	治療薬ガイド2003~2004 (和 田 攻, 大久保昭行, 矢崎義 雄, 大内尉義)	文光堂	2003 155-61
岸田浩	〔分担〕 心・血管外傷 (5. 循環器系の疾患)	内科学 (杉本恒明, 小俣政 男, 水野美邦)	朝倉書店	2003 720-2

著 書

著 者	論 文 名	図 書 名	出 版 社	年	ページ
加藤貴雄	〔分担〕QRS終末部に注意！：イブシロン波を見逃さない	心電図検査のコツと落とし穴（小川 聡）	中山書店	2003	24-5
加藤貴雄	〔分担〕洞房ブロックにもWenckebach周期がある	心電図検査のコツと落とし穴（小川 聡）	中山書店	2003	98-9
加藤貴雄	〔分担〕緩徐解離型Na ⁺ チャンネル遮断薬の臨床的特徴と適応	緩徐解離型Na ⁺ チャンネル遮断薬の実態（平岡昌和，山下武志，中谷晴昭，有田 眞）	ライフメディコム	2003	19-32
岸田浩	〔分担〕無痛性虚血性心疾患の心電図診断	虚血性心疾患診療のコツと落とし穴（上松瀬勝男）	中山書店	2003	173
岸田浩	〔分担〕無痛性虚血性心疾患の薬物療法	虚血性心疾患診療のコツと落とし穴（上松瀬勝男）	中山書店	2003	186
雪吹周生1), 岸田浩 (1)多摩永山病院内科}	〔分担〕昇圧薬	治療薬ガイド2003～2004（和田 攻，大久保昭行，矢崎義雄，大内尉義）	文光堂	2003	275-81
高橋直人，宗像一雄	〔分担〕III.薬物療法「ジギタリス」	心不全診断・治療マニュアル	医薬ジャーナル社	2002	212-6
新博次	〔分担〕日・欧米新ガイドラインによる薬物治療	難治性不整脈の治療戦略（小川 聡）	メジカルビュー社	2002	10-9
新博次	〔編集〕抗不整脈薬の新たな展開（新 博次）	抗不整脈薬の新たな展開（新博次）	医薬ジャーナル社	2003	
新博次	〔分担〕異方性伝導	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕上室性補充収縮	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕心室内興奮到達時間	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕心室非同期性	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕心室補足	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕頻度依存性ブロック	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕頻拍誘発帯	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕保護ブロック	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕融合収縮	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕ラウン分類	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕両方向頻拍	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕両方向ブロック	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
雪吹周生，岸田浩	〔分担〕昇圧薬	治療薬ガイド2003～2004（和田 攻，大久保昭行，矢崎義雄，大内尉義）	文光堂	2003	275-81
新博次	〔分担〕アダムス__ストークス症候群	医学書院 医学大事典	医学書院	2003	
新博次	〔分担〕妊婦の不整脈と抗不整脈薬	抗不整脈のすべて 第2版（小川聡，大江透，井上博）	先端医学社	2003	292-8
新博次	〔分担〕Brugada症候群：ハイリスク例の診断	心電図検査のコツと落とし穴（小川 聡）	中山書店	2003	130-1
掃部弘行，水野杏一	〔分担〕心筋梗塞の概念・定義	新しい診断と治療のABC4 循環器1 心筋梗塞（高野照夫）	最新医学社		9-18
高野雅充，水野杏一	〔分担〕冠動脈内視鏡から学ぶこと	Coronary Intervention（光藤和明）	株式会社メジカルセンス		28-32
掃部弘行，水野杏一	〔分担〕血管内視鏡法	心血管イメージング 新世代の診断法（玉木長良）	メディカルビュー		22-9
水野杏一	〔分担〕血管内視鏡検査	わかりやすい動脈硬化（寺元民生・桑島 巖）	ライフサイエンス出版		65-9
水野杏一	〔分担〕血管内視鏡	内科学書2（島田 馨・朝倉均）	中山書店		1197-8

著 書

著 者	論 文 名	図 書 名	出 版 社	年 ページ
水野杏一	〔分担〕 NMRスペクトロスコピー	内科学書2 (島田 馨・朝倉 均)	中山書店	1198
山口徹, 石川欽司, 一色高明, 井野隆史, 上松瀬勝男, 北村惣一郎, 住吉徹哉, 高野照夫, 他, 水野杏一	〔分担〕 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2000-2001年度合同研究班報告) 急性冠症候群の診療に関するガイドライン	Circ J	社団法人日本循環器学会	1123-63
水野杏一	〔分担〕 血栓溶解療法	Beyond Angiography冠循環への新しいアプローチ (山口 徹・齊藤 穎)	南江堂	152-3
水野杏一	〔分担〕 生活習慣病と冠動脈疾患	Progress in Medicine	ライフサイエンス	63-67
張静1), 水野杏一 {1}留学生}	〔分担〕 4S Scandinavian Simvastatin Survival Study	NAVIGATOR 高脂血症ナビゲーター (山田信博・石橋 俊・代田浩之)	メディカルビュー社	196-7
水野杏一	〔分担〕 血管冠病変の検査: 血管内視鏡	虚血性心疾患診療のコツと落とし穴 (上松瀬勝男)	中山書店	8-9
水野杏一	〔分担〕 不安定狭心症の抗凝血療法	虚血性心疾患診療のコツと落とし穴 (上松瀬勝男)	中山書店	50-1
水野杏一	〔分担〕 異型狭心症の薬物療法	狭心症の治療(安定, 不安定を含む) 50 (上松瀬勝男)	中山書店	52-3
田中啓治, 坪宏一	〔分担〕 心不全患者のモニタリング	実地診療に則した心不全診断・治療マニュアル (高野照夫, 清野精彦 編)	医薬ジャーナル社	45-52
田中啓治, 坪宏一	〔分担〕 非薬物療法の手順	実地診療に則した心不全診断・治療マニュアル (高野照夫, 清野精彦 編)	医薬ジャーナル社	90-8
佐藤直樹	〔分担〕 強心薬による治療	実地診療に則した心不全診断・治療マニュアル (高野照夫, 清野精彦 編)	医薬ジャーナル社	229-36
畑典武	〔分担〕 慢性虚血性心疾患における心不全	実地診療に則した心不全診断・治療マニュアル (高野照夫・清野精彦編)	医薬ジャーナル社	115-9

2001年度追加著書

著 者	論 文 名	図 書 名	出 版 社	年 ページ
Vatner SF, Tkagi G, Asai K, Shannon RP (University of Medicine & Dentistry of New Jersey)	〔分担〕 Cardiovascular physiology in mice: conscious function measurements and effects of anesthesia	Cardiovascular physiology in the genetically engineered mouse (BD Hoit and RA Walsh, eds)	Kluwer Academic Publishers	2001 257-76

学会発表

演 者 名	演 題 名	学会名	年 月
【教育セッション】			
新博次	Brugada症候群の臨床的特徴とその問題点	第17回日本心臓ベ ーシング・電気生理学 学会	2002 5
高山守正	エタノールによる中隔アブレーション（肥 大型心筋症の診療に関するガイドライン）	第67回日本循環器学 会学術集会	2003 3
【シンポジウム】			
稲見茂信, 高野雅充, 石橋史行, 岡松健太 郎, 清宮康嗣, 大場崇芳, 横山真也, 今泉 孝敬, 畑典武, 水野杏一	冠動脈内視鏡所見とステント再狭窄	第8回日本血管内治療 学会	2002 7
加藤貴雄	緩徐解離型Na ⁺ チャネル遮断薬の臨床的特 徴と適応: プロパフェノン（緩徐解離型Na ⁺ チャネル遮断薬の不整脈治療における新し い展開: いわゆる“IC”薬を中心に）	第19回日本心電学会 学術集会	2002 9
高山守正, 高野照夫	CCU・救命センター設置方式による急性心 筋梗塞初期治療成績の違い	第30回日本救急医学 会学術集会	2002 10
岡松健太郎, 稲見茂信, 石橋史行, 高野雅 充, 清宮康嗣, 掃部弘行, 横山真也, 大場 崇芳, 高木元, 酒井俊太, 今泉孝敬, 畑典 武, 水野杏一	血管内視鏡と血管内エコーを用いたブラー ク破綻の内的要因と外的要因の評価	第16回日本心臓血管 内視鏡学会総会	2002 10
酒井俊太, 清宮康嗣, 高野雅充, 稲見茂 信, 石橋史行, 岡松健太郎, 掃部弘行, 高 木元, 水野杏一	エバンスブルー染色血管内視鏡: 冠動脈性 狭心症における検討	第16回日本心臓血管 内視鏡学会総会	2002 10
水野正之2), 横山真也1), 高野雅充, 石橋 史行, 酒井俊太, 水野杏一 (1)千葉北総病 院集中治療室, 2)同中央画像検査室}	ACSにおけるIVUS plaque像解析とSTENT 再狭窄	第21回日本心臓血管イ ンターベンション学科	2002 10
Tanaka K, Sato Naoki, Yasutake M	The role of prophylactic intraaortic balloon pumping (IABP) during percutaneous coronary intervention (PCI) in acute coronary syndrome	The 6th Annual Scientific Meeting of the Japanense Heart Failure Society (Tokyo)	2002 10
佐藤直樹, 高野照夫	急性心不全における神経体液性因子および サイトカイン測定の意義	第39回日本臨床生理 学会総会	2002 11
高野照夫	急性心不全の最新治療方針（心不全治療の 最前線: 心不全の治療）	第122回日本医学会シ ンポジウム	2002 12
田中啓治	日本医大CCUの30年の変遷と、これから目 指すべき未来像（シンポジウム）	第30回日本集中治療 医学会総会	2003 2
Takagi G, Takagi I, Kim Song-J1), Kudej RK1), Yang Gui-P1), Karoor VL1), Vatner DE1), Vatner SF1) (1)Department of Cell Biology and Molecular Medicine, University of Medicine and Dentistry of New Jersey }	iNOS regulates diastolic dysfunction in the development of heart failure (Diagnosis and treatment of diastolic heart failure -from bench to bedside-)	第67回日本循環器学 会学術集会	2003 3
【パネルディスカッション】			
山本剛1), 高木啓倫1), 亀山幹彦1), 林明聡 1), 坪宏一1), 藤田進彦1), 笠神康平1), 佐 藤直樹1), 田中啓治1), 中込明裕, 安武正 弘, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫 (1)集 中治療室)	トロポニンを用いた心筋梗塞再定義の妥当 性について（心筋梗塞を見逃さないため に: 早期診断から病態に応じた治療選択）	第22回心筋梗塞研究 会	2002 7
大須賀勝, 勝田梯実, 荒牧琢己	Non-alcoholic steatohepatitis (NASH)の臨 床病理学的特徴（わが国におけるNASH の実態）	第6回日本肝臓学会大 会	2002 10
岡松健太郎, 稲見茂信, 石橋史行, 清宮康 嗣, 掃部弘行, 高木元, 酒井俊太, 畑典 武, 水野杏一	Therapeutic interventions based on angioscopic findings	第16日本冠疾患学会 総会	2002 12
【プレナリーセッション】			
加藤貴雄	不整脈（心疾患診療の新しい展開）	第37回日本成人病学 会	2003 1

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
【ワークショップ】			
宮本正章, 太田眞夫, 安武正弘, 平山悦之, 高野仁司, 及川恵子, 吉村滋弘1), 田中常雄1), 遠山敏弘2), Mullen Y3), Brendle M4), 高野照夫 {1)大陽東洋酸素技術開発部, 2)日本製薬研究開発本部大阪研究所, 3)UCLA Diabetes Research Center, 4)Giessen University内科第三}	わが国における臍島細胞移植と臍島凍結保存法の確立 (細胞組織移植と長期保存)	第23回日本炎症・再生医学学会	2002 7
新博次	心房細動薬物治療の新展開: 心房細動の病態と治療	第39回日本臨床生理学会	2002 11
山本剛	肺血栓塞栓症	第43回日本脈管学会総会	2002 11
【セミナー】			
畑典武	集中治療室における急性心不全の最新治療戦略	第10回日本集中治療医学会東海北陸地方会	2002 6
佐藤直樹	PDE	冠インターベンション学会	2002 7
【公開講座】			
加藤貴雄	心電図波形の読み方とその異常: QRS異常とその意義 (心電図の見方)	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
【トピックス】			
Atarashi H	Natural History and Pronosis of Brugada Syndrome	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
【徹底討論】			
山本剛1), 坪宏一1), 藤田進彦1), 小野寺英貴1), 金徹1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 高野照夫, 田島廣之2), 隈崎達夫2) {1)集中治療室, 2)放射線医学}	第一選択はカテーテル血管内治療である (重症急性肺塞栓症に対する治療戦略: 外科手術か, カテーテル血管内治療か)	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
【海外留学者講演】			
小谷英太郎, Bolli R1), XuanYu-T1) {1)Division of Cardiology, University of Louisville, }	Pharmacological preconditioning in conscious rabbits	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
高木元	重症心不全におけるiNOSの心収縮能への作用	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
星野公彦	中等度低体温の心筋細胞におけるNa ⁺ /H ⁺ 交換系活性とそのcaripolideによる抑制に及ぼす影響	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
【Featured Research Session】			
Hayashi M1), Kameyama M1), Satoh N1), Tanaka K1), Kobayashi Y, Ueno A, Tateoka K, Taniguchi H, Abe J, Yodogawa K, Hirasawa Y, Morita N, Iwasaki Y, Takayama H, Miyauchi Y, Ohmura K, Hirayama Y, Katoh T, Takano T {1)Coronary Care Unit}	Ventricular tachycardia arising from left posterior purkinje fibers after myocardial infarction - A proposed mechanism of post-infarction ventricular arrhythmias-	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Mizuno K	Predictors of progression of coronary atherosclerosis-Japanese utelization of Simvastatin therapy (JUST STUDY)	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Nakagomi A, Aoki S, Yamane Y, Iname S, Yoshikawa M, Ogawa T, Takano H, Kusama Y, Takayama M, Takano T, Geczy C1) {1)School of Pathology, The University of New South Wales, Sydney, Australia}	C-creative protein synergizes with interferon-γ to upregulate monocyte tissue factor and factor VII	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Oikawa K, Fukuma N, Kanazawa H, Miura K, Kimura Y, Mabuchi K, Kusama Y, Munakata K, Takano T	Attenuated heart rate response to exercise correlates with severity of heart failure	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Iwasaki Y, Yamashita T1), Sekiguchi A1), Hayami N1), Hatano S1), Sagara Ko-ichi1), Iinuma H1), Aizawa T1), Fu L1), Kobayashi Y, kato T, Takano T (1)The Cardiovascular Institute)	Transcriptional profiling of ion channels in rat pulmonary veins	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Asai K, Takagi G, Kamiya M, Tokuyama K, Yamamoto E, Munakata R, Satoh N, Takano T	Gender and aging difference in baroreflex sensitivity in healthy monkeys	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Seino Y, Kumita S1), Fukushima M, Fukumoto H, Nakagomi A, Takano T (1)Department of Radiology)	Ongoing myocardial damage in non-ischemic cardiomyopathy is related to mitochondrial dysfunction evaluated by	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Aoki S, Nakagomi A, Kobayashi Y, Kamiya M, Munakata R, Suzuki Y, Kawashima S, Yamane Y, Takano H, Asai K, Yasutake M, Kusama Y, Takayama M, Takano T	Increased peripheral blood mononuclear cells is an important determinant of left ventricular remodeling in patients with acute myocardial infarction	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
[Roundtable Discussion]			
Takayama M, Yasutake M, Tanaka K, Takano T	Catheter intervention, especially role of Direct PTCA (Reperfusion therapy for acute myocardial infarction)	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Mizuno K	Low dose simvastatin retards the progression of coronary atherosclerosis: Japanese Utilization of Simvastatin Therapy(JUST Study)	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
[Meet the Expert]			
Takano T	Acute myocardial infarction: The gist of early treatment	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
[Morning Lecture]			
Mizuno K	Intravascular Ultrasound: How We Could Utilize It in the Treatment of Coronary Artery Disease	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
[一般講演]			
Takayoshi I1), Hoshino K1), Ohara T1), Yokoyama S1), Shinada T1), Mizuno K, Matsumori A2) (1)Hokusho Emergency, 2)京都大学大学院循環器学)	Clinical Significance of Hepatocyte Growth Factor in Acute Coronary Syndrome	1st.Asian Pacific Scientific Forum/AHA (Honolulu)	2002 4
Hata N, Imaizumi T, Hoshino K, Ohara T, Ohba T, Yokoyama S, Shinada T	Clinical Significance of Pleural Effusion in Acute Aortic Dissection	1st Asian Pacific Scientific Forum/AHA (Honolulu)	2002 4
Asai K1), Kishida H1), Takagi G2), Vatner DE2), Vatner SF2), Takano T (1)Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital, 2)The Cardiovascular Research Institute, University of Medicine and Dentistry of New Jersey)	Paradoxically enhanced endothelin-B receptor mediated vasoconstriction and vascular endothelial apoptosis in conscious old monkeys	XIIth International Vascular Biology Meeting (Karuzawa, Japan)	2002 5
Wang M1), Takagi G1), Asai K1), Vatner Dorothy E2), Natividad Filipinas F1), Lakatta Edward G1) (1)不明, 2)UMDNJ, New Jersey Medical School)	Altered Matrix Metalloprotease-2 Regulation and Tissue Angiotensin and Age-Associated Aortic Remodeling In Non-Human Primates	3rd Annual Conference on Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology	2002 5
Ohsuga M, Zhang XJ, Akimoto T, Nagato T, Katsuta Y, Aramaki T	Acute NOS inhibition does not ameliorate splanchnic hyperemia in far advanced cirrhotic rats (CBDL 8 weeks)	European Association for the Study of the Liver, Monothematic Conference on Vascular Function in Liver Disease(London)	2002 6

学会発表

演 者 名	演 題 名	学会名	年 月
Kato K, Yasutake M, Jia D, Kusama Y, Takano T	Nicorandil limits myocardial infarct size even when given during reperfusion only in rat low-flow ischaemia model	22nd European Section Meeting of the International Society for Heart Research (Szeged, Hungary)	2002 7
Ishii K, Yasutake M, Kato K, Jia D, Kusama Y, Takano T	JTV-519, a new cardioprotective drug, and cariporide, synergistically improved post-ischaemic contractile recovery in the rat	22nd European Section Meeting of the International Society for Heart Research (Szeged, Hungary)	2002 7
Yamane Y, Nakagomi A, Aoki S, Kusama Y, Takayama M, Takano T	A novel extent score is useful for predicting adverse outcomes in patients with acute myocardial infarction underwent percutaneous coronary intervention	14th World Congress of Cardiology (Sydney, Australia)	2002 8
Zhang XL, Katsuta Y, Akimoto T, Ohsuga M, Nagato T, Shimizu S, Komeichi H, Satomura K, Aramaki T	Intrapulmonary vasodilation and hypoxemia in chronic bile duct ligation rat	Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Meeting 2002 (Taipei, Taiwan)	2002 9
Nagato T, Katsuta Y, Zhang XJ, Akimoto T, Ohsuga M, Shimizu S, Komeichi H, Satomura K, Aramaki T	Abnormalities of hemodynamic and gas exchange in rats with far advanced cirrhosis (CBDL 8 week)	Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Meeting 2002 (Taipei, Taiwan)	2002 9
Yoshida H, Takayama M, Tamura K, Hosokawa Y, Hosone M, Miyamoto S, Ibuki C, Takano T	Histopathological findings of alcohol septal myocardial ablation in patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy who dies in chronic stage: post-modern study	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics 2002 (Washington DC, USA)	2002 9
Takayama M, Yoshikawa M, Munakata R, Yamamoto E, Murakami D, Kobayashi Y, Hosokawa Y, Zreiqat J, Yamane Y, Aoki S, Takano H, Nakagomi A, Kusama Y, Takano T	Limitation of temporary balloon occlusion to predict reduction of pressure gradient after ethanol ablation in percutaneous catheter treatment for symptomatic hypertrophic obstructive cardiomyopathy	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics 2002 (Washington DC, USA)	2002 9
Takagi G, Kim Song-J2), Kudeji Raymond K2), Yang Gui-P2), Takagi I1), Gaussin V2), Karoor Vijaya L2), Vatner Dorothy E3), Vatner Stephen F3) {1)1st Dept. of Medicine, Nippon Medical School, 2)不明, 3)UMDNJ, New Jersey Medical School}	Regulation of Contractile Function by iNOS in Hypertrophied Failing Myocytes	International Symposium on Cardio Vascular Remodeling and Function (大阪)	2002 10
Hayashi M	Which is the optimal ablative procedure in selective slow pathway ablation? From the result of a randomized comparison of the straight linear approach with electrogram mapping focal approach	5th Taipei-Tokyo Joint Conference of Cardiac Arrhythmias (Kaohsiung, Taiwan)	2002 10
Takano H, Kodani E, Hill M1), Tang XL1), Bolli R1) {1)Department of Cardiology, University of Louisville}	Myocardial protection of late preconditioning - its mechanisms and therapeutic applications -	International Society for Heart Research the 19th Annual Meeting of the Japanese Section	2002 10
Takagi G, Okumura S1), Kawabe J1), Hong C1), Yang G1), Meguro T1), Takagi I3), Yatani A1), Gaussin V1), Vatner Dorothy E1), Sadoshima J1), Homcy Charles J2), Ishikawa Y1), Vector Stephen F1) {1)UMDNJ-New Jersey Medical School, 2)Millennium Boston, 3)The 1st Dept. of Medicine Nippon Medical School}	Adenylyl Cyclase Type 5 Disruption Preserves Cardiac Function in Response to Pressure Overload	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Okumura S1), Kawabe J1), Takagi G, Lee Ming-C1), Hong C1), Liu J1), Honda R1), Takagi I3), Yatani A1), Vatner Dorothy E1), Homcy Charles J2), Vatner Stephen F1), Ishikawa Y1) {1)UMDNJ-New Jersey Medical School, 2)Millennium Pharmaceuticals Inc., 3)The 1st Dept.of Medicine Nippon Medical School}	8-Adrenergic, Muscarinic and Calcium-Mediated Regulation of the Heart: Effects of Target Disruption of Type 5 Adenylyl Cyclase Gene	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Yatani A1), Takagi G, Honda R1), Kim Song-J1), Xiang G1), Vatner Dorothy E1), Vatner S1) {1)UMDNJ-New Jersey Medical School}	Downregulation of L-Type Ca ²⁺ -Channels as Protective Mechanism for the Denervated Failing Heart	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Depre C1), Tomlinson James E2), Takagi G, Anna Z1), Wang L1), Thompson E1), Toper James N2), Gausein V1) {1)UMDNJ-New Jersey Medical School, 2)Millennium Pharmaceuticals Inc.}	Novel Pattern of Pro-Apoptotic Genes Expression during the Transition from Hypertrophy to Failure in Dogs with Chronic Pressure Overload	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Zhang Q1), Li J1), Yatani A1), Hong C1), Diaz G1), Kim Young K1), Takagi G, Vatner Dorothy E1), Kim Song J1) {1)UMDNJ, New Jersey Medical School}	Calcineurin Activity Regulates Cardiac Contractile Function in Rats in the Absence of Hepertrophy	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Fujita M1), Mizuno K, Ho M2), Kunihiisa M3) {1)Kyoto Univ. College of Medicine, 2)Kawasaki Social Insurance Hospital, 3)Kansai Electrip Power Hospital}	"Sarpogrelate an Antagonist of 5-HT _{2A} Receptor	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
MacNeill Briain D1), A Shaw J1), Yabushita H1), DeJoseph D1), Jayfnab C1), Tearney Guillermo J1), Bouma Brett E1), Dart Anthony M2), Kyoichi M, Jang IK-K1) {1)MA Gen Hospital, 2)Baker Medical Research Institute}	Lipid Rich Plaques Display Greater Vessel Distensibility than Fibrous Plaques:A Combined Optical Coherence Tomography and Intravascular Ultrasound Study	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Ishibashi F, Mizuno K, Takano M, Kamon H, Seimiya K, Uemura R1), OkamatsuI K, Inami S, Ohoba T2), Yokoyama S2) {1)Tohsei National Hospital, 2)Hokusoh Emergency}	C-Reactive Protein Levels Correlate with Coronary Plaque Vulnerability	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Ishibashi F, Mizuno K, Takano M, Uemura R1), Sakai S, Seimiya K, Kamon H, Okamatsu K, Inami S {1)Tosei National Hospital}	Angioscopic Coronary Yellow Plaques Can Predict the Future Adverse Clinical Events in Patients with Ischemic Heart Disease	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Takahashi H, Seino Y, Fukumoto H	AAV Vector-Mediated Muscle Directed Gene Therapy Results in Long-Term Enzymatic and Functional Correction in Reno-Vascular System of Fabry Mouse	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Takahashi H, Seino Y, Fukumoto H	AAV Vector-Mediated Muscle Directed Gene Therapy Results in Long-Term Enzymatic and Functional Correction in Cardiovascular System of Fabry Mouse	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Setsuta K1), Fujiwara T1), Arao M1), Imai T1), Seino Y {1)Tokyo Metropolitan Komagome Hospital}	Ongoing Myocardial Damage in Patients with Hypertensive Left Ventricular Hypertrophy without Systolic Dysfunction	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Seino Y, Fukushima M, Fukumoto H, Wu X	Plasma Concentration of N-Terminal Pro-BNP versus BNP in Patients with Chronic Heart Failure: More Discerning Marker for the Progression	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Nakagomi A, Yamamoto E, Yamane Y, Takano H, Aoki S, Asai K, Fujioka M, Kusama Y, Takayama M, Takno T	Reduction of Cardiac Events by HMG-CoA Reductase Inhibitors is Associated with Decreased Atherosclerotic Plaque Burden in Patients with Acute Myocardial	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Hayashi M, Kobayashi Y, Morita N, Iwasaki Y, Miyauchi Y, Ohmura K, Satoh N, Hirayama Y, Tanaka K, Katoh T, Takano T	A Novel Mechanism of Post-Infarction Ventricular Tachycardia Originating in Left Posterior Purkinje Fibers	American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Yan L1), Li H1), Ge H1), Takagi G, Lieber S1), Asai K1), Natividad Filipinas F1), Vatner Stephen F2), Vatner Dorothy E2) {1)不明, 2)UMDNJ, New Jersey Medical School}	A Proteomic Mechanism to Explain Gender Differences in β -Adrenergic Receptor Desensitization in Aging Monkeys	American Heart Association 75th Scientific Sessions (Chicago)	2002 11
Hayashi M, Kobayashi Y1), Morita N1), Iwasaki Y1), Miyauchi Y1), Ohmura K1), Satoh N, Hirayama Y1), Tanaka K, Katoh T1), Takano T1) {1)First Department of Internal Medicine}	A novel mechanism of post-infarction ventricular tachycardia originating in left posterior Purkinje fibers	75th American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Wang Y, Kodani E, Wang J, Tang X-L (Division of Cardiology, University of Louisville)	Cardioprotection during the final part (72H) of the late phase of ischemic preconditioning is mediated by neuronal no synthase in concert with cyclooxygenase-2	75th American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Tang X-L, Takano H, Xuan Y-T, Kodani E, Zhu Y, Wu W-J, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	Hypercholesterolemia abrogates late preconditioning via a tetrahydrobiopterin (BH4)-Dependent mechanism in conscious rabbits	75th American Heart Association Scientific Sessions 2002 (Chicago, USA)	2002 11
Sano J, Ogawa T, Inami S, Ishibashi F, Okamatsu K, Kamon H, Seimiya K, Takagi G, Sakai S, Nomura A, Mizuno K	Effect of Green Tea Intake on the Development of Coronary Artery Disease	American College of Cardiology 52nd Annual Scientific Session (Chicago)	2003 3
Inami S, Ogawa T, Ishibashi F, Okamatsu K, Kamon H, Seimiya K, Takano M, Ohba T1), Yokoyama S1), Uemura R2), Nomura A, Sakai S, Sano J, Mizuno K {1)Hokusho Emergency, 2)Tohsei National Hospital}	Are Multiple Plaque Disruptions More Common in Patients With Acute Coronary Syndrome Than in Patients With Stable Ischemic Heart Disease?	American College of Cardiology 52nd Annual Scientific Session (Chicago)	2003 3
Uemura R, Yamamoto E, Tokita Y, Kanazawa H, Tanabe J, Takayama H, Yokoyama H, Ohaki Y, Mizuno K (Division of Cardiology, Tohsei National Hospital)	Impact of plaque composition on arterial remodeling: comparison between atherectomy tissue and intravascular ultrasound	American College of Cardiology 52nd Annual Scientific Session (Chicago)	2003 3
Miyamoto M	Therapeutic angiogenesis for patients	The Cell Transplant	2003 3
Uemura R1), Ishibashi F, Okamatsu K, Kamon H, Seimiya K, Takano M, Tomimura M, Nomura A, Sano J, Mizuno K {1)Tohsei National Hospital}	Compared with Intravascular ultrasound findings histological analysis in coronary plaque	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Abe J, Kobayashi Y, Ueno A, Tateoka K, Yodogawa K, Morita N, Iwasaki Y, Hayashi M, Takayama H, Matsumoto S, Ohmura K, Ohara K, Hirayama Y, Katoh T, Takano T	Morphological characteristics of signal-averaged P wave in patients with focal atrial fibrillation	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Aoki S, Nakagomi A, Yamane Y, Inami S, Yoshikawa M, Fujita N, Takano T, Fujioka M, Kusama Y, Takayama M, Takano T	Increased coronary atherosclerotic plaque burden is an important determinant of adverse outcomes in diabetic patients after percutaneous coronary intervention	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Fukushima M, Seino Y, Takano T, Kumita S1), Cho K1), Nakajyo H1), Kumazaki T1), Tanaka K2) {1)Department of Radiology, 2)Coronary Care Unit}	Myocardial perfusion/metabolism abnormalities and therapeutic effects at the site of minor myocardial damage in patients with redefined myocardial infarction	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4

学会発表

演 者 名	演 題 名	学会名	年 月
Hayashi M, Kameyama M, Satoh N, Tanaka K, Kobayashi Y1, Ueno A1), Tateoka K1), Taniguchi H, Abe J1), Yodogawa K1), Hirasawa Y1), Morita N1), Iwasaki Y1), Takayama H1), Miyauchi Y1), Ohmura K1), Hirayama Y1), Katoh T1), Takano T1) {1)First Department of Internal Medicine}	Ventricular tachycardia arising from left posterior purkinje fibers after myocardial infarction: A proposed mechanism of post-infarction ventricular arrhythmias	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Hayashi M1), Kameyama M1), Takagi H1), Akutsu K1), Yamamoto T1), Kasagami Y1), Sato N1), Yasutake M1), Tanaka K1), Kobayashi Y, Takayama H, Katoh T, Takano T {1)Coronary Care Unit}	Beneficial effect of nifekalant in patients with hemodynamically unstable paroxymal atrial fibrillation resistant to direct current delivery	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Iwasaki Y, Miyauchi Y, Ohsaka M, Abe J, Miyauchi M, Morita N, Hayashi M, Ohmura K, Hirayama Y, Kobayashi Y, Saitoh H, Katoh T, Takano T	Quantification of the autonomic effect on the atrioventricular node by spectral analysis of heart rate variability during regular atrial pacing	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Kameyama M1), Hirayama Y, Yashima M, Kobayashi Y, Takano T, Maruyama M2), Atarashi H2), Shinada T3), Saitoh H4) {1)Department of Intensive and Coronary Care Unit, 2)Department of Internal Medicine, Tama Nagayama Hospital, 3)Department of Intensive and Coronary Care}	Roles of CA2 ⁺ pump function of sarcoplasmic reticulum in the mechanism of electrical and mechanical alternans	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Kasagami Y1), Yamamoto T1), Akutsu K1), Hayashi M1), Kameyama M1), Takagi H1), Satoh N1), Yasutake M1), Tanaka K1), Yoshikawa M, Inami S, Yamane Y, Fujita N, Takano H, Aoki S, Fujioka M, Nakagomi A, Kusama Y, Takayama M, Takano T {1)Department of Coronary Care Unit}	Indication for successful aspiration thrombectomy using Rescuet TM catheter	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Kato K, Yasutake M, Jia D, Ishii K, Takagi H, Kusama Y, Kishida H, Takano T	Mitochondrial KATP channel opener, nicorandil, limits myocardial infarct size even when given during reperfusion alone	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Kidokoro Y1), Sato N1), Tanaka K1), Kasagami Y1), Yamamoto T1), Hayashi M1), Kameyama M1), Takagi H1), Yasutake M, Takano T {1)Coronary Care Unit}	Clinical characteristic of acute heart failure with and without improvements of mitral regurgitation	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Kimura Y, Fukuma N, Kanazawa H, Miura K, Oikawa K, Mabuchi K, Kusama Y, Takano T	Enhanced central chemosensitivity reflects the anaerobic metabolism alteration during exercise in heart disease patients with impaired exercise capacity	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Matsumoto S, Hirayama Y, Saitoh H, Iwasaki Y, Kobayashi Y, Seino Y, Katoh T, Takano T, Ohno N1), Ogata K1), Atarashi H1), Ohsaka M2) {1)Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital, 2)Department of Health Care Center, 2nd Hospital}	The significance of T-wave alternans for predicting VT or VF in different types of organic heart disease	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Matsumoto S, Saitoh H, Hirayama H, Iwasaki Y, Kobayashi Y, Seino Y, Katoh T, Takano T, Ohno N1), Ogata K1), Atarashi H1), Ohsaka M2) {1)Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital, 2)Department of Health Care Center, 2nd Hospital}	T-wave alternans can detect the cardiac involvement in sarcoidosis	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Miura K, Fukuma N, Oikawa K, Kanazawa H, Kimura Y, Mabuchi K, Takano T	Accelerated central chemoreflex sensitivity as a cause of abnormal ventilatory control during exercise in patients with chronic heart failure	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Nakagomi A, Aoki S, Yamane Y, Inami S, Fujita N, Kusama Y, Takayama M, Takano T	Elevated plasma levels of C-reactive protein may modulate myocardial damage in patients with acute myocardial infarction underwent percutaneous coronary intervention	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Ogata K, Atarashi H, Ogawa S1) {1)The Idiopathic Ventricular Fibrillation Investigators}	A New Electrocardiographic Criteria for the Symptomatic Brugada Syndrome	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Ogata K1), Seino Y, Kiuchi K, Takayama M, Takano T, Satoh N2), Yasutake M2), Tanaka K2) {1)Department of Internal Medicine, Tama Nagayama Hospital, 2)Coronary Care Unit}	Comparison of heart-type fatty acid-binding protein(H-FABP) and myoglobin for diagnosis of superacute phase myocardial infarction; rapid H-FABP test study subanalysis	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Ogawa A1), Yokoyama H1), Tajika K1), Yamashina I1), Tanabe J1), Shimizu S1), Kojima S1), Yodogawa K, Inami S, Takano H, Takano T {1)Department of Cardiology, Tohsei National Hospital}	Markers of neurohumoral activation were risk factors for silent cerebral infarction in the patients with chronic and paroxymal atrial fibrillation	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Ohara K, Takayama H, Yodogawa K, Wu X, Sutovsky I, Kobayashi Y, Takano T, Ohara T1) {1)Conary Care Unit}	Electrocardiographical differences of ventricular premature beats in patients with old myocardial infarction and dilated cardiomyopathy	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Ohtsuka T1), Ibuki C1), Suzuki T1), Tokuyama K1), Yoshida H1), Ishii K1), Asai K1), Kishida H1), Takano T {1)Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital}	RHO/RHO-kinase system contributes to vasomotor function in moderate-grade coronary stenotic lesions	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Oikawa K, Fukuma N, Kanazawa H, Miura K, Kimura Y, Mabuchi K, Takano T	Central chemosensitivity associated with ventilatory and chronotropic response to exercise in patients with heart disease and preserved exercise tolerance	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Ono T, Ohsaka M, Munakata K, Gang Y1), Yap Yee G1), Hnatkova K1), Malik M1), Saitoh H2), Kobayashi Y2), Takano T2) {1)St.George's Hospital Medical School Cardiological Sciences,London, UK, 2)First Department of Internal Medicine, Nippon Medaical School Hospital}	Can new descriptors of ventricular repolarisation detect high-risk patients with implanted cardioverter defibrillator?-Usefulness of T-wave morphology analysis	第66回日本循環器学会	2002 4
Sato N1), Tanaka K1), Kasagami Y1), Yamamoto T1), Akutsu K1), Hayashi M1), Kameyama M1), Takagi H1), Yasutake M, Takano T, Kumita S2), Kumazaki T2) {1)Coronary Care Unit, 2)Department of Radiology}	Discrepancy between pre-synaptic and post-synaptic dysfunctions of cardiac sympathetic nerves in human heart failure	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Seino Y, Fukushima M, Wu X, Takano T	Plasma concentration of N-terminal Pro-BNP vs BNP and H-FABP in chronic heart failure: More discerning marker for the progression	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Setsuta K1), Seino Y, Ogawa T, Takano T {1)Division of Cardiology, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital}	Assessment of severity and prognosis of chronic heart failure using cytosolic and myofibril markers: Implication of ongoing myocardial damage	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Shimokawa H1), Iinuma H2), Katoh K2), Kishida H, Nakashima M3) {1)Department of Cardiovascular Medicine, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences, 2)The Cardiovascular institute, 3)Hamamatsu Institute of Clinical Pharmacology and Therapeutics}	Antianginal effect of fasudil, a Rho-kinase inhibitor, in patients with stable effort angina: a multicenter study	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Takagi H1), Satoh N1), Tanaka K1), Kasagami Y1), Yamamoto T1), Hayashi M1), Kameyama M1), Yasutake M, Takano T {1)Coronary Care Unit}	Risk stratification by neurohumoral factors and hemodynamics on admission in acute heart failure	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Takahashi H, Seino Y, Fukumoto H, Takano T, Shimada T1) {1)Department of Biochemistry and Molecular Biology}	AAV Vector-mediated muscle directed gene therapy results in long-term enzymatic and structural correction in cardiovascular system of Fabry mice	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Takayama M, Yoshikawa M, Fujita N, Takagi H, Yamane Y, Ohno T, Aoki S, Takano H, Fujioka M, Nakagomi A, Yasutake M, Honma H, Kusama Y, Takano T	Effectiveness and safety of percutaneous catheter alcohol ablation for medically refractory patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy: single center experience	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Tanabe J1), Yokoyama H1), Tajika K1), Yamashina I1), Ogawa A1), Shimizu S1), Kojima S1), Yodogawa K, Inami S, Takano H, Takano T {1)Department of Cardiology, Tohsei National Hospital, Shimizucho}	Pharmacological stress can evaluate myocardial contractile reserve in chronic heart failure	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Toba M1), Kumita S1, Kumazaki T1), Sano J, Takano T {1)Department of Radiology}	Incremental longitudinal prognostic value of I-123 BMIPP myocardial SPECT in patients without myocardial infarction - comparison with stress perfusion imaging -	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Yamamoto T1), Kasagami Y1), Akutsu K1), Kameyama M1), Takagi H1), Hayashi M1), Sato N1), Yasutake M1), Tanaka K1), Takayama M, Takano T, Tajima H2), Kumazaki T2) {1)Intensive and Coronary Care Unit, 2)Department of Radiology}	Comparison of aggressive interventional therapy with traditional thrombolysis for acute massive pulmonary embolism	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Yokoyama H1), Yamashina I1), Tanabe J1), Ogawa A1), Shimizu S1), Kojima S1), Yodogawa K, Inami S, Takano H, Takano T {1)Department of Cardiology, Tohsei National Hospital}	Vasomotor abnormality in the brachial and coronary arteries of patients with vasospastic angina or syndrome X	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Yoshikawa M, Takayama M, Fujita N, Aoki S, Takano H, Nakagomi A, Ohno T, Honma H, Kusama Y, Takano T	Temporary balloon occlusion halfly predicts reduction of pressure gradient in percutaneous catheter treatment with alcohol for hypertrophic obstructive cardiomyopathy (HOCM)	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Takano M, Ishibashi F, Okamatsu K, Seimiya K, Kamon H, Yokoyama S1), Ohba T1), Tomimura M, Uemura R2), Sakai S, Nomura A, Sano J, Hata N1), Mizuno K {1)Hokusho Emergency, 2)Tohsei National Hospital}	Novel Method to Detect Endothelial Injury in Patients with Vasospastic Angina: Evans Blue Dye	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Yokoyama S1), Hata N1), Imaizumi T1), Hoshino K1), Ohara T1), Ohba T1), Shinada T1), Matsumori A2), Mizuno K {1)Hokusho Emergency, 2)京都大学大学院循環器学}	Clinical Significance of Hepatocyte Growth Factor in Acute Coronary Syndrome	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Yokoyama H, Tajika K, Yamashina I, Tanabe J, Ogawa A, Shimizu S, Uemura R, Inami S, Yodogawa K, Takano H, Kojima S (Division of Cardiology, Tohsei National Hospital)	Peripheral vascular dysfunction and vasospastic angina.	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Yokoyama H, Ogawa A, Tokita Y, Yamamoto E, Tanabe J, Takayama T, Uemura R, Yodogawa K, Takano H, Takano T (Division of Cardiology, Tohsei National Hospital)	Preconditioning increase of plasma BNP and ANP level before recurrence of proxymal atrial fibrillation	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Uemura R, Kanazawa H, Yamamoto E, Tokita Y, Tanabe J, Takayama H, Yokoyama H, Muzuno K, Ohaki Y (Division of Cardiology, Tohsei National Hospital)	Compare between uncommon histological and morphological findings in stable and unstable coronary artery disease	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Nakagawa S, Kimura M, Honda T, Fujii B, Endoh Y, Furukawa K, Itoh A, Ono S, Murata M, Nakamura T, Yoshii Y, Maeno K, Yamamoto K, Ikeda K, Muroi S, Nagano T (Department of Cardiology, Tokyo Saiseikai Central Hospital)	Early intervention does not contribute to better survival in Japanese octogenarians with acute myocardial infarction: Saiseikai Acute Myocardial Infarction (SAMI) study	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Kunihiro T, Nakagawa S, Kimura M, Honda T, Fujii B, Endoh Y, Furukawa K, Itoh A, Ono S, Murata M, Nakamura T, Yoshii Y, Maeno K, Yamamoto K, Ikeda K, Muroi S, Nagano T (Department of Cardiology, Tokyo Saiseikai Central Hospital)	In-hospital mortality of acute myocardial infarction with diabetes is fair in Japan: Saiseikai Acute Myocardial Infarction (SAMI) study	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
Nakagawa S, Kimura M, Fujii B, Endoh Y, Furukawa K, Itoh A, Ono S, Murata M, Nakamura T, Yoshii Y, Maeno K, Yamamoto K, Ikeda K, Muroi S, Nagano T (Department of Cardiology, Tokyo Saiseikai Central Hospital)	Hospital survivors of Japanese octogenarians with acute myocardial infarction (AMI) still carry high mortality and morbidity: Saiseikai Acute Myocardial Infarction (SAMI) study	第66回日本循環器学会学術集会	2002 4
伊藤恵子, 本間博, 大野忠明, 時田祐吉, 宗像亮, 吉川雅智, 横島友子, 安武ひろ子, 菅原博子, 高野照夫, 松崎つや子1) {1)生理機能センター}	Strain rate imagingによる局所心機能評価	第13回日本心エコー学会学術集会	2002 4
古明地弘和	自己免疫性肝炎における反復肝生検による肝組織所見の短期的, 長期的経過	第88回日本消化器病学会総会	2002 4
岡崎怜子, 大村和子, 山根吉人, 福岡長知, 大須賀勝, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫	急性心筋梗塞発症を契機に診断された単冠動脈症の1例	第499回日本内科学会関東地方会	2002 5
山本剛, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田徳実, 荒牧琢己, 横山宗伯1), 松本光司2) {1)病理第二, 2)第二病院病理部}	診断に難渋した高度胆汁うっ滞を伴う骨髄性プロトポルフィリン症の1例	第289回日本消化器病学会関東支部例会	2002 5
岩崎雄樹, 小林義典, 加藤貴雄, 高野照夫, 山下武志1), 関口昭子1), 相良耕一1), 飯沼宏之1), 傳隆康1) {1)心臓血管研究所}	心筋イオンチャネル遺伝子発現の複数同時解析法	第17回日本心臓ペースング・電気生理学学会学術集会	2002 5
淀川顕司, 高山英男, 小林義典, 加藤貴雄, 高野照夫	WPW症候群における早期興奮派の周波数特性	第17回日本心臓ペースング・電気生理学学会学術集会	2002 5
丸山光紀, 奥田小百合, 大野則彦, 緒方憲一, 宮本新次郎, 田寺長, 遠藤康実, 井野威, 新博次, 岸田浩	Osborn 波の出現に伴い心室細動の発症冠攣縮性狭心症の1例	第17回日本心臓ペースング電気生理学大会	2002 5
淀川顕司, 高山英男, 加藤貴雄, 高野照夫	WPW症候群における早期興奮派の周波数特性	第41回日本エム・イー学会大会	2002 5
田中古登子, 太田眞夫, 藤田進彦, 藤岡幹雄, 川嶋修司, 村上大介, 鈴木雄一郎, 橋本英洋, 高野照夫	正常アルブミン尿2型糖尿病における腎血行動態予備能(RFR)と各種関連因子の検討	第45回日本糖尿病学会年次学術集会	2002 5

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
坪宏一1), 山本剛1), 高木啓倫1), 笠神康平1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 岡崎裕子, 宗像亮, 鈴木雄一郎, 山根吉人, 藤田進彦, 高野仁司, 青木聡, 中込明裕, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫 {1)集中治療室}	冠動脈奇形を合併した急性心筋梗塞への経皮的冠インターベンション	第20回日本心臓血管インターベンション学会 関東甲信越地方会	2002 5
石井健輔, 吉田博史, 大塚俊昭, 徳山権一, 村上大介, 奥田小百合, 小谷英太郎, 浅井邦也, 雪吹周生, 岸田浩	非定型抗酸菌による重症肺感染症により心筋虚血が増悪し, 冠動脈インターベンションを余儀なくされた高齢者, 左主幹部病変の1例	第20回日本心臓血管インターベンション学会 関東甲信越地方会	2002 5
鈴木雄一郎, 小川友裕, 稲見茂信, 石橋史行, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 富村正登, 野村敦宣, 佐野純子, 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	右冠動脈入口部にCutting Balloon Angioplasty施工後に螺旋状解離が右冠動脈全体に及んだ1例	第20回日本心臓血管インターベンション学会 関東甲信越地方会	2002 5
鈴木雄一郎1), 小川友裕1), 稲見茂信1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 掃部弘行1), 清宮康嗣1), 高野雅充1), 富村正登1), 野村敦宣1), 佐野純子1), 畑典武, 水野杏一1) {1)千葉北総病院 内科}	右冠動脈入口部にCutting Balloon Angioplasty施行後に螺旋状解離が見意義冠動脈全体に及んだ1例	第20回日本心臓血管インターベンション学会 関東甲信越地方会	2002 5
高山守正, 安藤岳志1), 桃井貴裕1), 本間英恵1), 川本雅司2), 中村隆3), 五十嶋一成4) {1)日本医科大学山岳部, 2)同病理第一, 3)中村病院, 4)自衛隊中央病院内科}	北アルプス中高年登山者における登山中の疾病発症予防・予後予測: 山小屋でのSPO2測定の意義	第22回日本登山医学シンポジウム	2002 5
竹永清人, 伊佐治剛, 山口朋禎, 寺田秀人, 村澤恒男, 北村伸, 宗像一雄	乳癌による微小肺塞栓で亜急性に肺高血圧を生じ, DICおよびマクロCK血症を合併し死亡した1例	第499回日本内科学会 関東地方会	2002 5
筋澤理人, 山口朋禎, 網谷賢一, 伊佐治剛, 宗像一雄, 佐藤雅史1) {1)第二病院放射線科}	気管支胸腔瘻を合併した難治性膿胸に気管支鏡下のペリプラス注射が有効であった2例	日本医科大学医学会第107回例会	2002 5
小川友裕, 野村敦宣, 村井綱見, 鈴木雄一郎2), 稲見茂信, 石橋史行, 岡松健太郎, 清宮康嗣, 掃部弘行, 高野雅充, 富村正登, 小原俊彦1), 佐野純子, 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室, 2)付属病院内科第1}	デジタル12誘導ホルター心電図にて特異なST-T形態の日内変動を証明したBrugada症候群の1例	日本医科大学医学会第107回例会	2002 5
本郷公英, 牛島明子, 伊藤憲祐, 三船俊英, 品田卓郎, 横山真也, 大場崇芳, 小原俊彦, 星野公彦, 今泉孝敬, 畑典武, 大森章代1), 望月徹2), 益子邦洋2) {1)千葉北総病院看護部, 2)同救命救急センター}	ドクターヘリ搬送により早期完全血行再建に成功し心原性ショックを回避し得た急性心筋梗塞再発症の1例	日本医科大学医学会第107回例会	2002 5
小川友裕1), 野村敦宣1), 村井綱見1), 鈴木雄一郎1), 稲見茂信1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 清宮康嗣1), 掃部弘行1), 高野雅充1), 富村正登1), 小原俊彦, 佐野純子1), 水野杏一1) {1)千葉北総病院内科}	デジタル12誘導ホルター心電図にて特異なST-T形態の日内変動を証明したBrugada症候群の1例	日本医科大学医学会第107回例会	2002 5
村澤恒男, 酒井行直, 網谷賢一, 山口朋禎, 西垣朝裕, 宗像一雄	維持透析患者の血液透析に伴うARI dispersion の変動: 糖尿病群と非糖尿病群	第45回日本腎臓学会 学術総会	2002 5
山本剛, 長戸孝道1), 清水秀治1), 古明地弘和1), 大須賀勝1), 里村克章1), 勝田梯実1), 荒牧琢己1), 横山宗伯2), 松本光司2), 内藤善哉2), 浅野ありさ3), 渡辺淳4), 島田隆4) {1)内科第1, 2)病理学第2, 3)小児科学, 4)生化学第2}	診断に難渋した高度胆汁うっ滞を伴う骨髄性プロトポルフィリン症の1例	第269回日本消化器病学会 学会関東支部例会	2002 5
森田典成, 小林義典, 館岡克彦, 谷口宏史, 阿部純子, 岩崎雄樹, 林明聡, 高山英男, 松本真, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫, 新博次1), 新田隆2) {1)多摩永山病院内科, 2)外科第}	Ic群抗不整脈剤投与後にT wave alternans が認められたBrugada症候群の1例	第31回臨床心臓電気整理研究会	2002 6
牛島明子, 高山英男, 古明地弘和, 大須賀勝, 高野照夫	間接痛を伴いSLE合併が疑われた自己免疫性溶血性貧血の1例	第500回日本内科学会 関東地方会	2002 6
伊藤恵子, 中里馨1), 松崎つや子1), 佐藤淳子1), 水瀬学1), 石井玲子1), 福岡祐美子, 大野忠明, 本間博, 高野照夫, 林宏光2), 隈崎達夫2) {1)生理機能センター, 2)放射線医学}	高齢者巨大縦隔嚢胞の1例	日本超音波学会第75回学術集会	2002 6

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
吉田博史1), 雪吹周生1), 村上大介1), 徳山権一1), 石井健輔1), 大塚俊昭1), 浅井邦也1), 鈴木健1), 岸田浩1), 高野照夫 {1)多摩永山病院内科}	冠動脈ステント周縁部の慢性期狭小化に血管のnegative remodelingが関係する	第11回日本心血管インターベンション学会学術集会	2002 6
吉田博史, 高山守正, 雪吹周生, 高野照夫, 田村浩一1), 前田昭太郎2) {1)付属病院病理部, 2)多摩永山病院病理部}	剖検による経皮的中隔心筋焼灼術既往例の心臓病理所見	第11回日本心血管インターベンション学会学術集会	2002 6
高山守正, 宗像亮, 村上大介, 山本英世, 時田祐吉, 鈴木雄一郎, 吉川雅智, 椎葉邦人, 加藤浩司, 竹永清人, 山根吉人, 藤田進彦, 高野仁司, 青木聡, 藤岡幹雄, 安武正弘, 中込明裕, 草間芳樹, 高野照夫	経皮的中隔心筋焼灼術における緩徐なエタノール注入による合併症の防止	第11回日本心血管インターベンション学会学術集会	2002 6
坪宏一1), 高山守正, 高木啓倫1), ブライガットジハド, 笠神康平1), 山本剛1), 佐藤直樹1), 鈴木雄一郎, 山根吉人, 藤田進彦, 青木聡, 高野仁司, 藤岡幹雄, 安武正弘, 中込明裕, 草間芳樹, 田中啓治1), 高野照夫 {1)集中治療室}	新世紀ステント(Bx-VelocityおよびMulti-Link Trister)の使用成績	第11回日本心血管インターベンション学会学術集会	2002 6
森田典成, 小林義典, 上野亮, 館岡克彦, 堀江格, 谷口宏史, 淀川顕司, 阿部純子, 林明聡, 高山英男, 松本真, 大村和子, 平山悦之, 福岡長知, 清野精彦, 加藤貴雄, 高野照夫	Brugada症候群に冠攣縮狭心症が合併した1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会	2002 6
高久多季朗1), 山本剛1), 進士誠一1), 高木啓倫1), 亀山幹彦1), 林明聡1), 坪宏一1), 笠神康平1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 牛島明子2), 高山英男2), 安武正弘2), 高野照夫2), 田島廣之3), 高橋直人 {1)付属病院集中治療室, 2)同第一内科, 3)同放射線科}	潰瘍性大腸炎に急性広範性肺血栓塞栓症を合併した1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会	2002 6
高久多喜郎, 山本剛, 進士誠一, 高木啓倫, 亀山幹彦, 林明聡, 坪宏一, 笠神康平, 佐藤直樹, 田中啓治, 牛島明子1), 高山英男1), 安武正弘1), 高野照夫1), 田島廣之2), 高橋直人3) {1)内科学第1, 2)放射線科, 3)第二病院内科}	潰瘍性大腸炎に急性広範性肺血栓塞栓症を合併した1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会	2002 6
三船俊英, 品田卓郎, 横山真也, 大場崇芳, 小原俊彦, 星野公彦, 今泉孝敬, 畑典武, 山内茂生1), 小笠原英継1), 佐々木孝1) {1)千葉北総病院胸部心臓血管外科}	周期的に左室滑入する解離内膜により心筋虚血を示した急性大動脈解離の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会	2002 6
山本剛, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田徳実, 荒牧琢己, 横山宗伯1), 松本光司1), 内藤善哉1), 浅野ありさ2), 渡辺淳3), 島田隆3) {1)病理第2, 2)小児科, 3)生化学第2}	高度胆汁うっ滞を伴った骨髄性プロトポルフィリン症の1例	第10回肝病態生理研究会	2002 6
徳山権一, 浅井邦也, 大塚俊昭, 吉田博史, 石井健輔, 雪吹周生, 鈴木健, 新博次, 岸田浩	高齢者の急性冠症候群患者における臨床的特徴と冠インターベンションの有効性についての検討	第44回日本老年医学会学術集会	2002 6
宗像亮, 福岡長知, 大須賀勝, 佐藤直樹, 高山守正, 高野照夫, 寺本明1) {1)脳神経外科学}	低ナトリウム血症による意識障害で診断された症候性ラトケ囊胞の1例	第501回日本内科学会関東地方会	2002 7
山本剛1), 高木啓倫1), 亀山幹彦1), 林明聡1), 坪宏一1), 藤田進彦1), 笠神康平1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 中込明裕, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫 {1)集中治療室}	トロポニンを用いた心筋梗塞再定義の妥当性について	第22回心筋梗塞研究会	2002 7
村澤恒男, 酒井行直, 小野卓哉, 伊佐治剛, 宜保陽介, 網谷賢一, 山口朋禎, 西垣朝裕, 宗像一雄	維持透析患者の血液透析に伴うARI dispersionの変動: 年齢, 性比, 除水率を一致させた糖尿病群と非糖尿病群の比較	第47回(社)日本透析医学会学術集会・総会	2002 7
酒井行直, 網谷賢一, 村澤恒男, 宗像一雄, 門松豊1), 磯野友昭1) {1)第二病院血液浄化療法室}	無酢酸血液透析濾過(バイオフィルトレーション)が有効であった血小板減少症を伴う透析困難症の1例	第47回(社)日本透析医学会学術集会・総会	2002 7
網谷賢一, 村澤恒男, 山口朋禎, 酒井行直, 宗像一雄, 門松豊1), 磯野友昭1) {1)第二病院血液浄化療法室}	維持透析患者の血液透析に伴う細胞内外水分量と血管作動因子の糖尿病群と非糖尿病群との比較	第47回(社)日本透析医学会学術集会・総会	2002 7
門松豊1), 磯野友昭1), 酒井行直, 村澤恒男, 宗像一雄 {1)第二病院血液浄化療法室}	PAES膜ダイアライザーMWの臨床評価	第47回(社)日本透析医学会学術集会・総会	2002 7

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
磯野友昭1), 門松豊1), 酒井行直, 村澤恒男, 宗像一雄 {1)第二病院血液浄化療法室}	各種ポリスルホン膜の溶質除去性能および抗凝固能の比較検討	第47回(社)日本透析医学会学術集会・総会	2002 7
雪吹周生, 大塚俊昭, 鈴木健, 徳山権一, 石井健輔, 吉田博史, 浅井邦也, 岸田浩, 高野照夫1) {1)内科第一}	冠動脈攣縮部位の血管内皮機能;低用量acetylcholine 負荷に対する拡張反応と冠動脈床NO産生能	第34回日本動脈硬化学会	2002 7
掃部弘行, 稲見茂信, 高野雅充, 岡松健太郎, 石橋史行, 清宮康嗣, 佐野純子, 今泉孝敬1), 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	冠動脈内視鏡を用いた急性心筋梗塞に対する血栓溶解療法の有用性の検討	第8回日本血管内治療学会	2002 7
馬淵浩輔, 草間芳樹, 美浦和代, 木村祐子, 及川恵子, 土田貴也, 福岡長知, 岸田浩, 高野照夫, 汲田伸一郎1), 趙圭一1), 隈崎達夫1) {1)放射線科}	心電図同期SPECTを用いたRegional Post-stress Stunningの検出: Subtraction MapによるWall Thickeningの経時的変化	第52回循環器負荷研究会	2002 8
守屋慶一1), 藤田進彦1), 藤谷仁1), 亀山幹彦1), 高木啓倫1), 林明聡1), 坪宏一1), 山本剛1), 小野寺英貴1), 金徹1), 佐藤直樹1), 竹田晋浩1), 田中啓治1), 小川太志2), 山本保博2), 加藤活人, 小原俊彦, 高山守正, 高野照夫 {1)集中治療室, 2)高度救命救急センター}	先天性大動脈弁狭窄症に心室細動を発症しbystander CPRがなされ, 院外にて心拍再開し救命し得た中年女性の1例	第11回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2002 8
福島正人, 清野精彦, 中条秀信1), 趙圭一1), 汲田伸一郎1), 田中啓治2), 高野照夫 {1)放射線科, 2)集中治療室}	診断基準改訂により包括された急性心筋梗塞症例における微小心筋障害の分析: T1/BMIPP dual SPECTと血液生化学諸指標に関して	第11回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2002 8
掃部弘行, 清宮康嗣, 岡松健太郎, 石橋史行, 稲見茂信, 高野雅充, 酒井俊太, 水野杏一	冠動脈内視鏡による急性心筋梗塞における発症12時間以内と12時間以降の血栓の性状の比較検討	第11回日本集中治療学会	2002 8
藤谷仁, 小野寺英貴, 金徹, 宮本哲也1), 仁科大, 平井恭二1), 佐藤直樹, 竹田晋浩, 田中啓治 {1)外科第2}	右肺出血に対し分離肺換気およびステロイド投与が有効であった1例	第11回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2002 8
伊藤憲祐, 本郷公英, 牛島明子, 足立眞理, 三船俊英, 品田卓郎, 吉田博史, 横山真也, 大場崇芳, 星野公彦, 今泉孝敬, 畑典武	他疾患の治療中に発生した肺胞出血による急性呼吸急迫症候群の2例	第11回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2002 8
安藤岳志1), 高山守正, 桃井貴裕1), 川本雅司2), 中村隆3), 五十嶋一成4), 五十嶋博文5) {1)日本医科大学学生, 2)同病理第1, 3)中村病院, 4)自衛隊中央病院, 5)太郎平小屋}	北アルプス中高年登山者の登山時の疾病発症予防・予後予測: 山小屋でのSPO2測定の意義 (第二報)	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
菊池英子1), 井口輝彦1), 林綾子1), 池野廣幸1), 鈴木健 {1)中央検査室}	検査室におけるインシデントレポートの分析	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
原口友子, 大崎恵理子, 岡本直人, 柳下照子, 飯野幸永, 水野杏一 {1)千葉北総病院中央画像検査室}	臨床材料から分離された肺炎球菌の薬剤耐性率について	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
五十嵐亜希1), 菅谷寿理1), 吉田由紀子1), 山本雪貴美1), 平野美子1), 中村利枝1), 斉藤公一1), 本間博1), 黒田肇1), 美浦和代, 福岡長知, 木村祐子, 土田貴也, 及川恵子, 馬淵浩輔, 高野照夫 {1)生理機能センター}	心筋梗塞に対する運動療法が血中ビタミンC濃度に及ぼす影響	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
高橋直人, 竹中清人, 網谷賢一, 山口朋禎, 小野卓哉, 内田高浩, 岩原信一郎, 宗像一雄, 山本彰1), 佐藤雅史1) {1)第二病院放射線科}	心電図同期心筋SPECTのボーラーマップを利用した左室壁運動の評価: 2D-echoとp-FASTの比較検討	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
柴田明佳1), 渡部百合子1), 恩田怜子1), 池野廣幸1), 鈴木健 {1)中央検査室}	トロンボテスト試薬(トロンボテストオーレン)は全自動血液凝固測定装置(ラックローター)で使用可能か	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
酒井貴史1), 佐藤寛之1), 林綾子1), 田所久子1), 手嶋浩恵1), 杉原秀人, 水谷行伸, 池野廣幸, 鈴木健	QTc, QTd測定における自動計測ソフトQTd-1の有用性	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
杉原秀人1), 久保田稔1), 池野廣幸1), 鈴木健, 直江康孝2), 畠本恭子2), 横田裕行2), 黒川顯2) {1)中央検査室, 2)救命救急センター}	来院時心肺停止患者における蘇生後脳症の神経生理学的検査所見とその予後について	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
西村とき子1), 飯野幸永1), 水野杏一 {1)千葉北総病院中央画像検査室}	消化管領域における超音波検査の有用性の検討	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
石井玲子1), 佐藤淳子1), 水瀬学1), 松崎つや子1), 斉藤公一1), 本間博1), 黒田肇1), 大野忠明, 高野照夫 {1)生理機能センター}	Strain rate imagingによる局所心機能の定量的評価の試み	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
足立眞理, 伊藤憲祐, 本郷公英, 牛島明子, 三船俊英, 品田卓郎, 吉田博史, 横山真也, 大場崇芳, 星野公彦, 今泉孝敬, 畑典武, 山内茂生1), 小笠原英継1) {1)千葉北総病院胸部心臓血管外科}	大動脈二尖弁に発症した感染性心内膜炎の1例	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
大崎恵理子1), 原口友子1), 岡本直人1), 柳下照子1), 飯野幸永1), 水野杏一 {1)千葉北総病院中央画像検査室}	千葉北総病院における肺炎球菌 (PAAP・PISP・PRSP)	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
中村利枝1), 山本雪貴美1), 加藤政利1), 吉田由紀子1), 五十嵐亜希1), 平野美子1), 菅谷寿理1), 斉藤公一1), 本間博1), 黒田肇1), 福岡長知, 美浦和代, 木村祐子, 土田貴也, 及川恵子, 馬淵浩輔, 高野照夫 {1)生理機能センター}	自転車エルゴメーター回転数の差異による運動時心臓応答の変化	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
張静, 石橋史行, 岡松健太郎, 稲見茂信, 清宮康嗣, 掃部弘行, 佐野純子, 酒井俊太, 横山真也1), 高野雅充, 上村竜太2), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室, 2)国立東静岡病院内科}	なぜ高齢者に急性冠症候群は多いのか?	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
渡部百合子1), 柴田明佳1), 恩田怜子1), 池野廣幸1), 鈴木健 {1)中央検査室}	同時発症した夫婦の三日熱マラリア	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
東敬子1), 前田昭太郎1), 細根勝1), 片山博徳1), 川野記代子1), 劉愛民2), 金沢宏美, 大塚俊昭, 岸田浩 {1)多摩永山病院病理部, 2)中央電子顕微鏡研究施設}	剖検時迅速細胞診が診断に有用であった心臓肉腫の1例	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
木村裕子1), 飯野幸永2), 水野杏一 {1)付属病院内科第1, 2)千葉北総病院中央画像検査室}	千葉北総病院における血圧・脈波伝播速度 (PWV・ABI)検査の有用性	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
林綾子1), 田所久子1), 手嶋浩恵1), 杉原秀人1), 水谷行伸1), 酒井貴史1), 佐藤寛之1), 池野廣幸1), 鈴木健 {1)中央検査室}	24時間血圧測定による夜間降圧の評価にどの測定値が最も有効か	第70回日本医科大学医学会総会	2002 9
稲見茂信, 小川友裕, 石橋史行, 岡松健太郎, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 野村敦宣, 佐野純子, 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	無症候性プラーク破綻における急性冠症候群と安定虚血性疾患との差異	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
高山守正	新しいカテーテル治療PTSMAを企図した薬剤抵抗性閉塞性肥大型心筋症49症例の治療成績	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
山本英世, 高山守正, 宗像亮, 村上天介, ブライガードジハード, 佐藤直樹1), 中込明裕, 福岡長知, 草間芳樹, 田中啓治1), 高野照夫 {1)集中治療室}	急性冠症候群が疑われた診断にドプタミン負荷が有用であったfunctional left ventricular obstructionの2例	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
石井健輔1), 雪吹周生1), 大塚俊昭1), 徳山権一1), 笠神康平1), 小谷英太郎1), 鈴木健1), 岸田浩1), 高野照夫 {1)多摩永山病院内科}	Pho-kinase阻害による血管拡張効果: 上腕動脈と冠動脈の比較	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
石川正也, 佐藤直樹1), 田中啓治1), 高野照夫 {1)集中治療室}	モノクロタリン誘発性肺高血圧モデルにおけるαβブロッカーの予防効果	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
掃部弘行, 岡松健太郎, 清宮康嗣, 石橋史行, 稲見茂信, 横山真也1), 大場崇芳1), 高野雅充, 今泉孝敬1), 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	急性心筋梗塞における血栓溶解療法の有用性: 冠動脈内視鏡による検討	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
大塚俊昭1), 雪吹周生1), 鈴木健1), 徳山権一1), 石井健輔1), 笠神康平1), 小谷英太郎1), 岸田浩1), 高野照夫 {1)多摩永山病院循環器科}	冠動脈狭窄病変におけるPho-kinase阻害薬の血管拡張効果: nitroglycerinとの比較	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
大野忠明, 本間博, 宗像亮, 時田祐吉, 吉川雅智, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫, 松崎つや子 {1)生理機能センター}	低用量ドプタミン負荷経静脈心筋コントラスト・エコーによる冠動脈疾患の評価	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
土田貴也, 清野精彦, 佐藤直樹, 高野照夫, 菊岡万里子1), 久米真澄1) {1)治験支援室}	睡眠時異常呼吸を合併する慢性心不全症例の臨床背景と夜間在宅酸素療法導入に関する検討	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
坪宏一1), 鈴木亨2), 高木啓倫1), 林明聡, 藤田進彦1), 山本剛1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), ブライガットジハード, 高野照夫 {1)集中治療室, 2)東京大学大学院循環器内科}	大動脈解離急性期における血清中MMP/TIMP系およびplasminogen/plasmin系の動態	第50回日本心臓病学会学術集会	2002 9
館岡克彦, 小林義典, 谷口宏史, 堀江格, 淀川順司, 阿部純子, 岩崎雄樹, 森田典成, 林明聡, 川口直美, 大村和子, 小原俊彦, 八島正明, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫	男性高齢者に発症する房室結節リエントリー性頻拍は器質的心疾患に合併する	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
草間芳樹, 高瀬凡平1), 西崎光弘2), 小出靖3), 李鐘大4), 川久保清5), 齋藤顯6), 田邊晃久7), 児玉和久8), 岸田浩 {1)防衛医科大学第一内科, 2)横浜南共済病院循環器内科, 3)杏林大学医学部第二内科, 4)福井医科大学第一内科, 5)東京大学大学院医学系研究科健康増進科学, 6)日本大学医学部第二内科, 7)東海大学医学部循環器内科, 8)大阪警察病院}	経皮的冠動脈形成術後の再狭窄診断における運動負荷心電図の役割: ST偏位に関する検討	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
高瀬凡平1), 草間芳樹, 西崎光弘2), 小出靖3), 李鐘大4), 川久保清5), 齋藤顯6), 田邊晃久7), 児玉和久8), 岸田浩 {1)防衛医科大学第一内科, 2)横浜南共済病院循環器内科, 3)杏林大学医学部第二内科, 4)福井医科大学第一内科, 5)東京大学大学院医学系研究科健康増進科学, 6)日本大学医学部第二内科, 7)東海大学医学部循環器内科, 8)大阪警察病院}	経皮的冠動脈形成術後の再狭窄診断における運動負荷心電図の役割: QT dispersionに関する検討	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
淀川順司, 高山英男, 上野亮, 館岡克彦, 堀江格, 阿部純子, 森田典成, 林明聡, 大村和子, 小林義典, 加藤貴雄, 高野照夫	WPW症候群における早期興奮波の周波数解析	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
岩崎雄樹, 山下武志1), 関口昭子1), 相良耕一1), 相澤忠範1), 飯沼宏之1), 傳隆康1), 小林義典, 加藤貴雄, 高野照夫 {1)心臓血管研究所}	ストレス誘発性イオンチャネルリモデリング, 発作性心房細動発症の新たなメカニズム	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
森田典成	心房粗動症例での右房分界線の解剖学的特徴: 3次元画像構築システムでの検討	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
阿部純子	果状心房細動における心電図P波の形態的特徴: 平均加算心電図を用いた検討	第19回日本心電学会学術集会	2002 9
本郷公英, 宜保陽介, 伊佐治剛, 竹永清人, 網谷實一, 山口朋祐, 高橋直人, 小野卓哉, 内田高浩, 岩原信一郎, 宗像一雄	I-BMIPP無集積により診断されたI型CD36欠損症を合併した拡張型心筋症の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会	2002 9
村井綱児1), 小川紅2), 鈴木雄一郎2), 小川友裕, 稲見茂信, 石橋史行, 岡松健太郎, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 横山真也1), 野村敦宜, 佐野純子, 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室, 2)付属病院内科第1}	急性冠症候群責任病変部のブランク破綻像が血管内視鏡上クレーター状に, 血管内超音波上空洞状に認めた1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会	2002 9
五十嵐美和, 龜山幹彦, 中島泰, 高木啓倫, 林明聡, 坪宏一, 藤田進彦, 山本剛, 小野寺英貴, 金徹, 佐藤直樹, 竹田晋治, 田中啓治, 安武正弘1), 高野照夫, 池崎弘之2) {1)内科第1, 2)麻酔科学}	二度の心停止を経験し蘇生後脳症の経時的改善によりICD植え込み適応となった特発性心室細動の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会	2002 9
金澤宏美, 大塚俊昭, 村上大介, 徳山権一, 石井健輔, 笠原康平, 小谷英太郎, 雪吹周生, 鈴木健, 岸田浩	冠動脈内に血行性転移をきたし急性心筋梗塞を発症した左室原発線維肉腫の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会	2002 9
村上大介, 宗像亮, 藤田進彦, 清水秀治, 大村和子, 福岡長知, 大須賀勝, 高山守正, 高野照夫	浮腫, 腹水にて発見されたAlagille症候群の成人例	第502回日本内科学会関東地方会	2002 9

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
張静1), 馬淑梅1), 大場崇芳2), 岡松健太郎, 稲見茂信, 石橋史行, 清宮康嗣, 掃部弘行, 佐野純子, 酒井俊太, 横山真也2), 高野雅充, 上村竜太3), 水野杏一 {1)留学生, 2)千葉北総病院集中治療室, 3)国立東静病院内科}	急性冠症候群における無症候性プラーク崩壊発因子としての高血圧の重要性	第25回日本高血圧学会総会	2002 10
稲見茂信, 酒井俊太, 小川友裕, 岡松健太郎, 石橋史行, 清宮康嗣, 掃部弘行, 高木元, 野村敦宣, 佐野純子, 水野杏一	ステント留置9ヶ月後の血栓性冠動脈ステント再狭窄の1例	第21回日本心臓血管インターベンション学会	2002 10
高木啓倫1), 坪宏一1), 山本剛1), 藤田進彦1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 神谷仁孝, 小林宣明, 宗像亮, 鈴木雄一朗, 川嶋修司, 山根吉人, 高野仁司, 青木聡, 浅井邦也, 中込明裕, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫	PCI合併症: ガイドワイヤー先端のX線透過ポリマーチップが剥がれた3症例	第21回日本心臓血管インターベンション学会 関東甲信越地方会	2002 10
小川友裕1), 村井綱児1), 稲見茂信1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 掃部弘行1), 清宮康嗣1), 高木元1), 野村敦宣1), 酒井俊太1), 佐野純子1), 畑典武1), 水野杏一1), 高野照夫 {1)千葉北総病院循環器センター}	亜急性期にプラーク破綻像を血管内視鏡, IVUSで観察した1例	第21回日本心臓血管インターベンション学会 関東甲信越地方会	2002 10
石川正也, 佐藤直樹, 高野照夫	Prevention of pulmonary hypertension and right ventricular hypertrophy by $\alpha\beta$ blocker in monocrotalim-induced pulmonary hypertension rats	第6回日本心不全学会	2002 10
美浦和代, 長戸孝道, 高野仁司, 中込明裕, 大須賀勝, 勝田悌実, 高野照夫	生検により腹腔内リンパ節・肝結核症と診断, 抗結核薬に特異な反応を呈した1例	第503回日本内科学会 関東地方会	2002 10
清水秀治, 里村克章, 加藤良人, 長戸孝道, 古明地弘和, 大須賀勝, 勝田悌実, 荒牧琢己, 大本安一 {1)大塚研究所}	慢性肝炎における肝組織中キマーゼ濃度と線維化, 炎症の程度について	第6回日本肝臓学会大会	2002 10
工藤律子1), 藤谷仁1), 藤田進彦1), 山本剛1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 東春香, 大野忠明, 高野仁司, 高山守正, 高野照夫, 田島廣之2), 中沢賢2), 隈崎達夫2) {1)付属病院集中治療室, 2)同放射線科}	急性肺塞栓症を合併した先端巨大症の1例	第9回肺塞栓症研究会	2002 10
淀川顕司, 森田典成, 高山英男, 小原俊彦, 加藤貴雄, 高野照夫	Brugada症候群における心電図QRS内異常高周波成分の検出	第18回心電情報処理 ワークショップ	2002 10
村澤恒男	維持透析患者の血液透析に伴うARI dispersion の変動: 年齢, 除水率を一致させた糖尿病群と非糖尿病群との比較	第40回日本人工臓器 学会大会	2002 10
張静1), 石橋史行, 岡松健太郎, 稲見茂信, 清宮康嗣, 掃部弘行, 佐野純子, 酒井俊太, 横山真也3), 高野雅充, 上村竜太2), 水野杏一 {1)留学生, 2)国立東静病院内科, 3)日本医科大学付属千葉北総病院集中治療室}	なぜ高齢者に急性冠症候群は多いのか?	第16回日本心臓血管内視鏡学会総会	2002 10
掃部弘行, 高野雅充, 清宮康嗣, 岡松健太郎, 石橋史行, 稲見茂信, 横山真也1), 大場崇芳1), 今泉孝敬1), 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	冠動脈内視鏡による急性心筋梗塞における発症12時間以内と12時間以降の血栓の性状の比較検討	第16回日本心臓血管内視鏡学会総会	2002 10
張静1), 馬淑梅1), 大場崇芳, 岡松健太郎1), 稲見茂信1), 石橋史行1), 清宮康嗣1), 掃部弘行1), 佐野純子1), 酒井俊太1), 横山真也, 高野雅充1), 上村竜太1), 水野杏一1) {1)千葉北総病院内科}	急性冠症候群における無症候性プラーク崩壊誘発因子としての高血圧の重要性	第25回日本高血圧学会総会	2002 10
山本剛1), 高木啓倫1), 亀山幹彦1), 林明聡1), 坪宏一1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 高野照夫, 田島廣之2), 隈崎達夫2) {1)付属病院集中治療室, 2)付属病院放射線科}	重症急性肺塞栓症に対する積極的カテーテル治療の効果	第43回日本脈管学会 総会	2002 11
稲見茂信1), 水野杏一1), 馬淑梅1), 孫亜清1), 張静1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 掃部弘行1), 清宮康嗣1), 高野雅充, 横山真也, 大場崇芳, 上村竜太1), 野村敦宣1), 酒井俊太1), 佐野純子1) {1)千葉北総病院内	虚血性心疾患における無症候性プラーク破綻の規定因子と臨床的意義	第43回日本脈管学会 総会	2002 11

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
上野亮, 大村和子, 古明地弘和, 福岡長知, 大須賀勝, 高野照夫, 中山智子1), 福田悠1) {1)病理第1}	間質性肺炎に対するステロイド治療中, 急速に進行する舌壊死を呈したムコール症の1例	第504回日本内科学会 関東地方会	2002 11
森田典成, 小林義典, 館岡克彦, 堀江格, 谷口宏史, 平澤泰宏, 淀川顯司, 阿部純子, 岩崎雄樹, 林明聡, 川口直美, 小原俊彦, 大村和子, 八島正明, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫	Mahaim束に対するアブレーションelectro-anatomical mapping systemが有用であった1例	第1回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会	2002 11
土田貴也, 福岡長知, 美浦和代, 木村祐子, 愛須紀子, 及川恵子, 馬淵浩輔, 高野照夫	心不全例において化学受容体反射が安静時及び運動負荷時の血圧に及ぼす影響	第39回日本臨床生理学会総会	2002 11
美浦和代, 福岡長知, 木村祐子, 愛須紀子, 土田貴也, 及川恵子, 馬淵浩輔, 高野照夫	運動耐容能障害と化学受容体反射感受性亢進	第39回日本臨床生理学会総会	2002 11
寺田秀人	門脈圧亢進症(門亢症)におけるストレスの肝循環に対する影響	第39回日本臨床生理学会総会	2002 11
山口朋樹, 高橋直人, 網谷賢一, 内田高浩, 岩原信一郎, 村澤恒男, 宗像一雄	簡易型睡眠時無呼吸モニターを用いた循環器障害を有する患者における呼吸障害の検討	第39回日本臨床生理学会総会	2002 11
高橋直人, 岩原信一郎, 宗像一雄, 山本彰1) {1)第二病院放射線科}	心電図同期SPECTのボーラマップを利用した左室壁運動の評価: 2D-echoとp-FASTの比較検討	第42回日本核医学会 総会	2002 11
鈴木雄一郎, 中込明裕, 神谷仁孝, 小林宣明, 宗像亮, 川崎修司, 山根吉人, 高野仁司, 青木聡, 浅井邦也, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫	新しい冠動脈硬化症評価法のExtent scoreは冠動脈形成術後の心事故予測に有用である	第16回日本冠疾患学会 学術集会	2002 12
掃部弘行, 高野雅充, 清宮康嗣, 岡松健太郎, 石橋史行, 稲見茂信, 酒井俊太, 高木元, 小川友裕, 横山真也1), 大場崇芳1), 星野公彦2), 今泉孝敬1), 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室, 2)付属病院内科第1}	冠動脈内視鏡を用いた梗塞責任病変の性状診断による急性心筋梗塞における血栓溶解療法の有用性の検討	第16回日本冠疾患学会	2002 12
稲見茂信, 小川友裕, 張静2), 石橋史行, 岡松健太郎, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 高木元, 野村敦宜, 酒井俊太, 佐野純子, 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室, 2)留学生}	Chlamydia pneumoniaeの感染が血漿中酸化LDL濃度に及ぼす影響	第16回日本冠疾患学会	2002 12
清宮康嗣, 高野雅充, 稲見茂信, 石橋史行, 岡松健太郎, 掃部弘行, 高木元, 酒井俊太, 畑典武1), 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	冠縮性狭心症における内皮障害の診断: エバンスブルー染色を用いて	第16回日本冠疾患学会	2002 12
張静1), 石橋史行, 岡松健太郎, 稲見茂信, 小川友裕, 高木元, 清宮康嗣, 掃部弘行, 佐野純子, 酒井俊太, 水野杏一 {1)留学生}	不安定冠動脈プラークの形成と冠危険因子の関係 血管内視鏡による検討	第16回日本冠疾患学会	2002 12
波井俊之1), 坪宏一1), 林明聡1), 川見典之1), 仁科大1), 龜山幹彦1), 高木啓倫1), 藤田進彦1), 山本剛1), 小野卓哉1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 神谷仁孝, 高野照夫 {1)付属病院集中治療室}	WPW症候群合併心房粗動による頻脈誘発性心筋症に, 準緊急Catheter Ablationを施行し, 心機能改善をみた1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第186回学術集会	2002 12
三船俊英, 小川友裕, 稲見茂信, 石橋史行, 岡松健太郎, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高木元, 野村敦宜, 佐野純子, 水野杏一	血管内視鏡をガイダンスとして冠動脈インターベンションを行った急性冠症候群の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第186回学術集会	2002 12
岡崎怜子1), 品田卓郎1), 村井綱児1), 岩本将人1), 阿部新1), 三船俊英1), 徳山権一1), 横山真也1), 大場崇芳1), 岡松健太郎, 野村敦宜, 水野杏一 {1)千葉北総病院集中治療室}	Timolol点眼薬が徐脈並びにうつ血性心不全の誘因と考えられた1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第186回学術集会	2002 12
雪吹周生, 石井健輔, 大塚俊昭, 笠神康平, 小谷英太郎, 鈴木健, 岸田浩	HMG-CoA還元酵素阻害薬(スタチン)による冠動脈ステント内新生内膜増殖抑制作用は脂質代謝改善作用と相関するか?	第23回日本臨床薬理学会年会	2002 12
谷口宏史, 小林義典, 森田典成, 岡崎怜子, 館岡克彦, 堀江格, 平澤泰宏, 淀川顯司, 阿部純子, 岩崎雄樹, 林明聡, 川口直美, 小原俊彦, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫, 新博次1) {1)多摩永山病院内科}	開心術後の複数の心房性リエントリー性頻拍をカテーテルアブレーションにて根治し得た1例	第15回臨床不整脈研究会	2003 1
龜山幹彦, 新博次, 山科育子, 遠藤康実, 鈴木健, 岸田浩, 長澤敏一	長期間持続した心房細動に対するアンジオテンシンII受容体ブロッカーの臨床効果	第37回日本成人病学会	2003 1

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
掃部弘行1), 高野雅充1), 清宮康嗣1), 岡松健太郎1), 石橋史行1), 稲見茂信1), 横山真也, 大場崇芳, 今泉孝敬, 畑典武, 水野杏一1) {1)千葉北総病院内科}	冠動脈内視鏡による急性心筋梗塞における発症12時間以内と12時間以降の血栓の性状の比較検討	第13回日本心血管画像動態学会	2003 1
張静1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 稲見茂信1), 清宮康嗣1), 掃部弘行1), 佐野純子1), 酒井俊太1), 横山真也, 高野雅充1), 上村竜太1), 水野杏一1) {1)千葉北総病院内科}	不安定冠動脈プラークの形成と冠危険因子の関係. 血管内視鏡による検討	第13回日本心血管画像動態学会	2003 1
清宮康嗣1), 小川友裕1), 稲見茂信1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 掃部弘行1), 高木元1), 野村敦宣1), 酒井俊太1), 佐野純子1), 畑典武, 水野杏一1) {1)千葉北総病院内科}	プラーク内容物流出後病変を伴った急性心筋梗塞2症例. PCIの必要性について	第13回日本心血管画像動態学会	2003 1
水野正之1), 三輪宗史1), 横山真也, 高野雅充2), 石橋史行2), 酒井俊太2), 笠原佳子3), 水野杏一2), 川村義彦1) {1)千葉北総病院中央画像センター, 2)同内科, 3)同看護部}	IVUSを用いたAMI症例のSTENT再狭窄予測の試み	第13回日本心血管画像動態学会	2003 1
大須賀勝, 張雪君, 加藤良人, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	非アルコール性脂肪性肝炎とアルコール性肝疾患の異同 (ASHとNASH: その比較と異同)	第23回アルコール医学・学生物学研究会学術集会	2003 2
淀川顕司, 森田典成, 高山英男, 小原俊彦, 小林義典, 加藤貴雄, 高野照夫	Brugada症候群における薬物負荷の及ぼす影響: 加算平均心電図を用いた検討	第13回体表心臓微小電位研究会	2003 2
高久多岐朗1), 榎本達治1), 松本亜紀1), 吾妻安良太1), 倉根修二1), 工藤翔二1), 大野忠明, 本間博, 亀井克彦2), 三上襄3) {1)日本医科大学内科第4, 2)千葉大学真菌医学研究センター系統・化学分野, 3)同センター高分子活性分野}	Rothia spによる感染性心内膜炎, 敗血症性肺塞栓症を併発した成人心室中隔欠損症の1例	第506回日本内科学会関東地方会	2003 2
山口朋植, 岩原信一郎, 内田高浩, 高橋直人, 網谷賢一, 竹永清人, 板倉潮人, 宗像一雄	簡易型睡眠時無呼吸モニターを用いた循環器障害を有する患者における呼吸障害の検討	日本医科大学医学会第109回例会	2003 2
今泉孝敬, 三船俊英, 品田卓郎, 徳山権一, 吉田博史, 横山真也, 大場崇芳, 畑典武, 松本尚1), 益子邦洋1) {1)千葉北総病院救命救急センター}	ドクターヘリシステムによる循環器救急疾患搬送の成果	日本医科大学医学会第109回例会	2003 2
藤田進彦1), 高木啓倫1), 亀山幹彦1), 林明聡1), 坪宏一1), 山本剛1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 高野照夫, 汲田伸一郎2) {1)付属病院集中治療室, 2)同放射線科}	ベッドサイドでの右心機能測定法: 右心カテーテル法とモバイルガンマカメラを用いた心プールシンチ法の比較	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
山本剛, 坪宏一, 藤田進彦, 小野寺英貴, 金徹, 佐藤直樹, 竹田晋浩, 田中啓治, 高野照夫1), 田島廣之2) {1)内科第1, 2)放射線科}	重症急性肺塞栓症に対する治療戦略: 第一選択はカテーテル血管内治療である	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
小野寺英貴, 藤谷仁, 金徹, 竹田晋浩, 菅沼恵美子, 斉藤好史, 田中啓治	敗血症に合併した肺血栓塞栓症の1例	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
金徹, 藤谷仁, 小野寺英貴, 竹田晋浩, 安武正弘, 宮下正夫1), 笹島耕二1), 田尻孝1), 小川龍2), 田中啓治 {1)外科学第1, 2)麻酔科学}	当初カテーテル感染が疑われた食道癌術後の悪性症候群の1例	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
藤田進彦, 高木啓倫, 亀山幹彦, 林明聡, 坪宏一, 山本剛, 佐藤直樹, 田中啓治, 高野照夫1), 汲田伸一郎2) {1)内科学第1, 2)放射線科学}	ベッドサイドでの右心機能測定法: 右心カテーテル法とモバイルガンマカメラを用いた心プールシンチ法の比較	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
進士誠一1), 水口義昭1), 清水哲也1), 山崎貴明1), 金徹, 竹田晋浩, 田中啓治, 田尻孝1) {1)外科学第1}	ICU患者に対する内視鏡下バルーン付経鼻栄養チューブ留置の試み	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
今泉孝敬, 星野公彦, 大場崇芳, 横山真也, 吉田博史, 品田卓郎, 三船俊英, 畑典武	重症急性肺血栓塞栓症における死亡例と生存例の検討: 救命のために必要不可欠なstrategyは何か	第30回日本集中治療医学会総会	2003 2
村井綱児, 岡崎怜子, 岩本将人, 阿部新, 吉川真由美, 小林宣明, 三船俊英, 品田卓郎, 徳山権一, 吉田博史, 横山真也, 大場崇芳, 今泉孝敬, 畑典武, 上川雄士1), 斎藤伸行1), 原義明1), 松本尚1), 望月徹1), 工廣紀斗司1), 益子邦洋1) {1)千葉北総病院救命救急センター}	心筋梗塞切迫破裂との鑑別が困難であった心タンポナーデを伴う化膿性心膜炎の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第187回学術集会	2003 2

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
小川友裕1), 野村敦宣1), 村井綱児1), 鈴木雄一朗1), 稲見茂信1), 石橋史行1), 岡松健太郎1), 清宮康嗣1), 掃部弘行1), 高野雅充1), 富村正登1), 小原俊彦, 佐野純子1), 水野杏一1) {1)千葉北総病院内科}	デジタル12誘導ホルター心電図にてST-T形態の特異な日内変動を証明しえたBrugada症候群の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第187回学術集会	2003 2
徳泉澄子, 青木聡, 福岡長知, 清野精彦, 高野照夫, 渋谷俊一1), 藤田進彦1), 田中啓治1) {1)集中治療室}	合併心奇形のない右側大動脈弓(鏡像型)に発症した解離性大動脈瘤(Stanford B)の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第187回学術集会	2003 2
高木啓倫1), 山本剛1), 林明聡1), 坪宏一1), 藤田進彦1), 小野卓哉1), 佐藤直樹1), 田中啓治1), 川嶋修司, 高山守正, 高野照夫 {1)集中治療室}	早期発症型HITTSによる難治性左主幹部血栓閉塞をきたし治療に難渋した不安定狭心症の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第187回学術集会	2003 2
宮本正章, 安武正弘, 高野仁司, 高木啓倫, 藤田進彦, 淀川順司, 太良修平, 汲田伸一郎1), 田近賢二2), 坂本篤裕3), 水野博司4), 落雅美5), 高山守正, 高野照夫 {1)内科第三, 2)付属病院放射線科, 3)同麻酔科, 4)同形成外科}	慢性末梢動脈閉塞症に対する自己骨髄幹細胞移植血管再生療法の有用性	第2回日本再生医療学会大会	2003 3
徳泉澄子, 青木聡, 福岡長知, 大須賀勝, 高野照夫, 五十嵐美和1), 亀山幹彦1), 金徹1) {1)集中治療室}	急性心筋梗塞に対するインターベンション後発症し, 皮膚生検で診断し得たコレステロール結晶塞栓症の1例	第507回日本内科学会関東地方会	2003 3
Fukuma N, Miura K, Aisu N, Tsuchida T, Mabuchi K, Takano T, Nakamura T1), Igarashi A1), Sugaya J1), Saito K1) {1)Physiological Examination Center}	Randomized crossover study of alteration of heart rate response to norepinephrine by pedaling rate during ergometer exercise in normal volunteer	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Fukuma N, Miura K, Kimura Y, Aisu N, Tsuchida T, Mabuchi K, Takano T, Igarashi A1), Nakamura T1), Sugaya J1), Saito K1) {1)Physiological Examination Center}	Influence of cardiac rehabilitation on oxidative stress marker and consumption of ascorbic acid in patients with myocardial infarction	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Fukumoto H, Seino Y, Tomita Y, Kumita S1), Cho K1), Nakagomi A, Takano T {1)Department of Radiology}	Elevated troponin T levels reflect myocardial damage and mitochondrial dysfunction in chronic adriamycin cardiomyopathy rats: Assessment by Tc99m-sestamibi wash-out analysis	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Hayashi M1), Tanaka K1), Katoh T, Takagi H1), Morita N, Iwasaki Y, Akutsu K1), Yamamoto T1), Fujita N1), Ono T1), Satoh N1), Kobayashi Y, Takano T {1)Intensive Care Unit}	Nifekalant facilitates transthoracic cardioversion in critically ill patients with hemodynamically unstable atrial fibrillation	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Inami S, Ogawa T, Ishibashi F, Okamatsu K, Kamon H, Seimiya K, Takano M, Ohba T1), Yokoyama S1), Takagi G, Nomura A, Sakai S, Sano J, Hata N1), Mizuno K {1)Hokusoh	Acute Coronary Syndrome Is Not a Local Vascular Accident but a Pancoronary Process	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Inami S1), Ogawa T1), Ishibashi F1), Okamatsu K1), Kamon H1), Seimiya K1), Takano M1), Ohba T1), Yokoyama S, Takagi G1), Nomura A1), Sakai S1), Sano J1), Hata N, Mizuno K1) {1)Int Med, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School}	The High Value of hs-CRP Represents the Existence of Plaque Disruption	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Inami S1), Ogawa T1), Ishibashi F1), Okamatsu K1), Kamon H1), Seimiya K1), Takano M1), Ohba T1), Yokoyama S, Takagi G1), Nomura A1), Sakai S1), Sano J1), Hata N, Mizuno K1) {1)Int Med, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School}	The Relationship between Intracoronary Thrombus and TIMI Frame Count after Percutaneous Coronary Interventions in Patients with Acute Coronary Syndromes	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Ishii K, Ibuki C, Ohtsuka T, Kasagami Y, Kodani E, Suzuki T, Kishida H, Unemoto T1), Murata K1), Yamamoto Y2), Ooyama Y2), Morikawa M2), Terasawa T2) {1)Department of Pharmacy, 2)Department of Pharmacotherapy, Tokyo University of Pharmacy and Life Science}	β -Blocker Treatment is Associated with Physical Aspect of Quality of Life in Out-of-Hospital Patients with Myocardial Infarction	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Iwasaki Y, Yamashita T1), Sekiguchi A1), Hatano S1), Sagara K1), Iinuma H1), Aizawa T1), Fu L-T1), Kobayashi Y, Katoh T, Takano T {1)The Cardiovascular Institute}	Glucocorticoid induces atrial arrhythmogenesis via modification of ion channel gene expression in rats: molecular evidence for stress-induced atrial fibrillation	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Kato K, Yasutake M, Jia D, Kusama Y, Takano T	Human urotensin II Activates the sarcolemmal Na^+/H^+ exchanger; Roles of mitogen-activated protein kinases and protein kinase C	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Kawashima S, Takayama M, Munakata R, Kamiya M, Kobayashi Y, Zreiqat J, Yoshikawa M, Yamane Y, Takano H, Aoki S, Asai K, Yasutake M, Nakagomi A, Kusama Y, Takano T	Relation between serum CK release and result of created myocardial necrosis in hypertrophic obstructive cardiomyopathy undergoing percutaneous myocardial alcohol ablation	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Miura K, Fukuma N, Kimura Y, Aisu N, Tsuchida T, Mabuchi K, Takano T	Improvement of norepinephrine and heart rate response to exercise after oral administration of ascorbic acid in patients with myocardial infarction	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Morita N, Kobayashi Y, Tateoka K, Horie T, Taniguchi H, Hirasawa Y, Abe J, Yodogawa K, Iwasaki Y, Hayashi M, Ohara T, Ohmura K, Hirayama Y, Atarashi H, Katoh T, Takano T	Relationship between structural characteristics of the crista terminalis and its transverse conduction in patients with atrial flutter	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Nakagomi A, Seino Y, Yamane Y, Takano H, Aoki S, Asai K, Yasutake M, Kusama Y, Takayama M, Takano T	Ongoing myocardial damage in patients with chronic heart failure is strongly related to upregulated monocyte proinflammatory cytokine production	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Ogata K1), Seino Y, Sato N2), Yasutake M, Takayama M, Tanaka K2), Takano T {1)Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital, 2)Coronary Care Unit}	Semi-quantitative positivity in whole-blood rapid troponin-T test identifies higher risk patients for cardiac emergency triage	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Ogawa A, Seino Y, Yamashita T, Fukushima M, Ogata K, Yasutake M, Takano T	Difference in elevation of N-terminal Pro-BNP and conventional cardiac markers between patients with ST-elevation versus Non-ST-elevation acute coronary	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Ohno T, Honma H, Munakata R, Yoshikawa M, Takayama M, Takano T	The new index of regional left ventricular function using tissue doppler imaging in patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Ohtsuka T, Ibuki C, Ishii K, Kasagami Y, Kodani E, Suzuki T, Kishida H	Fasudil, a Rho-Kinase Inhibitor, Has Potent Vasodilator Effect at Diseased Coronary Segments	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Okamatsu K1), Inami S1), Ishibashi F1), Kamon H1), Seimiya K1), Takagi G1), Yokoyama S, Ohba T1), Sakai S1), Nomura A1), Sano J1), Hata N, Mizuno K1) {1)Int Med, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School}	The Relationship between Intracoronary Thrombus and TIMI Frame Count after Percutaneous Coronary Interventions in Patients with Acute Coronary Syndromes	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Okamatsu K1), Inami S1), Kamon H1), Seimiya K1), Ishibashi F1), Takagi G1), Yokoyama S, Ohba T1), Sakai S1), Nomura A1), Sano J1), Hata N, Mizuno K1) {1)Int Med, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School}	Angioscopic Findings in Patients with Non-ST Elevation Acute Coronary Syndromes (NSTEMI-ACS) According to Troponin T Status	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Ono T, Saitoh H, Kobayashi Y, Yap Y-G1), Gang Y1), Knatkova K1), Lee T2), Tanaka K, Katoh T, Takano T, Malik M1) {1)London University, St. George's Hospital, 2)Yashio Heart Clinic}	Can the T-wave morphology analysis get into the same dilemma as QT dispersion?	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Sakai S, Chaitman Bernard R {1)St.Louis University School of Medicine}	Increasing the Pre-Test Likelihood Estimate for Non-ST Elevation Myocardial Infarction in Acute Coronary Syndrome: Results from the GUARDIAN Trial	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Sakai S, Chaitman Bernard R1) {1)St.Louis University School of Medicine}	Predicting Six-Month Mortality in Acute Coronary Syndromes: Result from the GUARDIAN Trial	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Sakai S1), Mizuno K1), Yokoyama S, Ohba T1), Takagi G1), Seimiya K1), Kamon H1), Ishibashi F1), Inami S1), Ogawa T1), Imaizumi T, Hata N {1)Int Med, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School}	The Incidence of Complications Associated with Percutaneous Coronary Angioscopy. From the Experiences of 1015 Procedures	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Seimiya K, Takano M, Inami S, Okamatsu K, Kamon H, Sakai S, Nomura A, Sano J, Mizuno K	New Method to Detect Endothelial Injury in Patients with Vasospastic Angina: Evans Blue Dye	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Seino Y, Ogata K, Yasutake M, Ogawa A, Yamashita T, Fukushima M, Takano T	Elevation of N-terminal Pro-BNP in patients with early phase acute myocardial infarction: Unique diagnostic value and pathophysiological implication	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Takahashi H, Seino Y, Fukumoto H, Shimada T1), Takano T {1)Department of Biochemistry and Molecular Biology}	AAV vector-mediated muscle directed gene therapy for Fabry disease: Sequential evaluation on cardiovascular and renal system	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Takayama H1), Katoh T {1)Division of Cardiology, Tohsei National Hospital}	QRS wave alternans obtained by wavelet analysis is one of the mechanisms of life threatening ventricular tachyarrhythmias	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Takayama H1), Katoh T {1)Division of Cardiology, Tohsei National Hospital}	High resolution wavelet analysis of body surface ECG for prediction of ventricular tachyarrhythmia in patients with hypertrophic cardiomyopathy	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Tateoka K, Iwasaki Y, Ono T, Kobayashi Y, Taniguchi H, Horie T, Abe J, Hirasawa Y, Yodogawa K, Morita N, Hayashi M, Kawaguchi N, Ohara T, Ohmura K, Hirayama Y, Saitoh H, Katoh T, Takano T	Dramatically induced of sensitivity for head-up tilt test under alcohol ingestion	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Tetsuoh-Tsukada Y, Yasutake M, Kusama Y, Takano T	Thrombin-induced vascular reactivity is modulated by NO release in coronary	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Toba M1), Kumita S2), Cho K2), Kanazawa H, Ohtsuka T, Ibuki C, Ishii K, Tokuyama K, Suzuki T, Kishida H, Kumazaki T1), Takano T3) {1)Department of Radiology, 3)The First Department of Internal Medicine}	Does Post-Stress Stunning Continue for 30 Minutes after Exercise? -Clinical Value of Gated SPECT Imaging Immediately after Exercise Stress	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Tokuyama K, Sato N1), Kamiya M, Yamamoto E, Munakata R, Tanaka K1), Takano T {1)Intensive and Coronary Care Unit}	Effects of central sympathoinhibition via imidazoline receptor activation on the progression of heart failure in conscious beagles	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Tsuchida T, Fukuma N, Aisu N, Miura K, Kimura Y, Mabuchi K, Takano T	Impaired response of norepinephrine to exercise as a cause of chemoreflex hypersensitivity in chronic heart failure	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3
Uemura R1), Kanazawa H1), Yamamoto E1), Tokita Y1), Tanabe J1), Takayama H1), Yokoyama H1), Mizuno K, Ohaki Y2) {1)Tosei National Hospital, 2)Hokusoh 病理}	Compared between Uncommon Histological and Morphological Findings in Stable and Unstable Coronary Artery Disease	第67回日本循環器学会学術集会	2003 3

学会発表

演 者 名	演 題 名	学 会 名	年 月
Yamamoto T1), Takagi H1), Akutsu K1), Fujita N1), Sato N1), Tanaka K1), Yasutake M, Nakagomi A, Kusama Y, Takayama M, Takano T {1)Intensive Care Unit and Coronary Care Unit }	The revised criteria for acute myocardial infarction: anything better or nothing worse?	第67回日本循環器学会 会学術集会	2003 3
Yamamoto T1), Takagi H1), Nishina D1), Hayashi M1), Akutsu K, Fujita N1), Ono T1), Satoh N1), Tanaka K1), Yasutake M, Takano T, Tajima H2), Kumazaki T2) {1)Intensive Care and Coronary Care Unit, 2)Deaprtment of Radiology}	Difference in the clinical course of acute massive pulmonary embolism: In-hospital vs out-hospital onset	第67回日本循環器学会 会学術集会	2003 3
Yodogawa K, Morita N, Takayama H, Ohara T, Tateoka K, Taniguchi H, Horie T, Hirasawa Y, Abe J, Iwasaki Y, Hayashi M, Kawaguchi N, Ohmura K, Kobayashi Y, Katoh T, Takano T	Abnormal high frequency potentials in Brugada syndrome detected by wavelet transformed electrocardiogram	第67回日本循環器学会 会学術集会	2003 3

編集後記

若い医師のマイナー指向が強まる中、平成15年度も個性豊かな活気に溢れる、勤勉で優秀な15名もの新入医局員を迎えることができました。これで現役医局員は200名を超えました。今年は診療報酬包括化、オーダーメイド医療実現化プロジェクトへの参加、オーダーリングシステム導入など、変革と激動を肌で感じる一年となりました。さらに来年5月からは新研修医制度が開始されることとなり、各附属病院の勤務医数不足が一層深刻化することが予想されます。そのため引き続き医局人事では皆様に大変ご迷惑をおかけいたしますが何卒、よろしくお願い申し上げます。また、関連病院として長年お世話になってまいりました東京白十字病院、鹿島白十字総合病院への医師派遣は平成15年秋をもちまして中止となりました。

平成15年8月でこれまで医局秘書として勤務いただいた和田真理子さんが退職され、新たに小暮知子さんが勤務することになりました。よろしくお願いいたします。最後になりましたが本号刊行にあたり、多忙な秘書業務のかたわら原稿整理をしてくださいました秘書の吉田さん、小暮さん、また短時間のうちに原稿をお寄せいただきました先生方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成15年12月6日

医局長 平山悦之

「再発・再燃を繰り返す 逆流性食道炎の維持療法」に8週を超えて 投与可能となりました。(錠10mg)

指定医薬品
プロトンポンプ阻害剤

[薬価基準収載]

パリエット® 錠10mg 錠20mg

〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉

【禁 忌】(次の患者には投与しないこと)

※本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】

胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、
Zollinger-Ellison症候群

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

本剤の投与が胃癌による症状を隠蔽することがあるので、悪性でないことを確認のうえ投与すること。

※【用法・用量】

●パリエット錠10mg

○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群

通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして1日1回10mgを経口投与するが、病状により1日1回20mgを経口投与することができる。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。

○逆流性食道炎

通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして1日1回10mgを経口投与するが、病状により1日1回20mgを経口投与することができる。なお、通常、8週間までの投与とする。さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては1日1回10mgを経口投与する。

※〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の投与にあたっては、病状が著しい場合及び再発性・難治性の場合に1日1回20mgを投与することができる(再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法は除く)。

●パリエット錠20mg

通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして1日1回10mgを経口投与するが、病状により1日1回20mgを経口投与することができる。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。

※〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

(1)本剤の投与にあたっては、病状が著しい場合及び再発性・難治性の場合に1日1回20mgを投与することができる。(2)再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法には1日1回20mgの投与を行わないこと。

※【使用上の注意】

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1)薬物過敏症の既往歴のある患者 (2)肝障害のある患者(肝硬変患者で精神神経系副作用(副作用)の項参照)の報告がある。(3)高齢者(添付文書「高齢者への投与」の項参照)

2.重要な基本的注意

●パリエット錠10mg ※(1)治療にあたっては経過を十分に観察し、病状に応じ治療上必要最小限の使用にとどめること。 ※(2)胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍については、長期の使用経験が十分でないため、維持療法には用いないことが望ましい。 ※(3)逆流性食道炎の維持療法については、再発・再燃を繰り返す患者に対し行うこととし、本来、維持療法の必要のない患者に行うことのないよう留意すること。また、食事制限、アルコール摂取制限等の生活習慣の改善が図られ、寛解状態が長期にわたり継続する場合には休業を考慮すること。なお、維持療法中は定期的に内視鏡検査を実施するなど観察を十分に行うことが望ましい。

●パリエット錠20mg ※(1)治療にあたっては経過を十分に観察し、病状に応じ治療上必要最小限の使用にとどめること。 ※(2)胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍については、長期の使用経験は十分でないため、維持療法には用いないことが望ましい。

3.相互作用

本剤の代謝には肝代謝酵素チトクロームP450C19(CYP2C19)及び3A4(CYP3A4)の関与が認められている(添付文書「薬物動態」の項参照)。

※併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジゴキシ	ジゴキシンの血中濃度が上昇することがある。	胃内pHが上昇することにより、ジゴキシンの吸収を促進する。
水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム含有の制酸剤	本剤単独投与に比べ制酸剤同時服用、制酸剤投与1時間後服用で平均血漿中濃度曲線下面積がそれぞれ8%、6%低下したとの報告がある。	

4.副作用

総症例1,434例中、55例(3.84%)の副作用が報告されている。また、113例(7.88%)の臨床検査値異常が報告されている。(パリエット錠10mgの逆流性食道炎の維持療法に関する用法・用量追加承認時)なお、以下の副作用において「頻度不明」は自発報告で認められたものである。

(1)重大な副作用

※1)ショック、アナフィラキシー様症状 ショック(頻度不明)、アナフィラキシー様症状(頻度不明)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 ※2)無顆粒球症、血小板減少、汎血球減少 無顆粒球症(頻度不明)、血小板減少(0.1~5%未満)、汎血球減少(頻度不明)があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 3)肝機能障害 肝機能障害(0.1~5%未満)、黄疸(頻度不明)があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 4)間質性肺炎 間質性肺炎(0.1%未満)があらわれることがあるので、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等が認められた場合には、速やかに胸部X線等の検査を実施し、本剤の投与を中止するとともに、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

(2)重大な副作用(類薬)

※類薬(オメプラゾール又はランソプラゾール)で以下の副作用が報告されている。 ※1)溶血性貧血 溶血性貧血があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 ※2)中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 ※3)視力障害 視力障害があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 ※4)間質性腎炎 間質性腎炎があらわれることがあるので、腎機能検査(BUN、クレアチニン等)に注意し、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 ※5)低ナトリウム血症 低ナトリウム血症があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 ※6)横紋筋融解症 筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。

※2003年7月改訂

●詳細は添付文書等をご参照ください。また、禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

h/e
ヒューマン・ヘルスケア企業

Eisai

エーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
http://www.eisai.co.jp

製品に関するお問い合わせ：お客様ホットライン室
☎0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

PT0307-3 2003年7月作成

おとして、抑える。

確かな降圧へのサイン Play Coniel

高血圧症・狭心症治療剤(持続性Ca拮抗薬)

劇薬/指定医薬品/要指示医薬品*

〈薬価基準収載〉

コニール錠 2・4・8

Coniel Tablets

塩酸ベニジピン製剤2mg・4mg・8mg錠

*注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

1 電位依存性のCaチャネルのDHP結合部位に主としてMembrane approachで強力に結合し、細胞内へのCa²⁺流入を抑制する。

2 1日1回投与で、確実に安定した降圧効果を示す。

3 狭心症に対しても優れた効果が期待できる。

4 主な副作用は、末梢血管拡張作用に基づく動悸、顔面紅潮、ふらつき、頭重・頭重感、頭痛等である。

* 4mg錠は二分割しやすいSnap Tap錠です。

【効能・効果】

高血圧症、腎実質性高血圧症
狭心症

【用法・用量】

1. 高血圧症、腎実質性高血圧症

通常、成人には塩酸ベニジピンとして1日1回2~4mgを朝食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、効果不十分な場合には、1日1回8mgまで増量することができる。
ただし、重症高血圧症には1日1回4~8mgを朝食後経口投与する。

2. 狭心症

通常、成人には塩酸ベニジピンとして1日4mgを1日2回朝・夕食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- 1) 心原性ショックの患者[症状が悪化するおそれがある。]
- 2) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 過度に血圧の低い患者
- 2) 重篤な肝機能障害のある患者[肝機能障害が悪化するおそれがある。]
- 3) 高齢者

2. 重要な基本的注意

- 1) カルシウム拮抗剤の投与を急に中止したとき、症状が悪化した症例が報告されているので、本剤の休薬を要する場合は徐々に減量し、観察を十分に行うこと。
また、患者に医師の指示なしに服薬を中止しないように注意すること。
- 2) 本剤の投与により、過度の血圧低下を起こし、一過性の意識消失等があらわれるおそれがあるので、そのような場合には減量又は休薬するなど適切な処置を行うこと。
- 3) 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

- 1) 他の降圧剤 2) ジゴキシン 3) シメチジン 4) リファンピシン
- 5) グレープフルーツジュース

4. 副作用

1) 重大な副作用

肝機能障害、黄疸(頻度不明): AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害や黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

*その他の「使用上の注意」は製品添付文書をご参照ください。



製造発売元

〔資料請求先〕

協和発酵工業株式会社

東京都千代田区大手町1-6-1

<http://iyaku.kyowa.co.jp/>

新発売



Long-Acting Ca channel blocker

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照〕
2. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
3. アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ミコナゾール等)、HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、サキナビル、インジナビル等)を投与中の患者〔「相互作用」の項参照〕

効能又は効果

高血圧症

用法及び用量

通常、成人にはアゼルニジピンとして8~16mgを1日1回朝食後経口投与する。なお、1回8mgあるいは更に低用量から投与を開始し、症状により適宜増減するが、1日最大16mgまでとする。

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 重篤な肝・腎機能障害のある患者〔本剤は肝臓で代謝される。また一般に重篤な腎機能障害のある患者では、降圧に伴い腎機能が低下する可能性がある。〕
- (2) 高齢者〔「高齢者への投与」の項参照〕

2. 重要な基本的注意

- (1) カルシウム拮抗剤の投与を急に中止したとき、症状が悪化した症例が報告されているので、本剤の休薬を要する場合は徐々に減量し、観察を十分に行うこと。また、患者に医師の指示なしに服薬を中止しないように注意すること。
- (2) 本剤の投与により、まれに過度の血圧低下を起こすおそれがあるので、そのような場合には減量又は休薬するなど適切な処置を行うこと。
- (3) 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等、危険を伴う機械を操作する際には注意させること。

3. 相互作用

本剤は、主としてチトクロームP450 3A4(CYP3A4)で代謝される〔「薬物動態」の項参照〕。

(1) 併用禁忌(併用しないこと)

●アゾール系抗真菌剤 イトラコナゾール(イトリゾール)、ミコナゾール(フロリード)等 ●HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノービア)、サキナビル(インビラーゼ)、インジナビル(クリキシパン)等

(2) 併用注意(併用に注意すること)

●他の降圧剤 ●ジゴキシン ●シメチジン ●メシル酸イマチニブ ●メシル酸デラビルジン ●マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン、クラリスロマイシン等 ●シンバスタチン ●シクロスポリン ●ベンゾジアゼピン系薬剤 ジアゼパム、ミダゾラム、トリアゾラム等 ●経口黄体・卵胞ホルモン 経口避妊薬等 ●クエン酸タンデスビロン ●リファンピシン、フェニトイン、フェノバルビタール ●グレープフルーツジュース

4. 副作用

総症例1,103例中副作用(自覚症状及び臨床検査値異常)の報告されたものは159例(14.4%)であった。その主なものは、頭痛・頭重感(1.1%)、動悸(0.6%)、立ちくらみ(0.5%)、便秘(0.5%)、ふらつき(0.5%)、顔面紅潮(0.5%)、ALT(GPT)上昇(2.5%)、AST(GOT)上昇(1.7%)、LDH上昇(1.4%)、尿酸上昇(1.4%)であった。なお、65歳以上の高齢者での副作用は383例中48例(12.5%)であった。〔承認時〕

	副作用の頻度		
	1~3%未満	0.5~1%未満	0.5%未満
過敏症 ^(注)			痒疹、発疹
精神神経系	頭痛・頭重感	立ちくらみ、ふらつき	めまい、浮遊感
消化器		便秘	
循環器		動悸、顔面紅潮、ほてり	倦怠感
血液			好酸球増多
肝臓	ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、LDH上昇		ALP上昇、総ビリルビン上昇
腎臓		BUN上昇	
その他	尿酸上昇	総コレステロール上昇、CK(CPK)上昇、カリウム上昇	カリウム低下、尿硝子円柱増加

注) 投与を中止すること。また、類薬では光線過敏症が報告されている。

●上記以外の使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。

持続性Ca拮抗剤



カルブロック錠 8mg 16mg

薬価基準収載

指定医薬品 要指示医薬品・注意—医師等の処方せん・指示により使用すること
一般名/アゼルニジピン

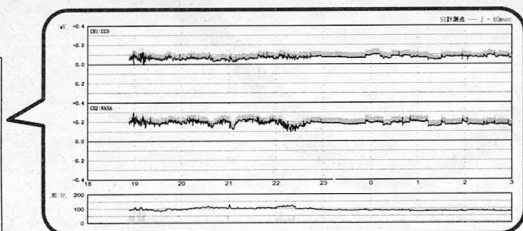
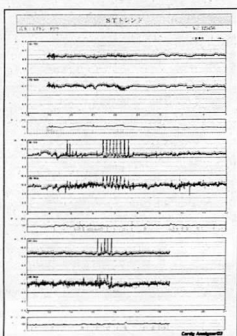
製造販売元(資料請求先)
三共株式会社
SANKYO 〒103-8426 東京都中央区日本橋本町3-5-1

技術提携
宇部興産株式会社

スズケンホルター心電図解析センターは、 信頼性の高い解析サービスを提供!

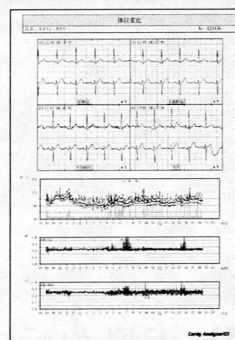
虚血の判断に、より多くの情報を提供

STトレンド



STレベル・スロープのトレンドを出力します。24時間のレベル・スロープと運動強度を1ページに同時表示しますのでST変化の確認が容易です。

体位変化



行動記録メモで確認した体位記録時刻の波形を出力します。合わせて24時間スケールの心拍数・STレベルを表示します。ST部のより正しい診断にご利用ください。

異常部拡大波形を臨床検査技師が選択し提供

圧縮心電図波形



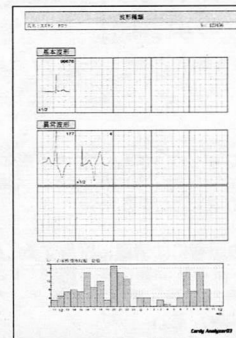
1ページ1時間の波形を1分/行で出力します。

実時間心電図記録



異常部を圧縮波形より、専任の臨床検査技師が選択し出力。不整脈診断のためのP波や虚血診断でのST部をご確認いただけます。

波形種類



記録された全心拍を基本(正常)波形、異常波形に分類し、その数を出力します。多源性の診断にご利用いただけます。

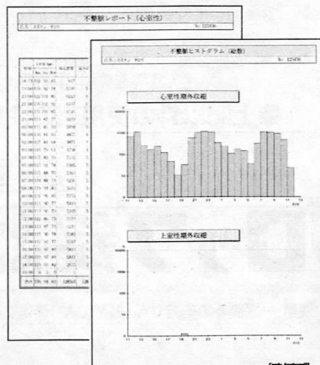
不整脈診断、ペースメーカー機能評価に有用な解析結果

テキストレポート



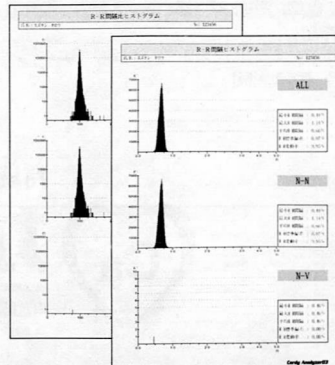
不整脈総数、連発数、R-R間隔延長及びST変化の最高/最低のレベルが解ります。また、患者情報と解析条件も出力されます。

不整脈レポート/不整脈ヒストグラム



1時間毎の不整脈数と心拍数、R-R間隔延長を一覧表示します。数値的、視覚的に把握できますので薬効判定等に有用です。

R-R間隔比ヒストグラム/R-R間隔ヒストグラム



自律神経機能評価やRonTの予測に有用なR-R間隔、多源性心室性期外収縮の判断に活用できるR-R間隔比が出力されます。

テレホンカードサイズ世界最小クラスのデジタルホルター心電計

Compact Digital Holter

Cardy 203/301

テレホンカードサイズ



承認番号 21200BZZ00234000

承認番号 21200BZZ00233000

テレホンカードサイズ
軽さ72g(電池含む)
薄さ15mm

24時間全波形 (Cardy203は2チャンネル)
(Cardy301は3チャンネル)を
デジタル記録

加速度センサによる
運動強度情報を記録可能

ペースメーカーパルス検出可能

3チャンネル記録に対応 (Cardy301)

デジタル記録ホルター心電図解析システム

Cardy Analyzer03

デジタルホルター心電計Cardyシリーズで記録したデータを解析

最大100人分の連続解析(バッチ解析)が可能

スピーディな操作、高速解析処理を実現

DVD-RAMディスク(両面9.4Gbyte)にデータ保管が可能



承認番号 20600BZZ00768000

Cardy Controller

記録前に波形モニタ可能(赤外線通信)

記録後に患者イベントや
任意時刻の指定により波形確認可能



承認番号 21200BZZ00235000

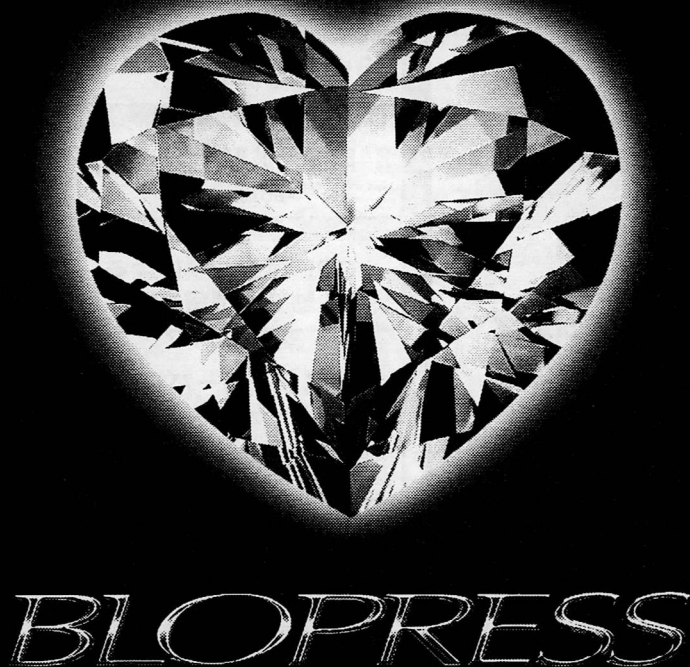
SUZUKEN

製造発売元

株式会社 スズケン

ケンツ事業部

名古屋市東区東片端町8番地 〒461-8701
TEL (052) 950-6325 FAX (052) 962-7440
E-mail : kenz@suzuken.co.jp



持続性アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤

指定医薬品、要指示医薬品（注意・医師等の処方せん・指示により使用すること）

ブロプレス錠

2・4・8・12 ■薬価基準：収載

（カンデサルタン シレキセチル錠）

禁忌（次の患者には投与しないこと）

- (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

効能・効果

高血圧症、腎実質性高血圧症

用法・用量

通常、成人には1日1回カンデサルタンシレキセチルとして4～8mgを経口投与し、必要に応じ12mgまで増量する。ただし、腎実質性高血圧症又は腎障害を伴う高血圧症の場合には、1日1回2mgから投与を開始し、必要に応じ8mgまで増量する。

使用上の注意

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1) 両側性腎動脈狭窄のある患者又は片腎で腎動脈狭窄のある患者
 - (2) 高カリウム血症の患者
 - (3) 重篤な腎障害のある患者
 - (4) 肝障害のある患者
 - (5) 薬剤過敏症の既往歴のある患者
 - (6) 高齢者

●重要な基本的注意

(1) 両側性腎動脈狭窄のある患者又は片腎で腎動脈狭窄のある患者においては、腎血流量の減少や糸球体ろ過圧の低下により急速に腎機能を悪化させるおそれがあるので、治療上やむを得ないと判断される場合を除き、使用は避けること。
 (2) 高カリウム血症の患者においては、高カリウム血症を増悪させるおそれがあるので、治療上やむを得ないと判断される場合を除き、使用は避けること。また、腎機能障害、コントロール不良の糖尿病等により血清カリウム値が高くなりやすい患者では、高カリウム血症が発現するおそれがあるので、血清カリウム値に注意すること。
 (3) 本剤の投与により、まれに急激な血圧低下を起こすおそれがあるので、特に次の患者に投与する場合は、少量より開始し、増量する場合は患者の状態を十分に観察しながら徐々に行うこと。
 ア. 血液透析中の患者 イ. 厳重な減塩療法中の患者 ウ. 利尿降圧剤投与中の患者（特に最近利尿降圧剤投与を開始した患者）
 (4) 降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。
 (5) 手術前24時間は投与しないことが望ましい。

●相互作用：併用注意（併用に注意すること）

カリウム保持性利尿剤
 スピロノラクトン、トリアムテレン 等
 カリウム補給剤
 利尿降圧剤
 フロセミド、トリクロルメチアジド 等

●副作用

承認時までの調査では928例中226例（24.4％）に、市販後の使用成績調査（2001年12月時点）では2,936例中116例（4.0％）に臨床検査値の異常を含む副作用が認められている。以下の副作用は上記の調査あるいは自発報告等で認められたものである。

重大な副作用（いずれも頻度不明）

- 1) 血管浮腫
- 2) 失神、意識消失
- 3) 急性腎不全
- 4) 高カリウム血症
- 5) 肝機能障害、黄疸
- 6) 無顆粒球症
- 7) 横紋筋融解症
- 8) 間質性肺炎

■使用上の注意の詳細については、添付文書をご参照ください。



（資料請求先）

武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
<http://www.takeda.co.jp/>

(0308)

▶ジャーナルプラザ

高血圧
 糖尿病

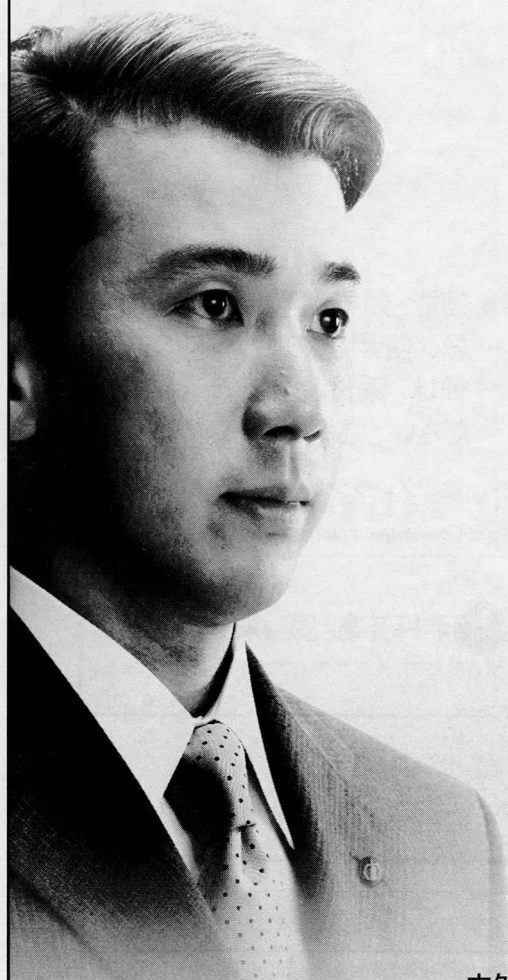
「武田ホームページ」最新海外文献情報

<http://www.takedamed.com>

インターネットで高血圧・糖尿病領域の最新海外文献情報をご覧頂けます。

「医療関係者向け情報」のコンテンツ「ジャーナルプラザ」に掲載しております。

ユーザー登録はサイト申請画面から、または弊社担当MRIにお申し込み下さい。



「心」豊かなQOLを願っています。



中外製薬の循環器領域製品ラインナップ

狭心症治療剤
指定医薬品、要指示医薬品*

シグマート錠 2.5mg・5mg
ニコランジル製剤

薬価基準収載

徐放性不整脈治療剤
劇薬、指定医薬品、要指示医薬品*

リスモダン R錠 150mg
リン酸ジソピラミド錠

薬価基準収載

アンジオテンシン変換酵素阻害剤
指定医薬品、要指示医薬品*

プレラン 0.5mg錠・1mg錠
トランドラプリル製剤

薬価基準収載

ジギタリス配糖体製剤
劇薬、指定医薬品

ジゴシン錠 0.125mg・0.25mg
日本薬局方ジゴキシン錠

薬価基準収載

強心配糖体製剤
劇薬、指定医薬品

ラニラピッド錠 0.05mg・0.1mg
メチルジゴキシン製剤

薬価基準収載

高血圧・狭心症・不整脈治療剤
劇薬、指定医薬品、要指示医薬品*

アセタノールカプセル 100・200
塩酸アセプロロール製剤

薬価基準収載

「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、
「禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照下さい。 ※注意—医師等の処方せん・指示により使用すること



中外製薬

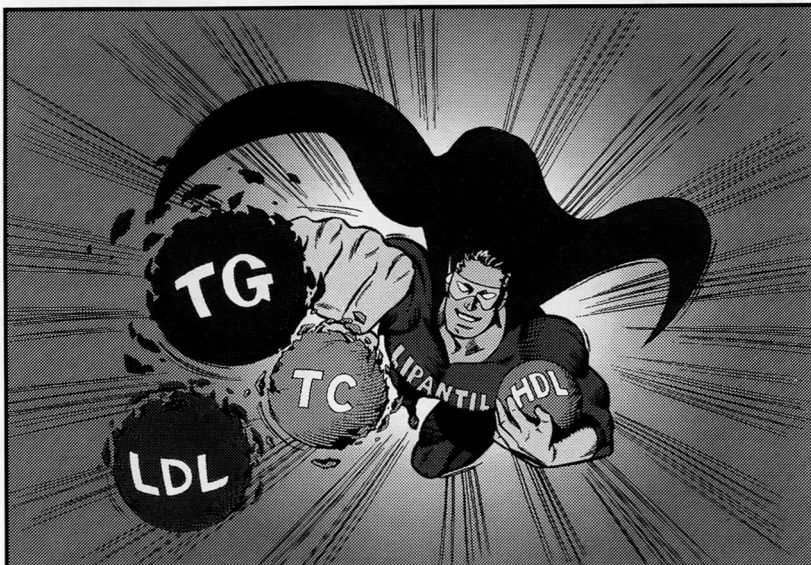
〔資料請求先〕

〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-9



ロシュグループ

2003年10月作成



高脂血症治療剤 (フェノフィブラートカプセル)

指定医薬品

パンチル[®] カプセル100・150

LIPANTIL[®]
●薬価基準収載

- 効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等の詳細は、添付文書をご参照ください。

〔製造元〕 グレラン製薬株式会社
東京都羽村市栄町3丁目4-3
提携 Laboratoires FOURNIER S.A. (France)

発売元 (資料請求先)
 科研製薬株式会社
〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28-8

(2001年10月作成) 01X



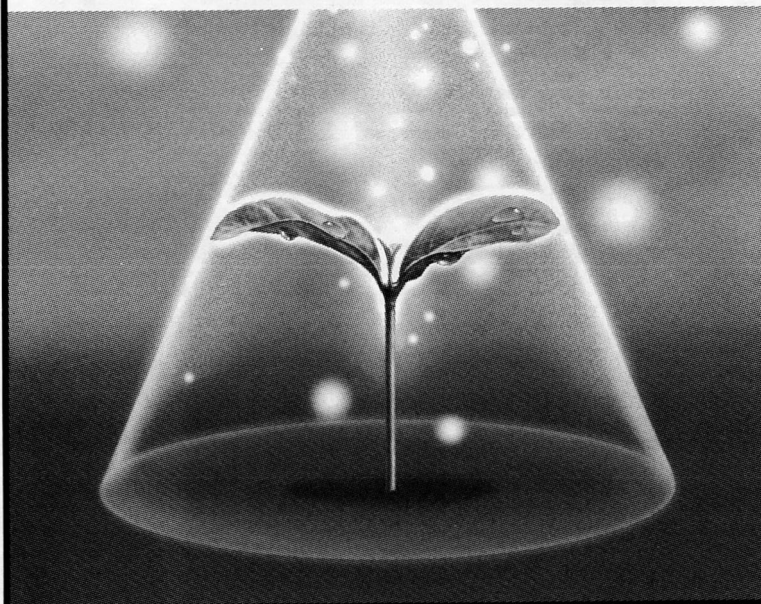
褥瘡・皮膚潰瘍治療剤

指定医薬品・要指示医薬品※

※注意—医師等の処方せん・指示により使用すること。

フィブラスト[®]スプレー250・500

FIBLAST[®]spray 250・500 トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤 薬価基準収載



- 効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照ください。

製造発売元 (資料請求先)
 科研製薬株式会社
〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28-8

(2002年2月作成) 01F2

新 発 売

薬価基準収載



●効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造：日本チバガイギー株式会社

HMG-CoA還元酵素阻害剤
ローコール®錠 10・20・30mg
指定医薬品 **LOCHOL® フルバスタチンナトリウム**

薬価基準収載

発売販売

ノバルティス ファーマ株式会社

東京都港区西麻布4-17-30

NOVARTIS

販売

田辺製薬株式会社

大阪市中央区道修町3丁目2番10号

2003年6月作成



NOVARTIS

**THE ARB
DIOVAN**

選択的AT₁受容体ブロッカー

薬価基準収載

ディオバン®錠 80mg 40mg
指定医薬品 要指示医薬品 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること
DIOVAN® バルサルタン錠

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については、製品添付文書をご覧ください。

製造：日本チバガイギー株式会社

販売

(資料請求先)

ノバルティス ファーマ株式会社

東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

NOVARTIS DIRECT

☎0120-003-293

受付時間：月～金 9:00～18:00

www.diovan.jp

2003年7月作成

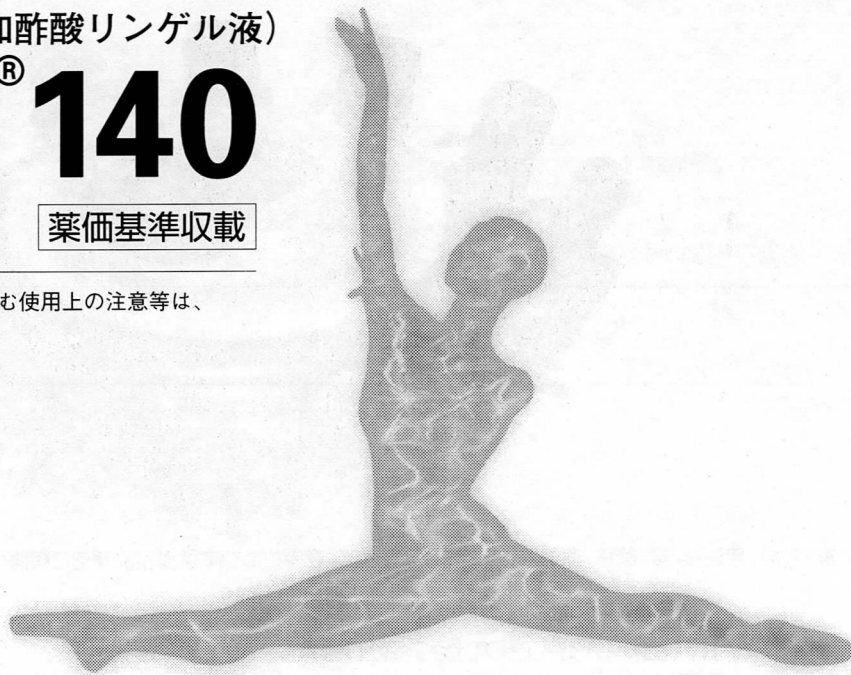
電解質輸液(1%ブドウ糖加酢酸リンゲル液)

フィジオ® 140

Physio® 140

薬価基準収載

◇効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等は、
製品添付文書をご参照ください。



発売元

大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

製造元

株式会社 **大塚製薬工場**
鳴門市撫養町立岩字芥原115

資料請求先

株式会社 **大塚製薬工場** 医薬情報部
〒772-8601 鳴門市撫養町立岩字芥原115

〈'02.03作成〉

ジャズサクソフォーン奏者/渡辺貞夫
撮影/坂田栄一郎



アンジオテンシン変換選択性阻害剤 薬価基準収載

タナトリル錠^{2.5}₅₁₀

Tanatril® (塩酸イミダプリル製剤)

指定医薬品 要指示医薬品^注 注) 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、
添付文書をご参照ください。

<資料請求先>



田辺製薬株式会社

大阪市中央区道修町3丁目2番10号
<http://www.tanabe.co.jp/>

2002年12月作成

SCHERING

〈薬価基準収載〉

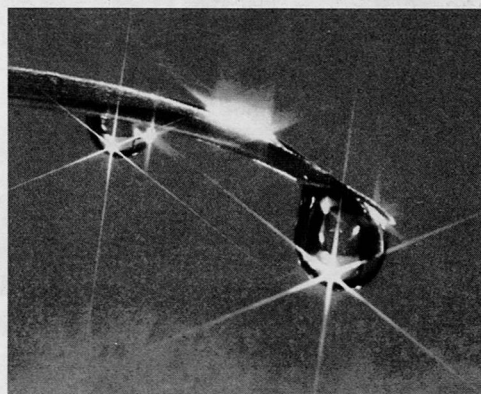
劇薬・指定医薬品・要指示医薬品^注

不整脈治療剤（塩酸ニフェカレント注射剤）

シンビット[®] 注

Shinbit[®] Inj.

注）注意—医師等の処方せん・指示により使用すること



■効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む
使用上の注意等及び承認条件については
添付文書をご熟読下さい。

■警告、禁忌を含む使用上の注意の改訂には
ご留意下さい。

製造発売 **日本シエーリング株式会社**

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号

2001年2月作成



J-LIT
Japan Lipid Intervention Trial

HPS
Heart Protection Study

4S
Scandinavian Simvastatin Survival Study



HMG-CoA還元酵素阻害剤 **20/10/5**
リボバス錠
指定医薬品（シンバスタチン錠）〈薬価基準収載〉

〔資料請求先〕
万有製薬株式会社
〒103-8416 東京都中央区日本橋本町2-2-3
ホームページ <http://www.banyu.co.jp/>

本剤のご使用にあたり、[禁忌]、[効能・効果]、[用法・用量]、[使用上の注意]等については、製品添付文書をご参照ください。

®Trademark of Merck & Co., Inc. Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

2003年10月作成
09-04ZCR03-J-3738J

Boehringer
Ingelheim

Yamanouchi

MICARDIS
TEL MISARTAN

おかげさまで
1周年
発売

'04年1月1日より、
投与期間制限が解除されました。



胆汁排泄型持続性AT₁受容体ブロッカー (テルミサルタン製剤)

ミカルデイス[®] 20mg
カプセル 40mg

指定医薬品、要指示医薬品（注意—医師等の処方せん・指示により使用すること）

薬価基準収載

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

発売元 **山之内製薬株式会社**
〔資料請求先〕〒103-8411 東京都中央区日本橋本町2-3-11

製造元 **日本ベーリンガー・インゲルハ임株式会社**
〒666-0193 兵庫県川西市矢間3-10-1

資料請求先：学術情報部
〒101-0064 東京都千代田区錦糸町2-8-8 住友不動産錦糸町ビル13階
03/12作成 A4×B.01

創る

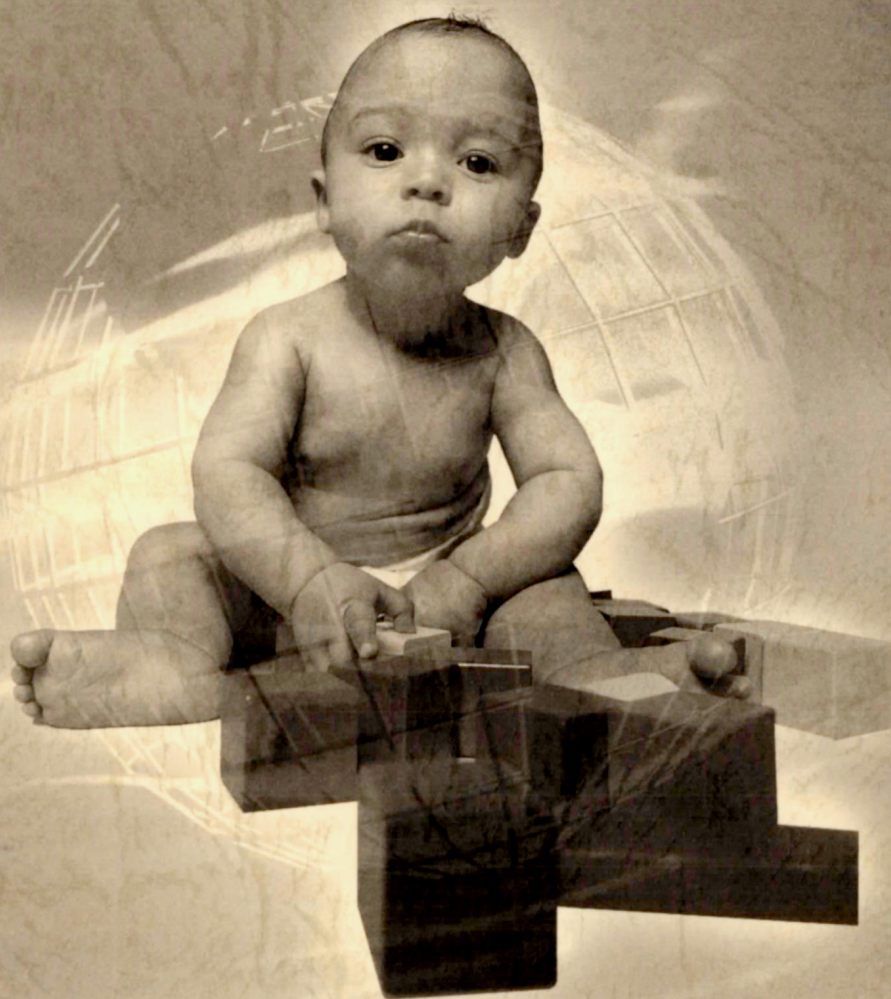
私たちは創る心を大切にします

病院関係印刷物
学会関係印刷物
教室（教授退任）記念誌
パンフレットなど印刷物全般

伊豆アート印刷株式会社

〒104-0043 東京都中央区湊1-6-2
TEL 03-3553-8088
FAX 03-3553-8089
E-mail : yamada@izuart.co.jp（担当：山田）

“人にやさしい”
総合医療環境をコーディネート



お客さまとのコミュニケーションを大切にし…

- 医療社会の将来を見据えた製品研究や環境の提案
- 高品質でタイムリーな製品の開発・供給
- レスポンスの良いアフターサービス

を積極的にすすめてまいります。



本社 / 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121(代) <http://www.fukuda.co.jp>
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月～金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00～17:00
●医用電子機器の総合メーカー **フクダ電子株式会社**